

# 太田市内遺跡 12

— 平成 27 年度調査 —

2017

群馬県太田市教育委員会

# はじめに

私たちの郷土太田は、北に八王子丘陵・渡良瀬川があり、中央やや東側に金山がそびえたち、南は利根川まで広がる広大な面積を有する市です。市域の東部には東日本最大の前方後円墳である天神山古墳や、人物や馬などの優れた形の埴輪がまとまって出土した塚廻り古墳群などの著名な古墳があります。また、市の西部を中心とした地域は中世に新田荘として栄えた地域でもありました。

私たちは、こうした文化財を継承し、次世代へと伝え、豊かな太田市形成のための礎としていかなければならないと考えております。

太田市では年々世帯数が増加しており、それに伴って住宅や道路等の開発が盛んに進められています。本書は、それらの開発に対応して行なった確認調査の成果をまとめたものです。本書を埋蔵文化財の保護、学術調査の資料として、また埋蔵文化財の普及・啓発の資料として広く活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、調査を実施するにあたりご指導・ご協力をいただきました関係各位、また寒暖の中、発掘調査に参加していただいた方々に厚く御礼申し上げます、発刊の挨拶といたします。

平成29年3月

太田市教育委員会  
教育長 澁澤 啓史

## 例 言

- 1 本書は、太田市教育委員会が国宝重要文化財等保存整備費補助金と群馬県文化財保存事業費補助金を得て実施した「市内遺跡発掘調査」の概要をまとめた報告書である。
- 2 確認調査は、太田市教育委員会が平成27年度に実施し、整理作業は平成28年度に実施した。
- 3 本書は、「市内遺跡発掘調査」によって確認調査を実施した遺跡について掲載している。
- 4 発掘調査の期間および組織体制は、以下の通りである。

期 間 平成27年4月16日～平成28年3月29日（平成28年1月8日以降は、市単独費用で確認調査を行なった。）

調査主体者 太田市教育委員会 教育長 澁澤啓史

調査担当者 太田市教育委員会 教育部

文化財課 課長補佐 小宮俊久 主査 長谷川幸男 主査 中村渉 主任 山口高志  
主事 岩松大輔 臨時職員 須田茂

事業事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 小林豊 副部長 菅間健司

文化財課 課長補佐 島田孝雄、小島幹夫

係長代理 飯島真由美、大隅伸一、栗田雅美、岡部由紀江、野本智久、峯岸建司

嘱託職員 岩崎康之 臨時職員 徳永良枝、長谷川理子

- 5 整理作業の期間および組織体制は、以下の通りである。

期 間 平成28年4月16日～平成29年3月31日

事業主体者 太田市教育委員会 教育長 澁澤啓史

事業担当者 太田市教育委員会 教育部

文化財課 係長代理 長谷川幸男 主任 山口高志 主事 岩松大輔  
臨時職員 須田茂

事業事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 菅間健司 副部長 恩田由之

文化財課 課長 小宮俊久 主幹 島田孝雄 課長補佐 金澤誠 係長代理 飯島真由美、

岡部由紀江、峯岸建司、中村渉、今井啓泰、尾島静乃 主事 小島祥由

嘱託職員 岩崎康之 臨時職員 須田茂、徳永良枝、長谷川理子

- 6 本書の執筆は、長谷川幸男、山口高志、岩松大輔、編集は山口高志がそれぞれ担当した。
- 7 本書に掲載した遺構の写真は、各調査担当者が撮影した。
- 8 発掘調査および本書の作成にあたっては下記の方々、機関より御教示、御協力を賜った。記して感謝を表したい。

群馬県教育委員会文化財保護課、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

- 9 本書に関わる資料ならびに遺物は太田市教育委員会にて保管している。

- 10 発掘調査ならびに整理作業に携わった作業員は、以下のとおりである。

相澤保夫、尾崎喜亮、小澤信久、柿沼孝、片岡靖治、鎌須賀伸彦、川上進、北爪勇次、佐瀬隆一、正田孝夫、白石孝、高橋芳樹、町田恭之、山本眞夫、大坪春美、木村純子

# 凡 例

- 1 位置図等にベースマップとして都市計画図（太田市都市計画課 平成23年度作製）を使用した。
- 2 確認調査全体図あるいは出土遺物実測図のスケールは各図に表示した。

# 目 次

はじめに

例 言

凡 例

目 次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 調査の方法および経過	2
第3章 遺跡の位置と歴史的環境	2～3
第4章 調査の成果	6～62
第5章 まとめ	63、64
写真図版	65～87
報告書抄録	

# 第1章 調査に至る経緯

平成27年度における各種開発事業の公共事業については、前年度（平成26年度）に開発部局に対し事業照会を行ない、公共工事計画の情報入手に努めた。一方、民間開発については、事前問い合わせ窓口を開設し、その都度埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行った。

試掘・確認調査は、文化財保存事業費国庫補助金や県費補助金を受けて「市内遺跡発掘調査」として事前調査を実施し、開発事業との調整を図ることとした。また、開発範囲が狭小で通常の確認調査の実行が不可能な場合、開発工事の途中で遺構の有無や掘削深度など確認する工事立会を実施した。

なお、試掘・確認調査の結果、遺構が確認され現状保存が困難な場合、記録保存のための本発掘調査を実施した。



第1図 太田市全体図

## 第2章 調査の方法および経過

太田市における各種開発事業に伴う埋蔵文化財取り扱いの調整については、次のような方法で実施した。まず、事業照会や事前問い合わせにより開発計画の情報を得て、その開発予定地が埋蔵文化財包蔵地内にあるかどうか太田市埋蔵文化財包蔵地図をもとに判断をした。包蔵地内にある場合、事業者に「埋蔵文化財発掘の届出・通知」の提出を要請し、その開発内容により「慎重工事」・「工事立会」・「確認調査」の指導をした。

確認調査の場合は、「確認調査依頼書兼発掘承諾書」の受理後、日程の調整をして、申請人あるいは申請代理人の立会のもと調査を実施した。調査時には、対象となる土地の地形や形状または開発内容を考慮した上で調査区を設定し、遺構確認面まで掘削機などで掘り下げた。遺構の有無、遺構の内容は、人力による精査で把握した。記録は平面図・断面図等を作成するほか、35ミリカラーフィルムにて写真撮影を行なった。確認調査後は申請人あるいは申請代理人の立会のもと埋め戻しを行ない、沈下を防ぐため十分に転圧をして現場を引き渡した。

調査後の整理作業については、これらの調査によって出土した遺物の洗浄・注記・接合・実測や、図面の修正・トレース・編集などを行ない、翌年度に報告書『市内遺跡発掘調査』の刊行を行なうこととしている。

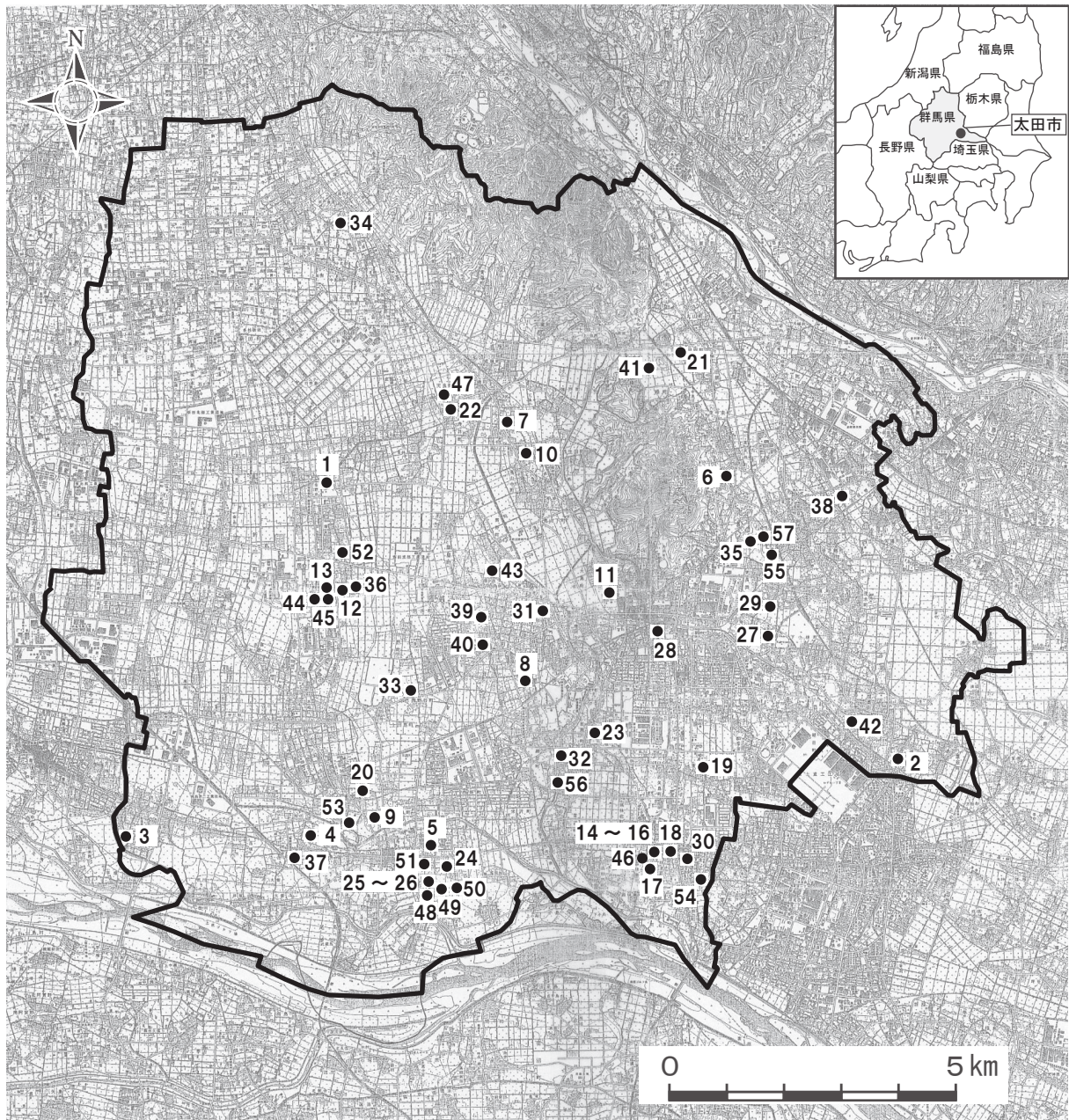
当市の平成27年度における事前問い合わせ件数は公共・民間あわせ合計2,156件であった。そのうち、遺跡地内で開発行為が計画され、埋蔵文化財発掘の届出・通知が提出されたのは合計455件であった。確認調査総数は57件で、そのうち「市内遺跡発掘調査」として国および県費補助金を得て実施した試掘・確認調査件数は合計36件であった。なお、残り21件については市単独費用で調査を実施した。「市内遺跡発掘調査」における開発目的の内訳は、公共事業では区画整理道路・幹線道路4件、農業地盤整備事業1件であった。一方、民間開発では個人住宅8件、建売住宅2件、集合住宅・賃貸住宅12件、店舗・事務所5件、福祉施設・医療施設4件、工場・倉庫3件、学校・保育園2件、寺の建て替え1件、太陽光発電施設5件、鉄塔6件、宅地造成2件、駐車場2件であった。

## 第3章 遺跡の位置と歴史的環境

太田市は、北部に八王子丘陵、市域中央に金山丘陵が広がっている。八王子丘陵西側の藪塚地域には大間々扇状地が広がり、扇状地の端部に位置する新田地域からは湧水が流れ出し、古代より生活の水脈として利用されている。中央部には広大な平地が広がり、水田地帯が形成されている。利根川に面する南西部の尾島地域は、旧利根川の流路にあたる部分であり、榛名二ツ岳の噴火による噴出物の洪水堆積層によって遺跡が覆われている。

平成17年度に合併する以前の旧1市3町の範囲は、太田地域・藪塚地域・新田地域・尾島地域の4区域に分けられる。平成28年4月1日現在で太田市全体としては、965遺跡が確認されており、これらを主な時代ごと多い順に列挙すると、古墳時代が最も多く、ついで奈良・平安時代、中世、縄文時代、近世、弥生時代、旧石器時代となっている。

平成27年度「市内遺跡発掘調査」として実施した調査地の概要について、次ページの地図及び一覧表にまとめた。



- 1 赤城南遺跡 2 石神遺跡 3 今井地区遺跡群 4・5 F P 泥流下遺跡群 6 金井口埴輪窯跡  
 7 上遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート 8 清川遺跡 9 下田島遺跡 10 上泉開戸遺跡 11 城ノ内遺跡  
 12・13 反町城館跡 要害遺跡 14・15・16・17 高林鶴巻古墳群 18 高林本郷遺跡 19 田谷遺跡 20 長福寺遺跡  
 21 寺中遺跡 22 天良七堂遺跡 23 道灌谷戸遺跡 24・25・26 東部地区遺跡群 27 女体山古墳東方遺跡 28 浜町古墳群  
 29 東長岡Ⅰ遺跡 30 東矢島遺跡 31 藤阿久古墳群 32 細谷東遺跡、細谷八幡遺跡 33 堀之内遺跡 34 三島遺跡  
 35 焼山古墳群 36 要害遺跡 37 安養寺森ノ内遺跡 38 磯之宮遺跡 39・40 北之庄遺跡 41 小丸山西遺跡 42 御壺遺跡  
 43 寺原遺跡 44・45 反町城館跡 46 高林鶴巻古墳群 47 天良七堂遺跡 48・49・50・51 東部地区遺跡群 52 中村田遺跡  
 53 西田島遺跡 54 東矢島遺跡 55 細田遺跡 56 細谷八幡遺跡、細谷合ノ谷遺跡 57 焼山古墳群

第2図 平成27年度調査地位置図

表1 平成27年度市内遺跡発掘調査 調査地一覧表（補助金対象）

No.	受付No.	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考
1	151	14324	新田市野井町135-2他	赤城南遺跡	保育園	3315	60	12月9日	遺構 遺物 土坑1 なし	本調査なし
2	20	14095	龍舞町856-1	石神遺跡	太陽光発電	1451	115	4月16日	遺構 遺物 住居4、溝2、土坑11 奈良時代の土器片	本調査なし
3	303	14617	世良田町3144-11	今井地区遺跡群	個人住宅	319	10	9月25日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
4	532	15015	粕川町155-1	FP泥流下遺跡群	太陽光発電	2247	120	9月29日 ～9月30日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
5	475	14910	岩松町800	FP泥流下遺跡群	倉庫 事務所	12400	900	8月24日 ～9月1日	遺構 遺物 住居1、溝13、土坑6、ピット14 弥生時代から中世の土器片	本調査を実施
6	833	15536	東金井町210-1他	金井口埴輪窯跡	工場	1442	97	1月7日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
7	646	15208	鳥山上町1506-1他	上遺跡、推定東山 道駅路牛堀・矢ノ 原ルート	店舗	2898	225	11月10日 ～11月11日	遺構 遺物 住居3、古墳の周堀1 古墳時代の土器片、埴輪片	本調査を実施
8	492	14938	由良町605	清川遺跡	福祉施設	1002	100	11月4日	遺構 遺物 溝4、ピット1 なし	本調査なし
9	31	14112	下田島町内	下田島遺跡	区画整理	2162	100	4月23日 ～4月24日	遺構 遺物 溝7、土坑3 古墳時代の土器片	本調査を実施
10	120	14274	鳥山中町1560-1	上泉開戸遺跡	建売住宅	1643	100	10月5日	遺構 遺物 溝6、土坑3、ピット2 なし	本調査なし
11	261	14532	八幡町19-4、-9	城ノ内遺跡	建売住宅	2233	150	6月22日 ～6月23日	遺構 遺物 住居18、溝5、土坑・ピット多数 古墳時代から平安時代の土器片	本調査を実施
12	424	14834	新田反町町526-5、-6	反町城館跡 要害遺跡	個人住宅	461	30	9月16日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
13	165	14341	新田反町町584-1、-4	反町城館跡 要害遺跡	個人住宅	616	30	9月24日	遺構 遺物 堀1、溝2、土坑2、ピット3 古墳時代の土器片	本調査なし
14	852	15574	高林南町613-1	高林鶴巻古墳群	賃貸住宅	975	103	12月25日	遺構 遺物 3基の古墳の周堀、溝4、土坑1 埴輪片	本調査なし
15	137	14302	高林南町613-3	高林鶴巻古墳群	賃貸住宅	997	152	5月18日	遺構 遺物 3基の古墳の周堀、溝4、土坑1 埴輪片	本調査なし
16	484	14925	高林南町613-4	高林鶴巻古墳群	賃貸住宅	966	80	9月2日	遺構 遺物 3基の古墳の周堀、溝4、土坑1 埴輪片	本調査なし
17	695	15297	高林南町619-52他	高林鶴巻古墳群	診療所 兼住宅	947	86	12月24日	遺構 遺物 古墳3 古墳時代の土器片	本調査なし
18	623	15170	高林南町806-1他	高林本郷遺跡	集合住宅	2754	100	10月15日	遺構 遺物 溝3、土坑10 なし	本調査なし
19	280	14573	東矢島町1132-1	田谷遺跡	建売住宅	1536	77	7月7日	遺構 遺物 住居15、溝4、土坑3、ピット2 古墳時代の土器片	本調査なし
20	30	14111	下田島町1131-1他	長福寺遺跡	区画整理	209	34	4月23日	遺構 遺物 土坑2、ピット1 なし	本調査なし
21	217	14441	矢田掘町361-1他	寺中遺跡	福祉施設	4523	300	12月16日 ～12月17日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
22	241	14484	寺井町674-1	天良七堂遺跡	個人住宅	1577	14	6月8日	遺構 遺物 住居1、土坑1 古墳時代の土器片	本調査なし
23	182	14368	下浜田町983-1	道灌谷戸遺跡	集合住宅	2287	61	5月27日	遺構 遺物 なし 平安時代の土器片	本調査なし
24	194	14389	阿久津町3-1他	東部地区遺跡群	鉄塔	109	10	8月19日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
25	587	15102	堀口町233-1	東部地区遺跡群	鉄塔			10月19日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
26	588	15103	堀口町159-1他	東部地区遺跡群	鉄塔			10月19日	遺構 遺物 溝1 平安時代の土器片	本調査なし
27	637	15193	内ヶ島町1389-3	女体山古墳東方遺跡	集合住宅	998	74	10月26日	遺構 遺物 住居1、土坑1 古墳時代の土器片	本調査なし
28	32	14113	浜町14-14他	浜町古墳群	区画整理	150	30	4月21日	遺構 遺物 住居2、溝2、土坑1、ピット5 古墳時代の土器片	本調査を実施
29	127	14286	東長岡町127-4他	東長岡Ⅰ遺跡	新設道路	993	61	5月21日	遺構 遺物 方形周溝墓1、住居4他 なし	本調査を実施
30	200	14403	未広町561-1他	東矢島遺跡	集合住宅	1379	34	6月5日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし



No.	受付No.	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積(m <sup>2</sup> )	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	調査結果	備考
31	112	14261	藤阿久町926-3他	藤阿久古墳群	店舗	1733	144	6月1日 ～6月2日	遺構 遺物 古墳の周堀2、住居7他 古墳時代の土器片・埴輪片	本調査を実施
32	454	14879	細谷町165-1	細谷東遺跡 細谷八幡遺跡	診療所	1592	136	1月5日 ～1月6日	遺構 遺物 2基の古墳の周堀、住居1 古墳時代の土器片、埴輪片	立会調査を実施
33	545	15033	西野谷町129-6付近	堀之内遺跡	道路	1800	70	9月18日 ～9月22日	遺構 遺物 溝3、土坑6、ピット3 奈良時代から平安時代の土器片	本調査を実施
34	697	15302	藪塚町1438他	三島遺跡	貸車庫 駐車場	2036	67	12月3日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
35	427	14837	東長岡町1385-1他	焼山古墳群	駐車場	3078	140	10月13日 ～10月14日	遺構 遺物 なし 古墳時代の土器片	本調査なし
36	113	14262	新田反町町488-2	要害遺跡	個人住宅	500.6	40	8月18日	遺構 遺物 住居1、土坑2、溝5 なし	本調査なし

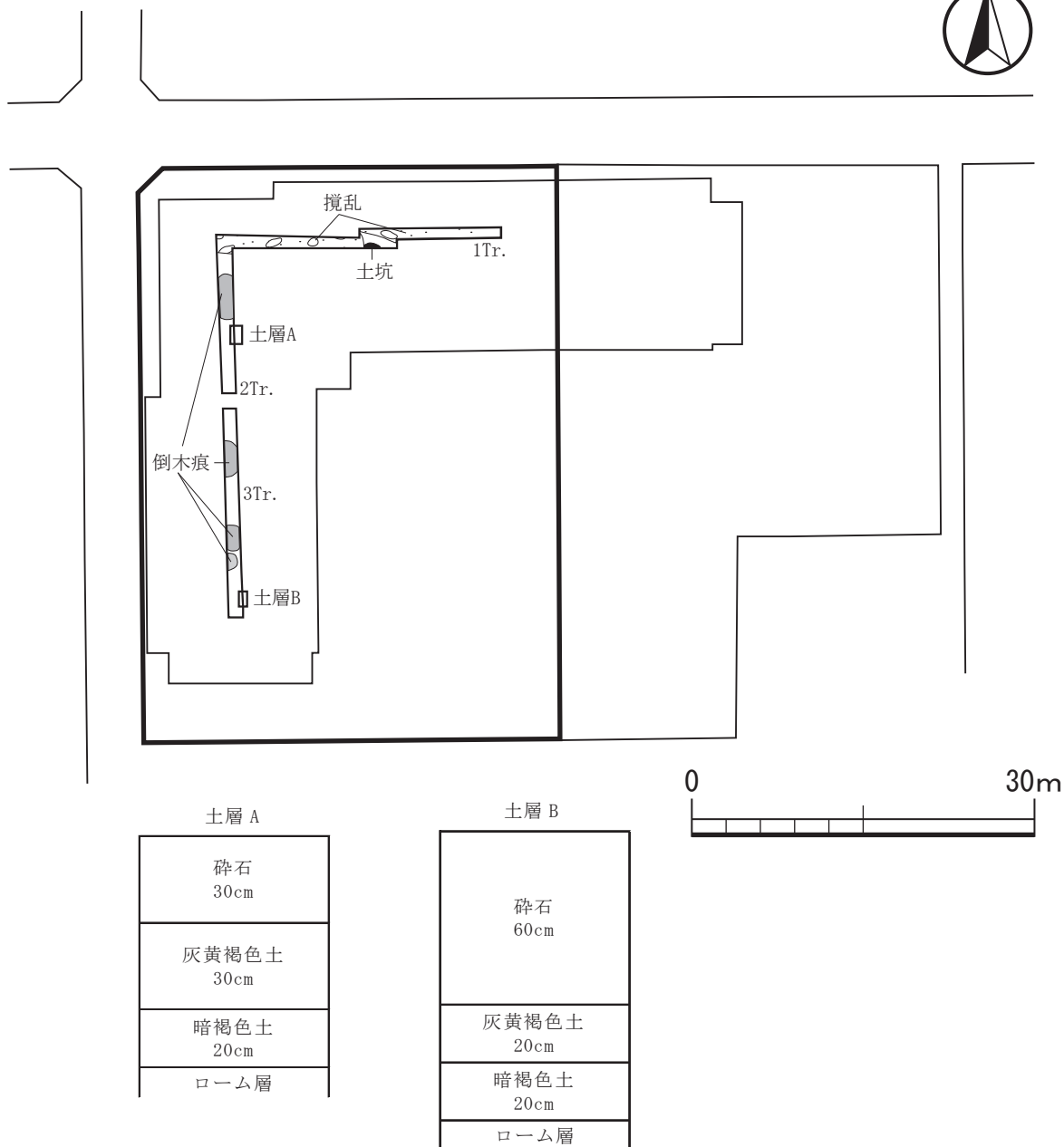
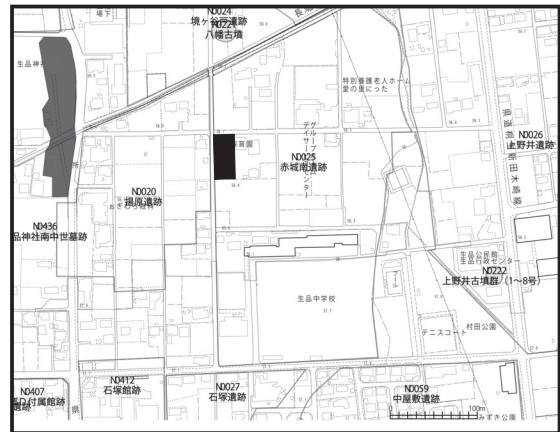
表2 平成27年度市内遺跡発掘調査 調査地一覧表(補助金対象外)

No.	受付No.	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積(m <sup>2</sup> )	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	調査結果	備考
37	936	15723	安養寺200-1	安養寺森ノ内遺跡	明王院境 の建替え	302	51	1月20日 ～1月27日	遺構 遺物 溝5、土坑7、ピット27 中世の板碑、瓦片等	本調査なし
38	716	15334	上小林町15-1	磯之宮遺跡	太陽光発電	1636	49	1月28日	遺構 遺物 溝1 古墳時代の土器片等	本調査なし
39	1014	15865	由良町1586-1	北之庄遺跡	集合住宅	2102	93	3月1日	遺構 遺物 土坑2、ピット1 なし	本調査なし
40	766	15418	由良町1690-1、-2	北之庄遺跡	貸家住宅	998	90	3月22日	遺構 遺物 溝4 なし	本調査なし
41	907	15674	緑町441他	小丸山西遺跡	農業基盤 整備事業	4230	240	2月15日 ～2月17日	遺構 遺物 溝2、ピット4 なし	本調査なし
42	800	15480	龍舞町2054-1他	御霊遺跡	建売住宅	1111	55	1月26日	遺構 遺物 住居2、溝1、土坑4 縄文時代から中世の土器片	本調査なし
43	918	15692	脇屋町121-9	下原遺跡	太陽光発電	1206	101	2月1日	遺構 遺物 土坑1 なし	本調査なし
44	813	15498	新田反町町592-4他	反町城館跡	個人住宅	339	31	2月4日	遺構 遺物 城館の堀2、溝2、土坑1、ピット5 中近世の土器片	本調査なし
45	893	15636	新田反町町592-5	反町城館跡	個人住宅	341	15	2月16日	遺構 遺物 中近世の土器片	本調査なし
46	969	15773	高林南町601-6他	高林鶴巻古墳群	建売住宅	1669	150	3月8日 ～3月9日	遺構 遺物 古墳の周堀1、土坑1 古墳時代の土器片、埴輪片	本調査なし
47	935	15722	寺井町901-1	天良七堂遺跡	個人住宅	616	10	1月29日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
48	192	14387	堀口町233-2	東部地区遺跡群	鉄塔	213	50	2月22日	遺構 遺物 溝4、土坑3 平安時代の土器片	本調査なし
49	191	14386	堀口町152-3、153-3	東部地区遺跡群	鉄塔	92	10	2月24日	遺構 遺物 溝1 古墳時代の土器片	本調査なし
50	190	14385	岩松町120-2	東部地区遺跡群	鉄塔	92	10	3月7日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
51	375	14744	阿久津町166-1の一部	東部地区遺跡群	集合住宅	944	52	2月29日	遺構 遺物 溝4、土坑1 なし	本調査なし
52	933	15717	新田村田町587-1他	中村田遺跡	宅地造成	1094	116	2月4日	遺構 遺物 溝10、土坑4、ピット11 近世以降の土器片	本調査なし
53	734	15362	下田島町1243-19	西田島遺跡	集合住宅	967	88	1月12日	遺構 遺物 古墳2、溝1 埴輪片、縄文時代の土器片	本調査なし
54	148	14320	古戸町1244-23他	東矢島遺跡	倉庫建築	10000	185	2月18日 ～2月19日	遺構 遺物 溝2、土坑6、井戸1他 古墳時代の土器片	本調査なし
55	773	15432	安良岡町259-1他	細田遺跡	太陽光発電	3792	300	2月29日 ～3月1日	遺構 遺物 溝2、土坑1、ピット7 なし	本調査なし
56	801	15483	細谷町96他	細谷八幡遺跡 細谷ノ谷遺跡	店舗	2000	134	1月25日	遺構 遺物 住居2、溝6、掘立1 円筒埴輪ほか	本調査なし
57	912	15682	東長岡町1377	焼山古墳群	学校校舎	4528	47	2月9日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし

※No.37～57は、市単独費用で調査を実施した。

## 第4章 調査の成果

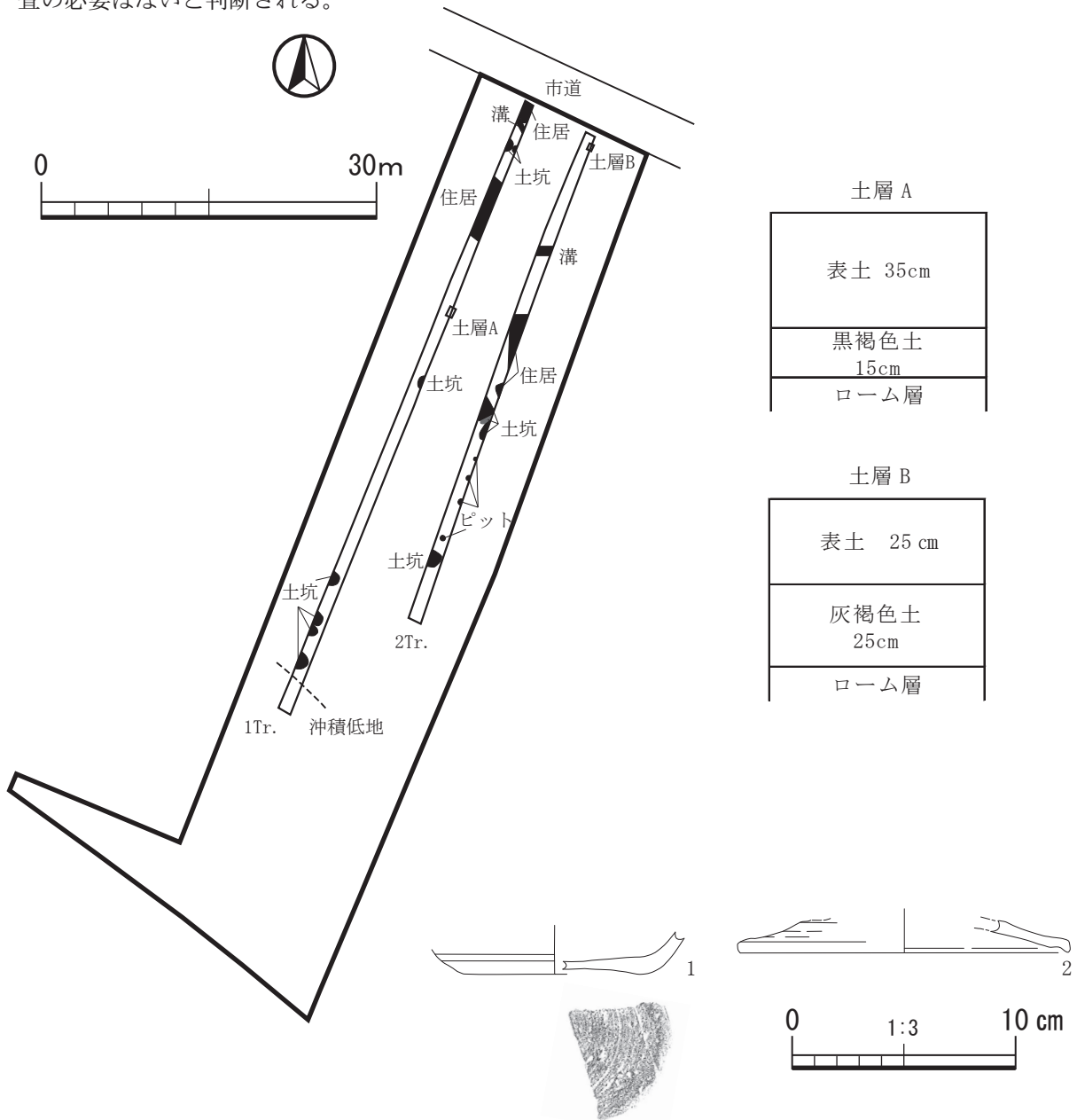
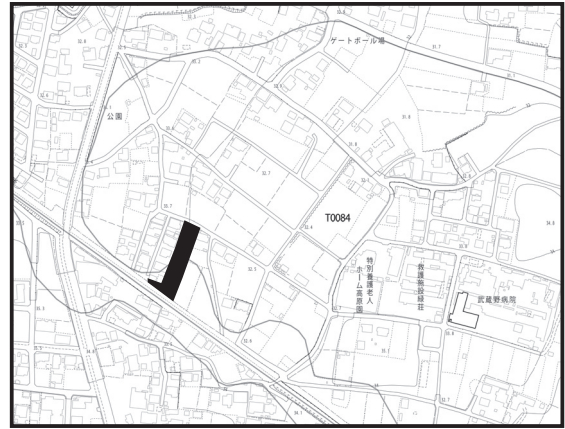
- 1 赤城南遺跡 (H27No.151)
- ① 所在地 太田市新田市野井町135-2 他
- ② 調査原因 保育園の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の土坑と推定されるため、本調査の必要はないと判断される。



第3図 確認調査平面図・断面図

2 石神遺跡 (H27No.20)

- ① 所在地 太田市龍舞町856-1
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡4軒、溝2条、土坑11基、ピット4基が確認され、奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

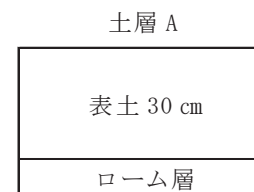
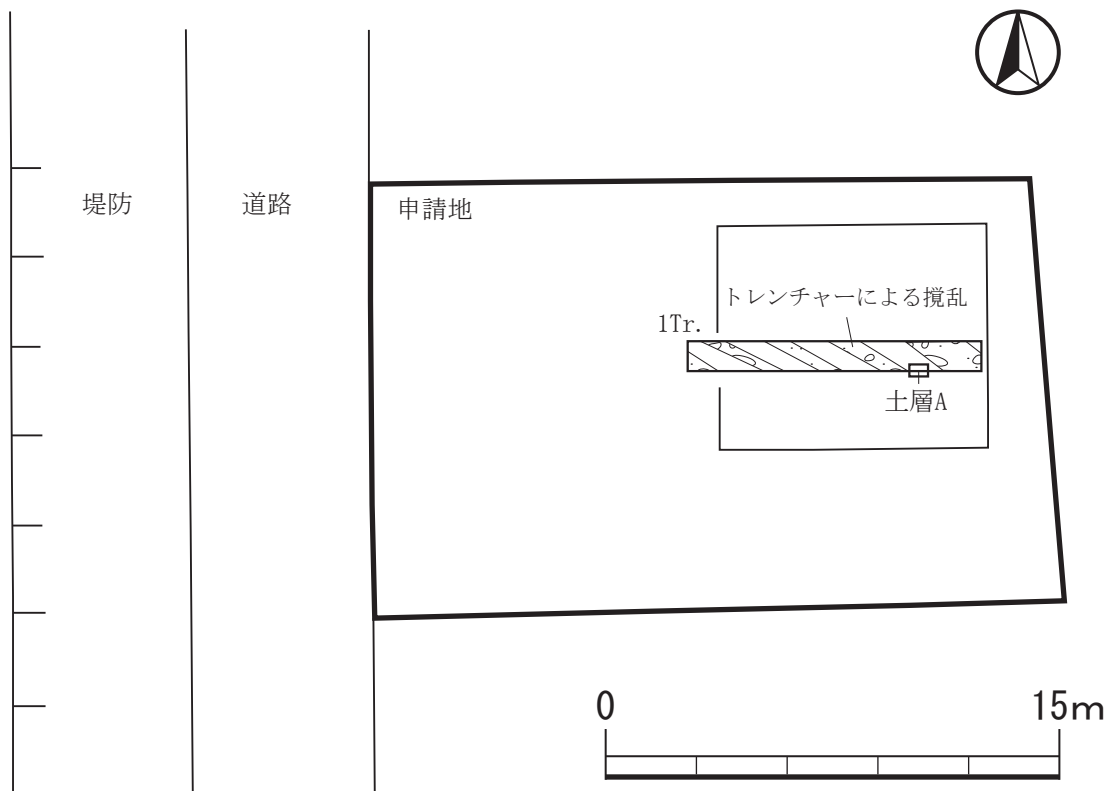
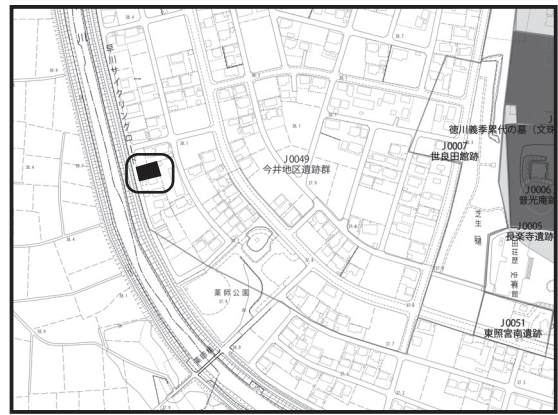


番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	須恵器・坏	破片	- ・ 8.0 ・ -	細	やや軟	淡灰色	ロクロ回転整形。底部ロクロ回転ヘラ削り。
2	須恵器・蓋	口縁破片	15.0 ・ - ・ -	細	やや軟	淡灰色	内外面、ロクロ回転整形。外面にロクロ目が見られる。

第4図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

3 今井地区遺跡群 (H27No.303)

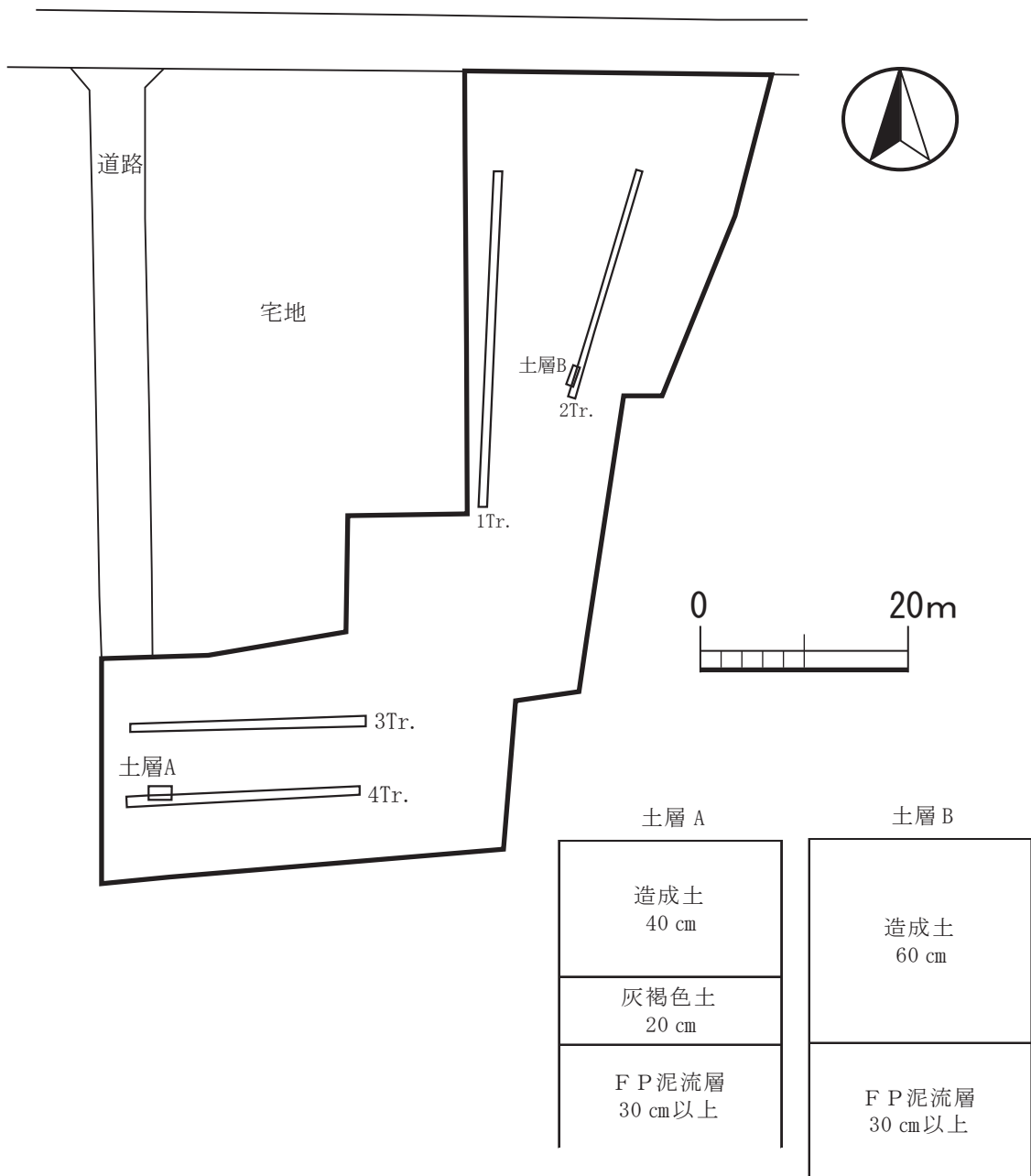
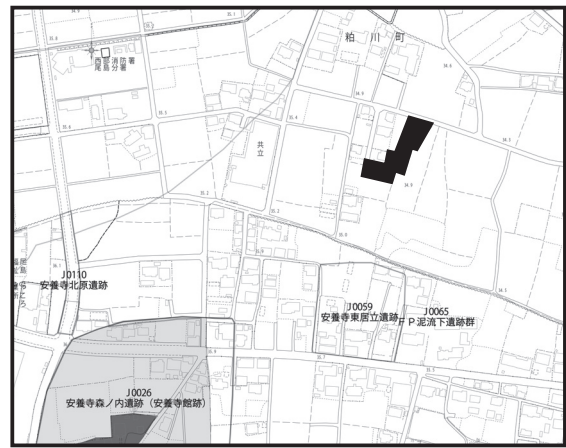
- ① 所在地 太田市世良田町3144-11
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に1本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第5図 確認調査平面図・断面図

4 FP 泥流下遺跡群 (H27No.532)

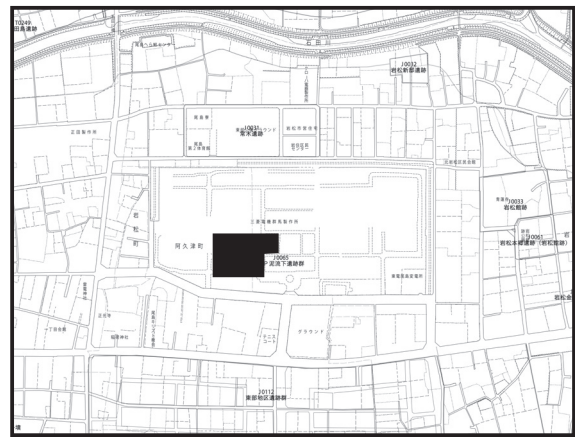
- ① 所在地 太田市粕川町155-1
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



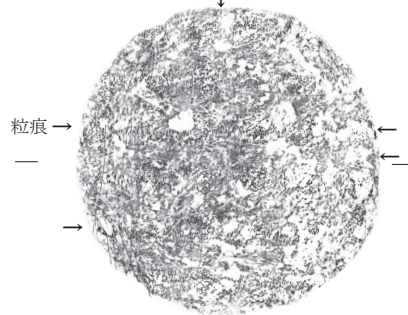
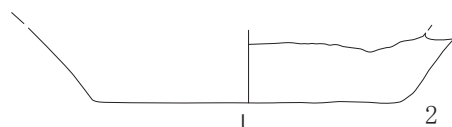
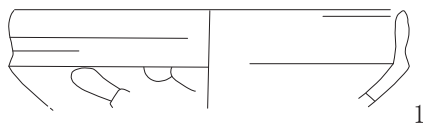
第6図 確認調査平面図・断面図

5 FP 泥流下遺跡群 (H27No.475)

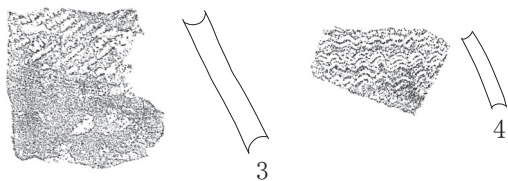
- ① 所在地 太田市岩松町800
- ② 調査原因 倉庫事務所の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に5本のトレンチを設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡1軒、溝13条、土坑6基、ピット14基が確認され、弥生時代から中世にかけての土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本調査を実施した。



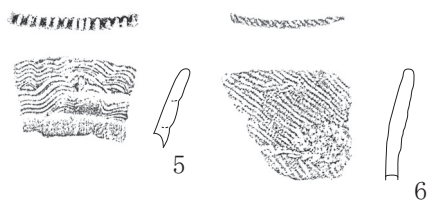
出土遺物 (1Tr. 住居跡)



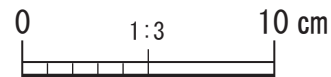
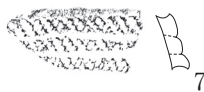
出土遺物 (1Tr.)



出土遺物 (2Tr. 倒木痕)

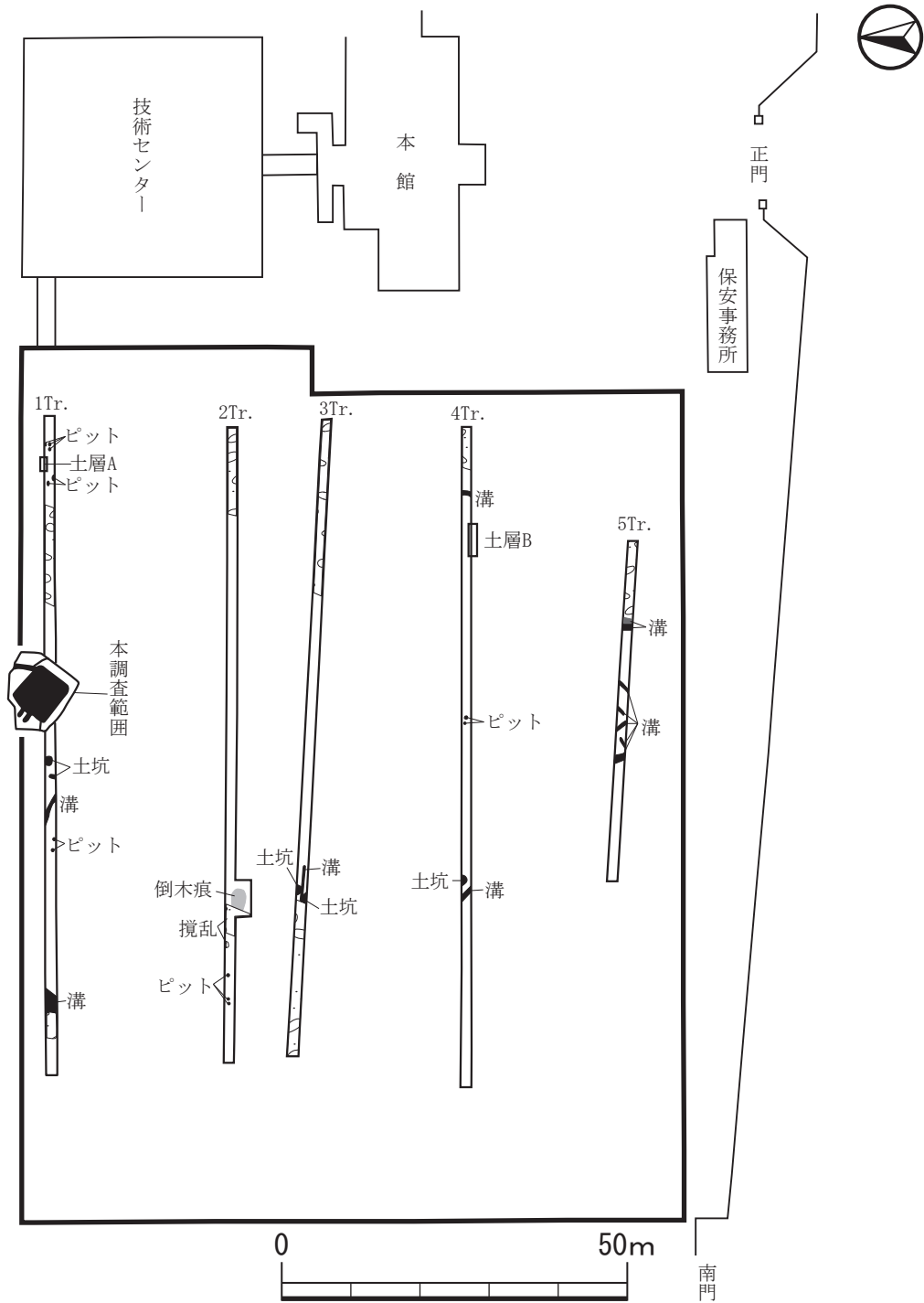


出土遺物 (5Tr.)



第7図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・坏	口縁破片	(15.6)・—・—	細	やや良	橙茶褐色	内面から口縁部外面にかけて漆が塗布か。
2	土師器・壺	底部	—・12.5・—	やや細	やや良	淡橙色	底部に粒痕あり。
3	弥生土器・壺	破片	—・—・—	細	やや良	明橙色	外面帯状に縄文。赤井戸式。
4	弥生土器・甗	破片	—・—・—	細	普通	暗褐色	外面に櫛描き波状文。樽式。
5	弥生土器・甗	破片	—・—・—	細	普通	くすんだ褐色	外面に櫛描き波状文。粘土輪積み痕が残る。内面ヘラ磨き。
6	弥生土器・甗	破片	—・—・—	細	やや良	明橙色	外面に結節縄文。内面ヘラ磨き。
7	弥生土器・甗	破片	—・—・—	細	普通	茶褐色	外面に縄文。内面ヘラ磨き。赤井戸式。

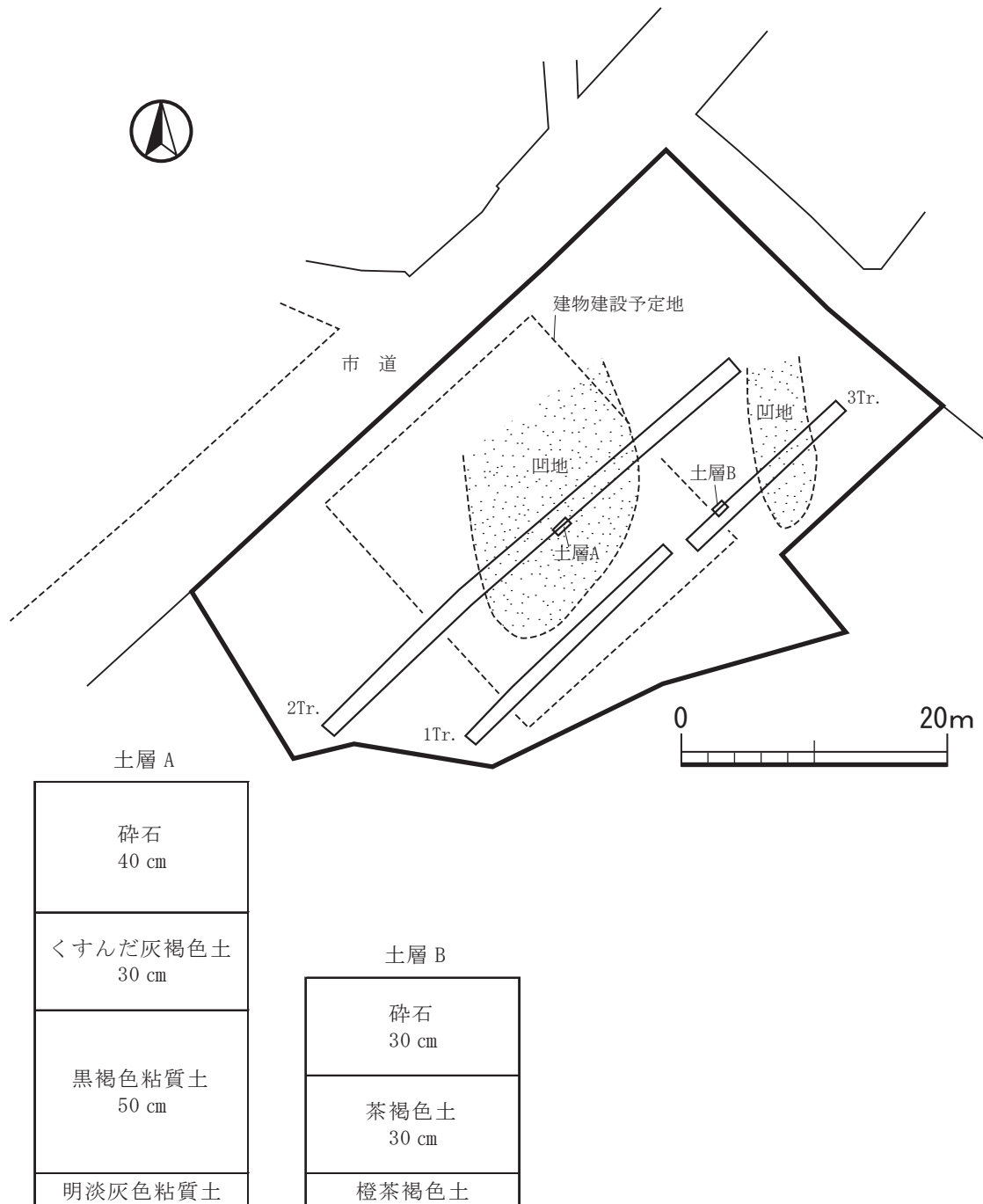
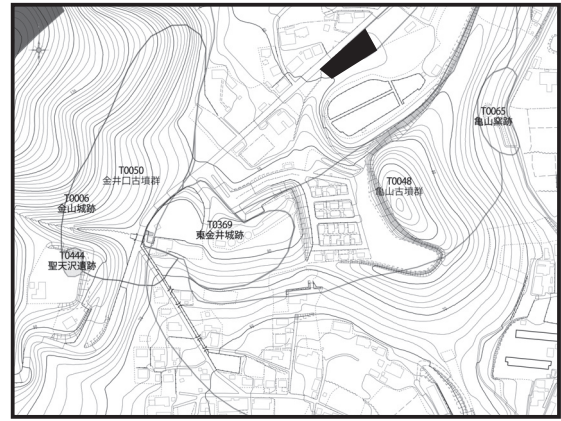


土層 A	土層 B
表土 30 cm	表土 10 cm
暗褐色土 30 cm	灰黄褐色土 20 cm
F P 泥流層	暗褐色土 20 cm
	F P 泥流層

第8図 確認調査平面図・断面図

## 6 金井口埴輪窯跡 (H27No.833)

- ① 所在地 太田市東金井町210-1 他
- ② 調査原因 工場の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、地表から60~70cm下の橙茶褐色土まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。なお、この調査地ではローム層は確認されなかった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

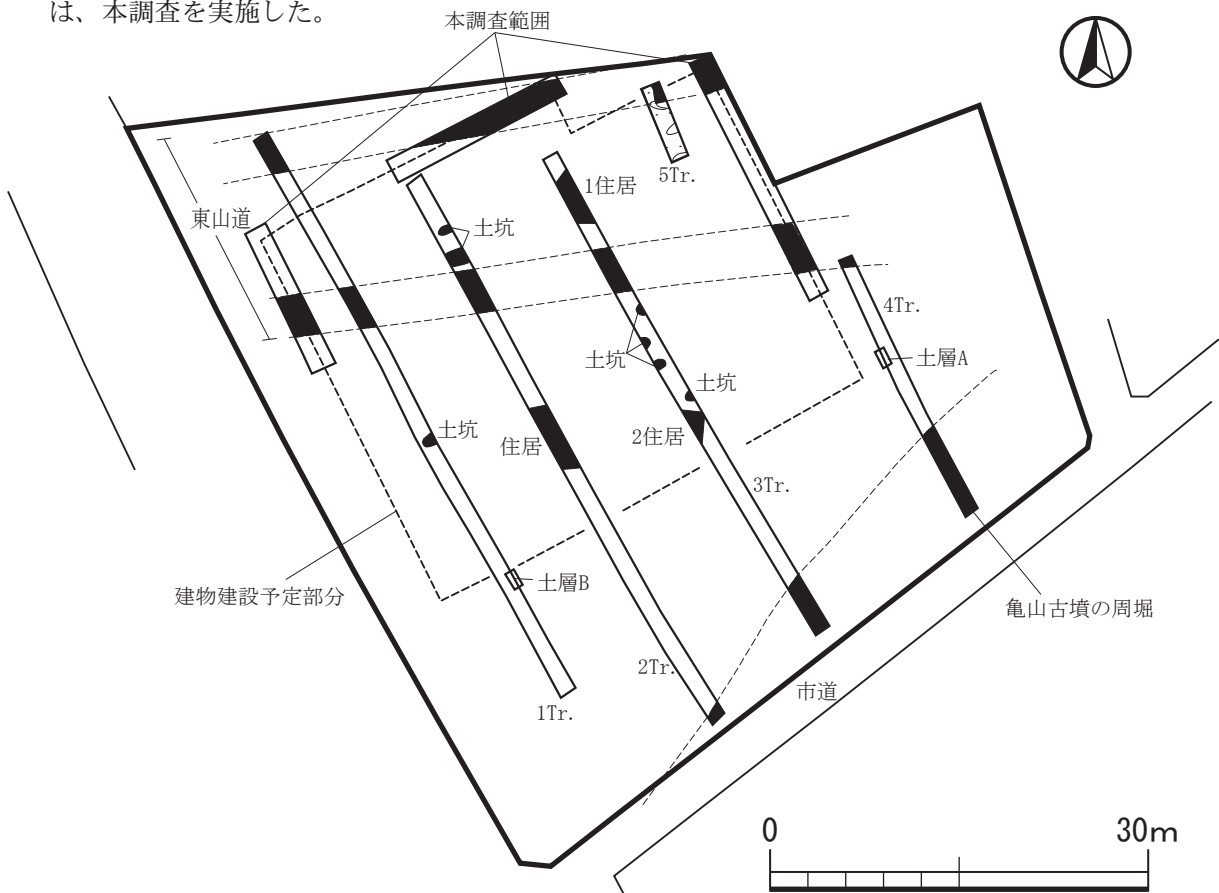
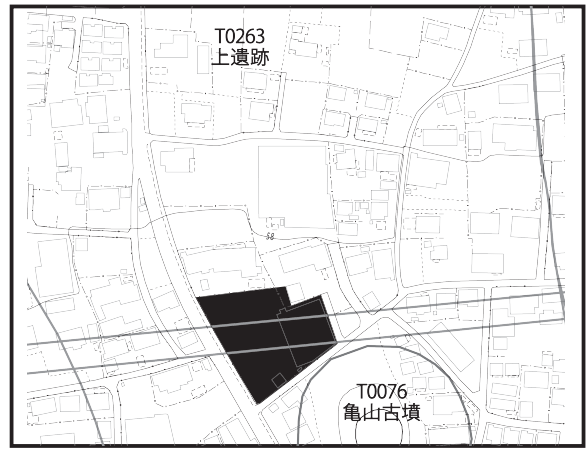


第9図 確認調査平面図・断面図



7 上遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート (H27No.646)

- ① 所在地 太田市鳥山上町1506-1 他
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に5本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡4軒、東山道駅路の側溝、古墳の周堀1箇所、土坑7基が確認され、古墳時代の土器片や埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のある箇所においては、本調査を実施した。



土層 A

表土 (碎石含) 55 cm
にぶい黄褐色土 15 cm
ローム

土層 B

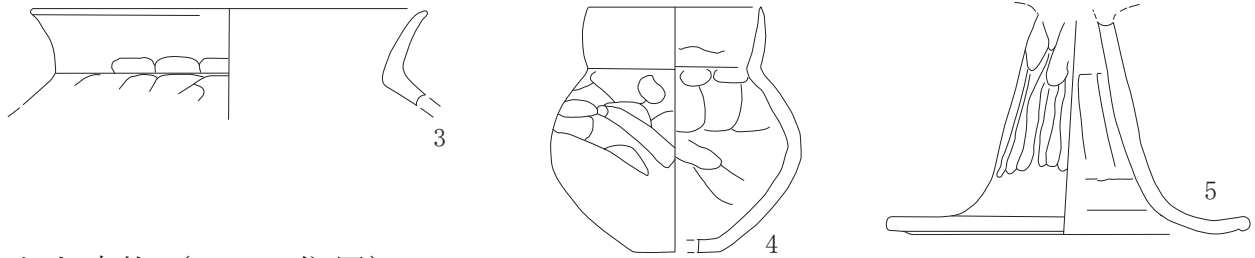
表土 (碎石含) 35 cm
暗褐色土 15 cm
ローム漸移層 10 cm
ローム

第10図 確認調査平面図・断面図

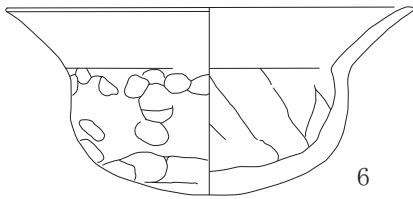
出土遺物 (2Tr. 亀山古墳周堀)



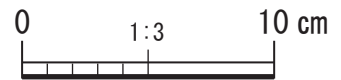
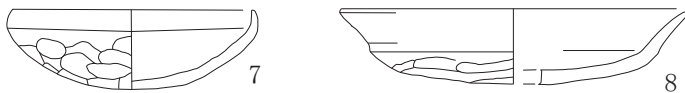
出土遺物 (3Tr. 1 住居)



出土遺物 (3Tr. 2 住居)



出土遺物 (2Tr. 東山道駅路側溝)

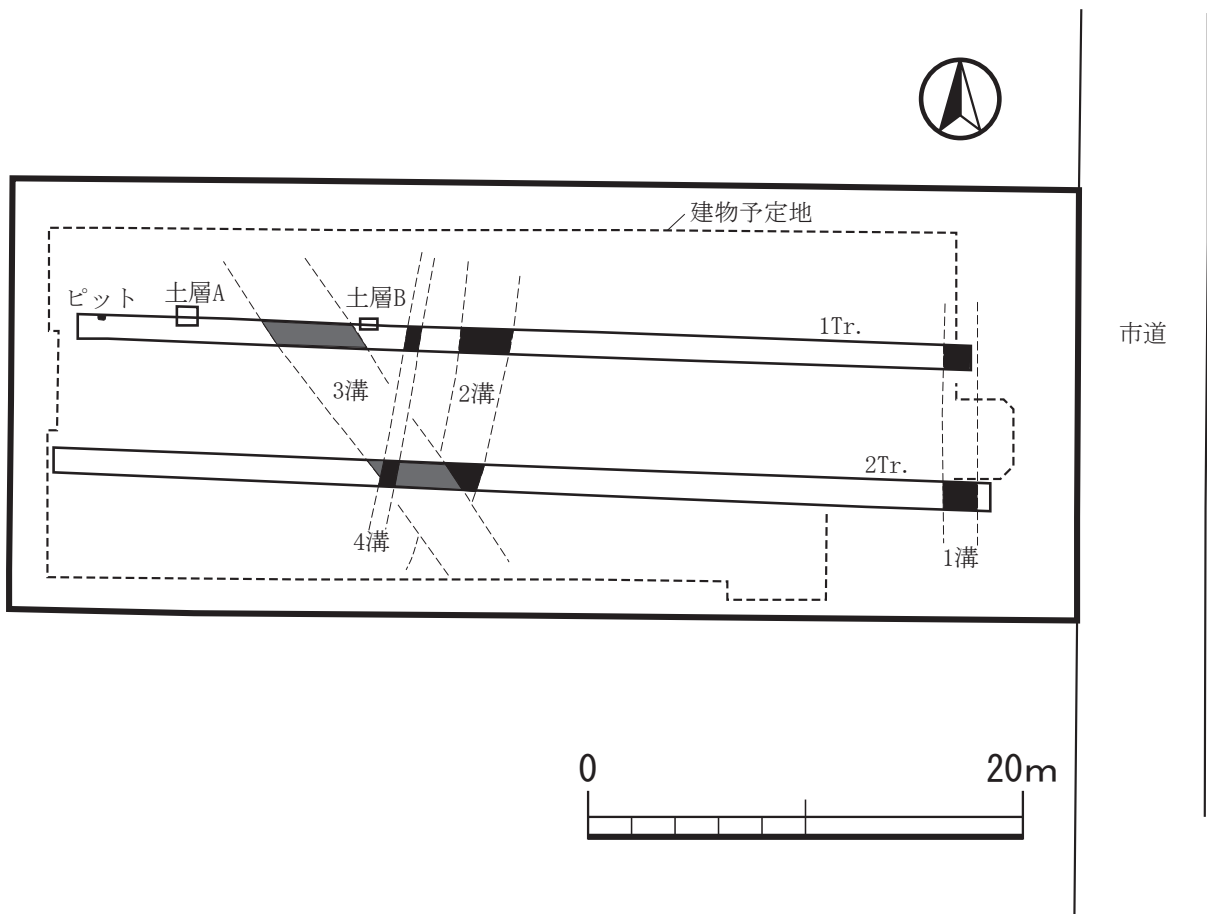
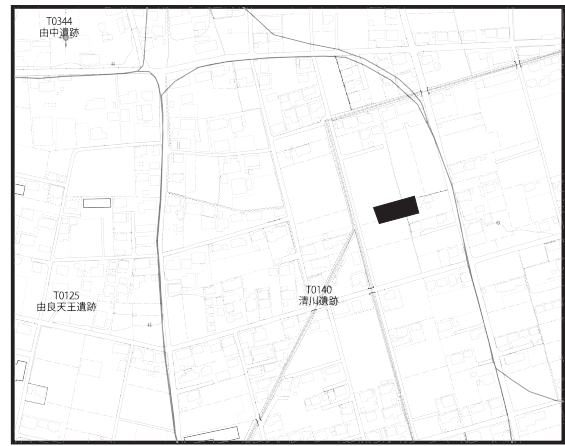


第11図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	円筒埴輪	破片	— ・ — ・ —	やや細	普通	橙色	外面、横方向にハケナデ(B種ヨコハケ)
2	円筒埴輪	破片	— ・ — ・ —	やや細	普通	くすんだ橙色	外面、横方向にハケナデ(B種ヨコハケ)
3	土師器・甕	口縁のみ	16.0 ・ — ・ —	普通	やや軟	橙色	外面ヘラ削り。
4	土師器・小甕	1/2	7.0 ・ 3.5 ・ 9.8	やや細	やや良	淡橙色	体部外面ヘラ削り。
5	土師器・高坏	脚部3/4	— ・ 14.7 ・ —	細	やや良	橙色	脚部外面、ヘラ削り及びタテ方向ヘラナデ。
6	土師器・柑	1/2	16.2 ・ — ・ 7.5	緻密	良好	明灰褐色	外面、丁寧なヘラ削り。胴部内面、指頭によるナデ。
7	土師器・坏	1/2	9.6 ・ — ・ 3.2	細	普通	橙色	体部外面ヘラ削り。
8	土師器・盤	1/3	14.0 ・ — ・ 3.0	細	普通	淡橙色	体部外面ヘラ削り。

8 清川遺跡 (H27No.492)

- ① 所在地 太田市由良町605
- ② 調査原因 福祉施設の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝4条、ピット1基が確認されたが、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



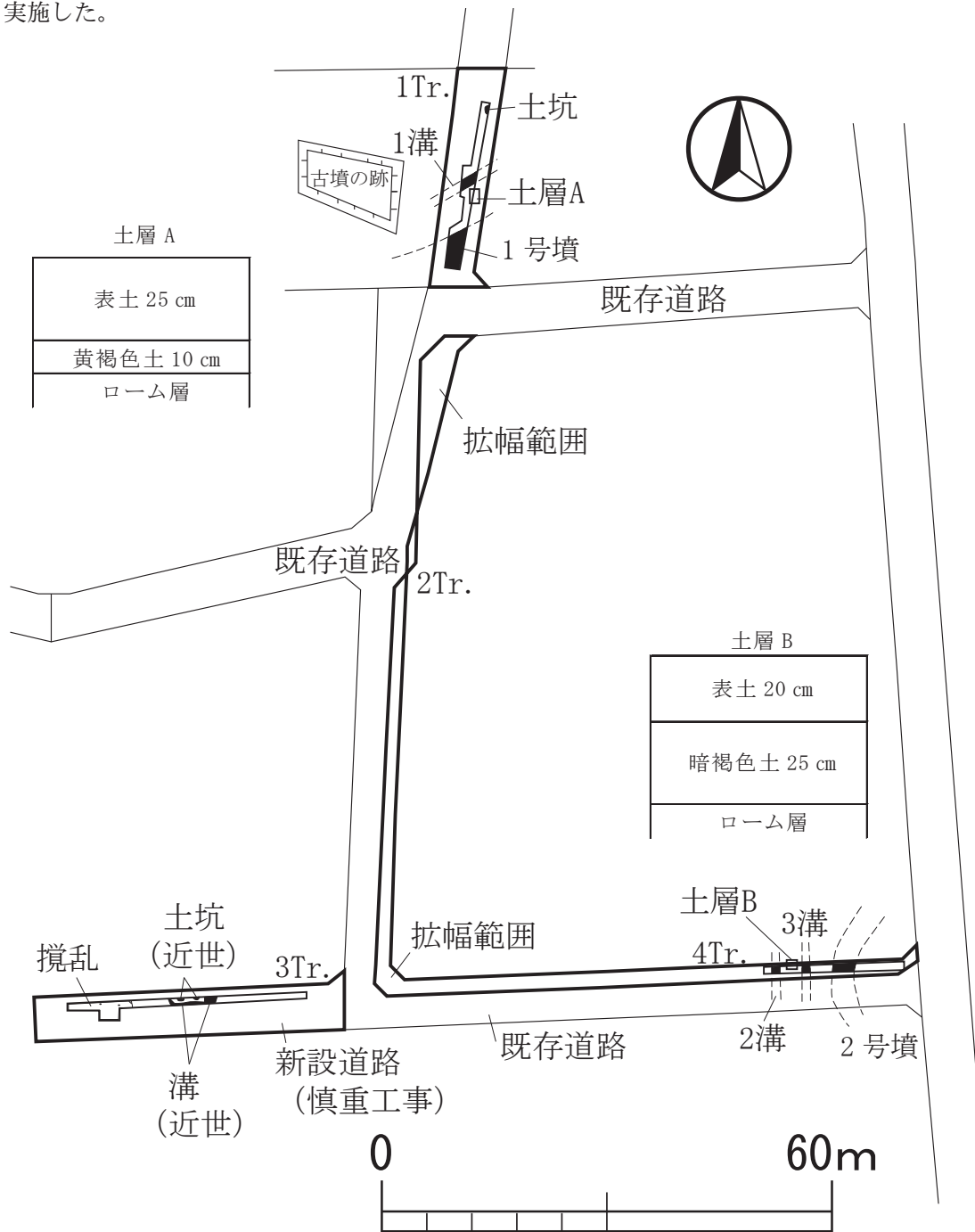
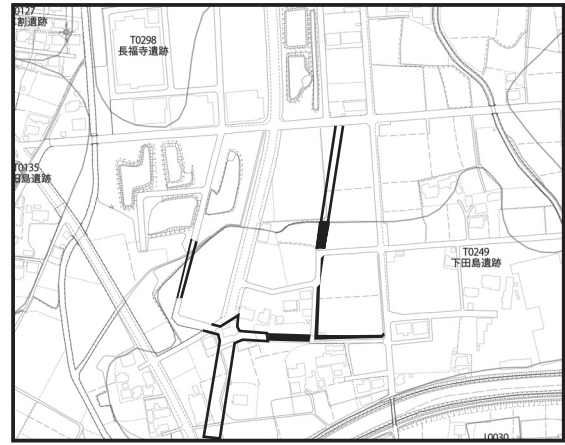
土層 A	
表土	10 cm
旧表土	10 cm
灰褐色土	10 cm
灰黄褐色土	10cm
灰色粘土層	

土層 B	
表土	10 cm
旧表土	10 cm
灰色粘土層	

第12図 確認調査平面図・断面図

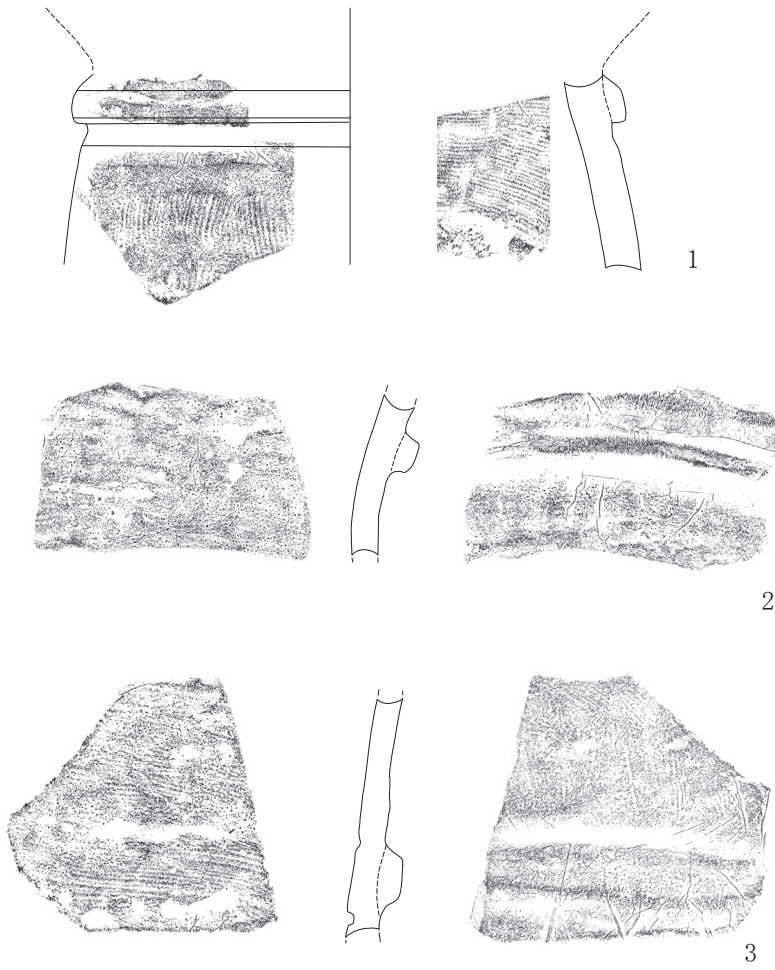
9 下田島遺跡 (H27No.31)

- ① 所在地 太田市下田島町内
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 2基の古墳の周堀、溝5条、土坑3基が確認され、古墳時代の土器片や埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本調査を実施した。

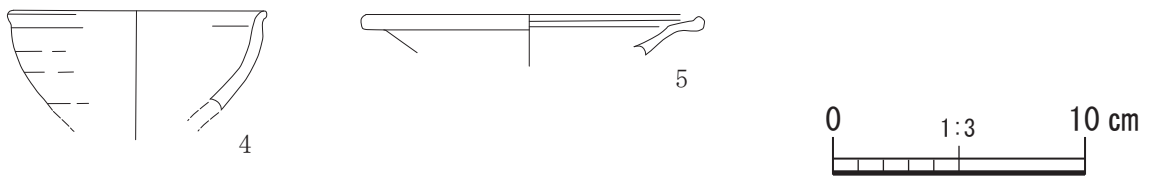


第13図 確認調査平面図・断面図

出土遺物 (1Tr. 1号墳)



出土遺物 (4Tr. 2溝)

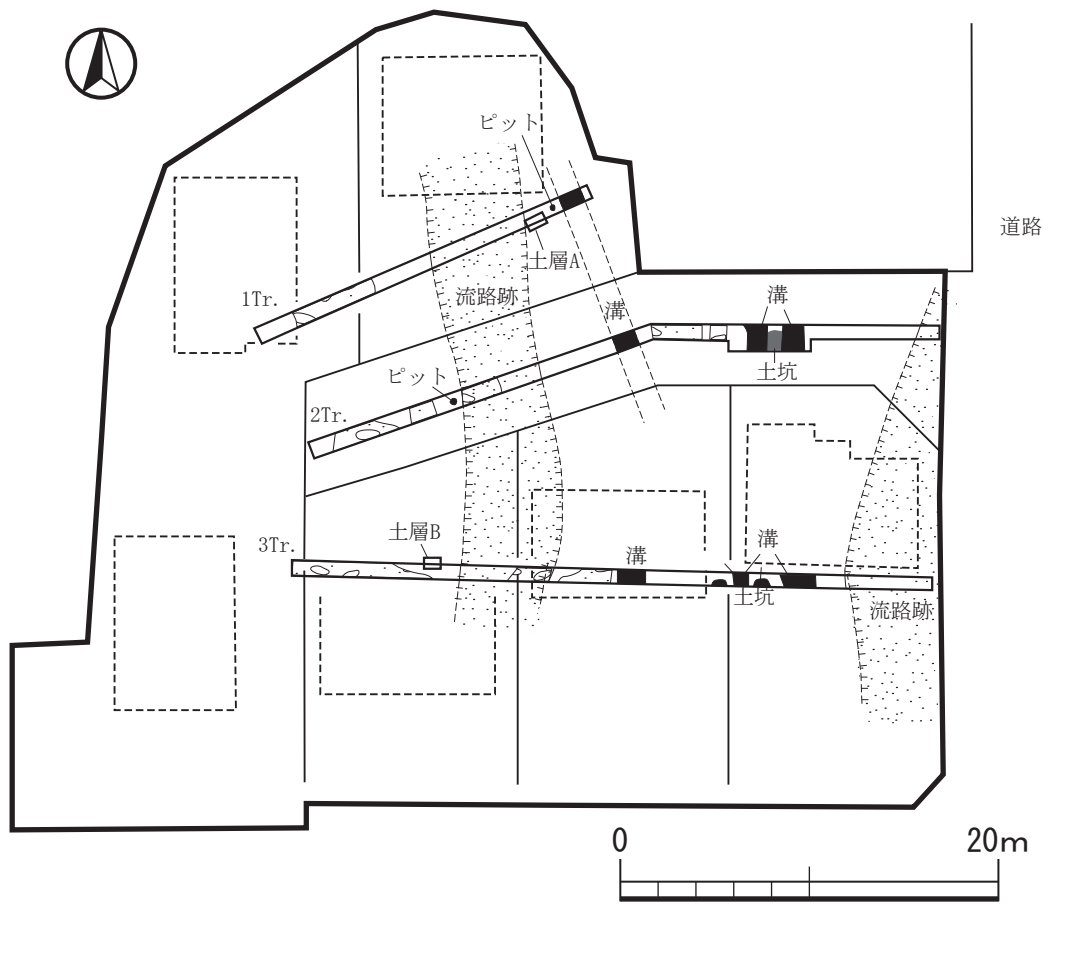
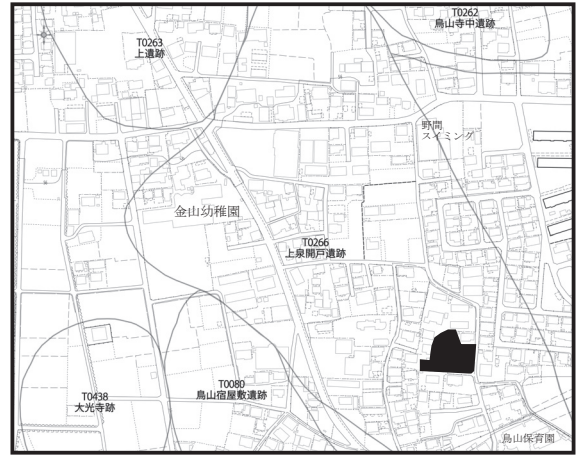


番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	埴輪	破片	- . - . -	やや細	やや良	淡い橙色	外面、ハケによるヨコナデ。黒斑あり。
2	埴輪	破片	- . - . -	細	やや軟	淡橙色	外面、ハケによるヨコナデ。赤彩あり。
3	埴輪	破片	- . - . -	やや細	普通	淡橙色	外面、斜め方向ハケナデ。全体に赤彩あり。
4	天目茶碗	口縁破片	10.4 . - . -	細			内外面に黒色の鉄釉。瀬戸美濃系。
5	折縁皿	口縁破片	13.7 . - . -				釉は白色不透明。瀬戸美濃系。

第14図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

10 上泉開戸遺跡 (H27No.120)

- ① 所在地 太田市鳥山中町1560-1
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝6条、土坑3基、ピット2基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



土層 A

表土 20 cm
褐色土 10 cm
ローム層

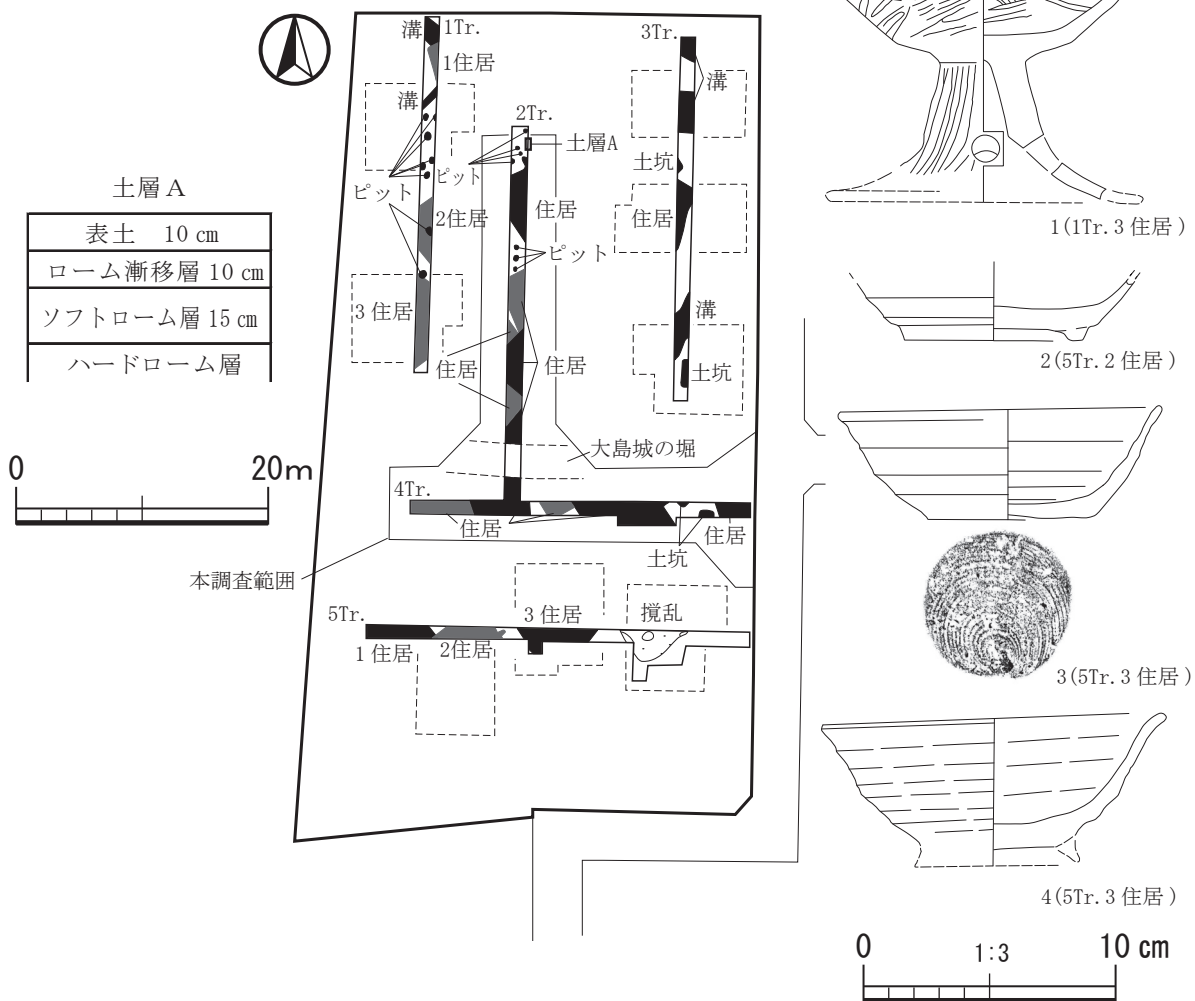
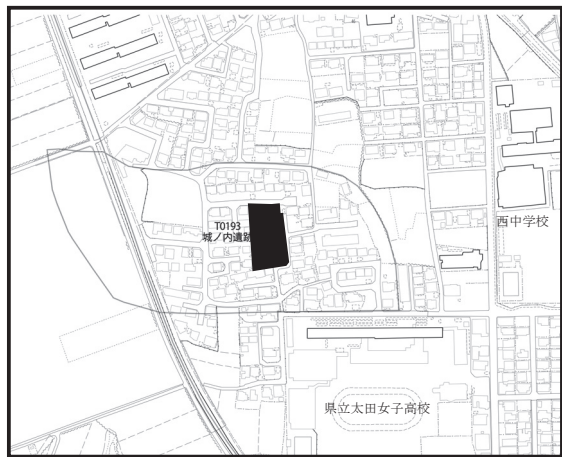
土層 B

表土 20 cm
褐色土 30 cm
ローム層

第15図 確認調査平面図・断面図

11 城ノ内遺跡 (H27No.261)

- ① 所在地 太田市八幡町19-4、-9
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に5本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡18軒、溝5条、多数の土坑やピットが確認され、古墳時代から平安時代にかけての土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本調査を実施した。

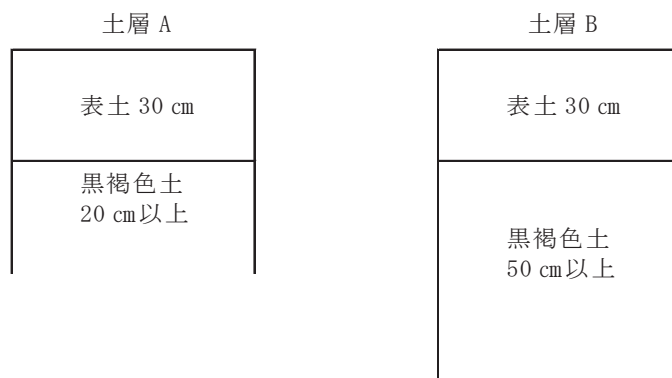
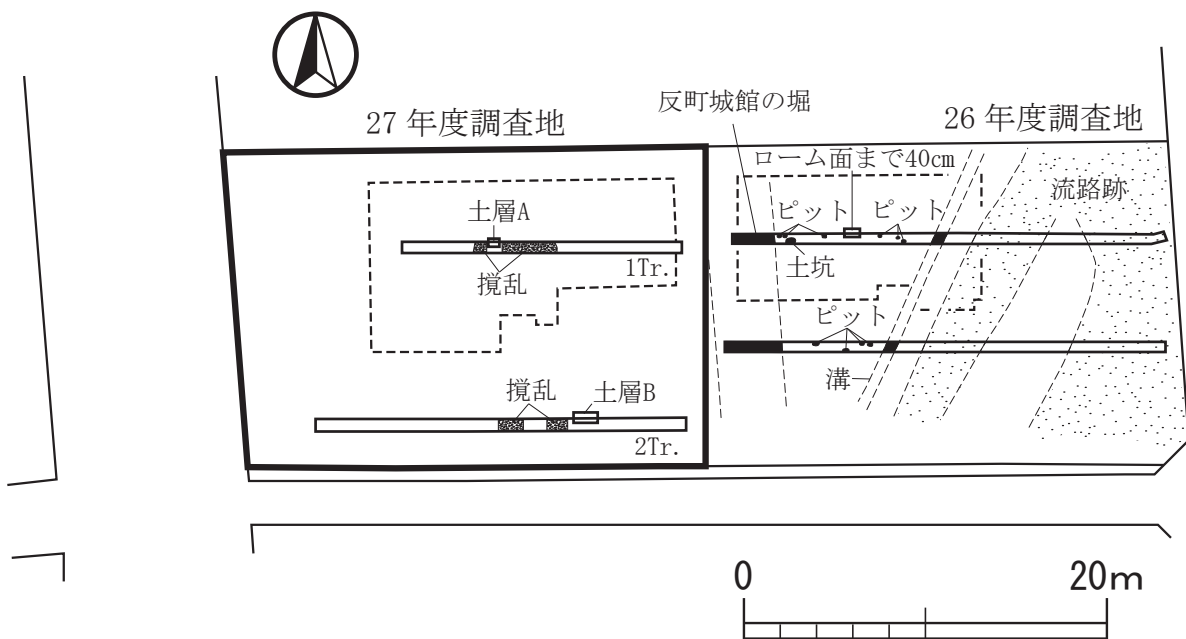
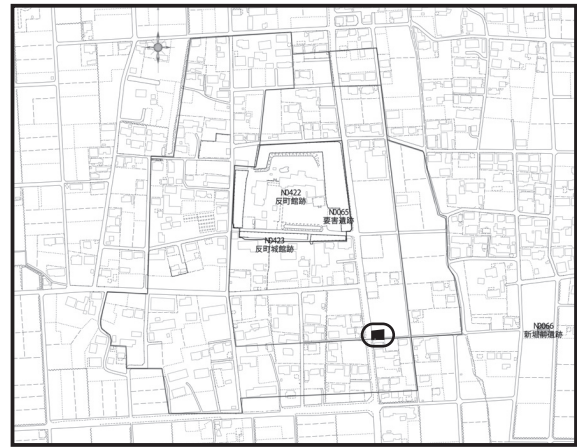


番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・高坏	2/3	13.3 ・ - ・ -	緻密	良好	橙色	坏部外面、斜め方向のヘラナデ。外面縦方向、ヘラ磨き。
2	須恵器・高台付椀	底部破片	- ・ 7.2 ・ -	細	やや軟	淡灰褐色	体部内外面、ロクロ右回転整形。
3	須恵器・坏	3/4	12.8 ・ 6.4 ・ 4.5	細緻	やや軟	灰褐色	体部内外面、ロクロ右回転整形。底部、右回転糸切。
4	須恵器・高台付椀	完形	(13.5) ・ - ・ -	細	やや軟	淡灰色	体部、ロクロ右回転整形。高台は剥離して欠損。

第16図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

12 反町城館跡、要害遺跡 (H27No.424)

- ① 所在地 太田市新田反町町526-5、-6
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、地表から60~80cm下の黒褐色土まで掘り下げ、遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

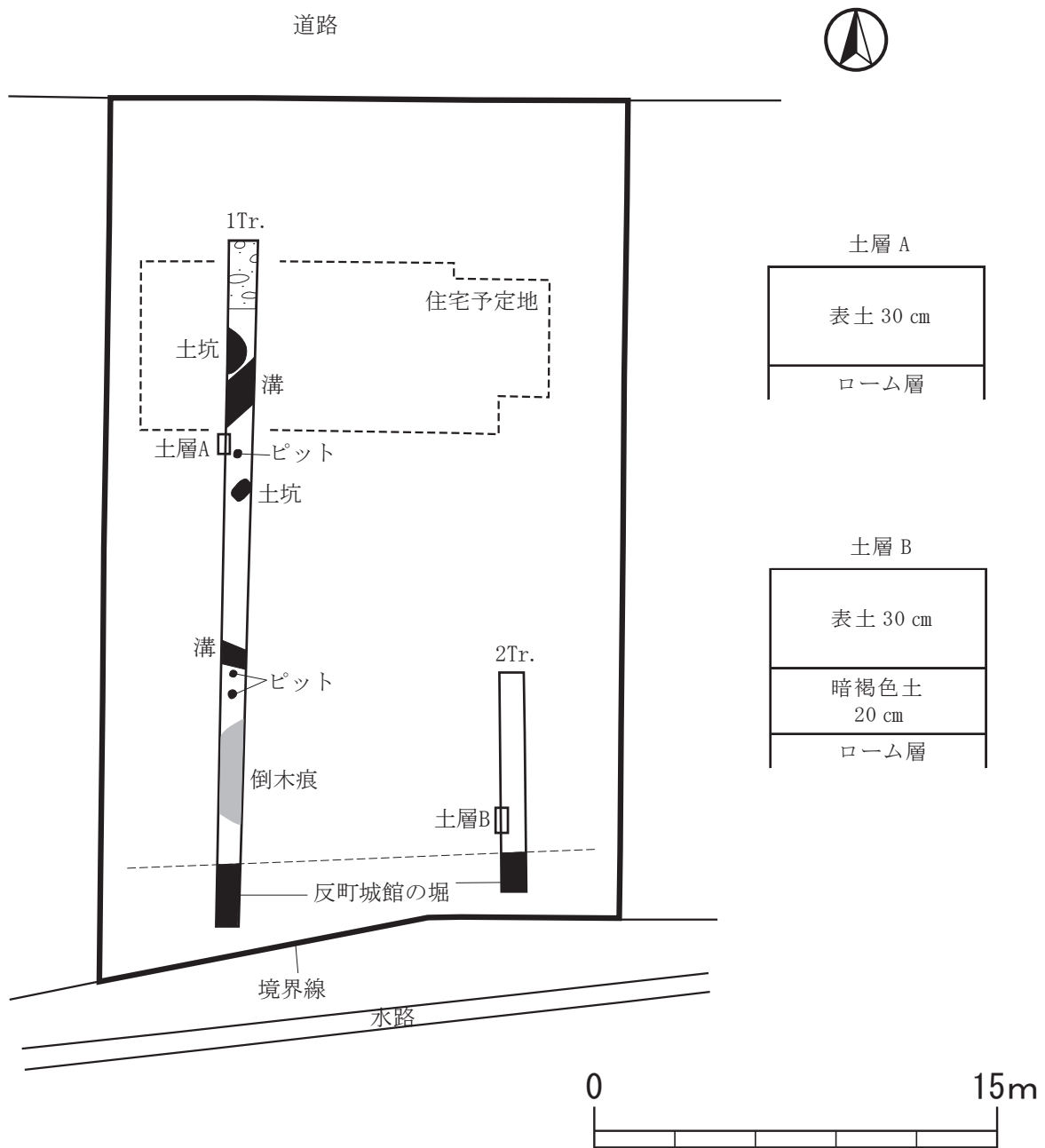
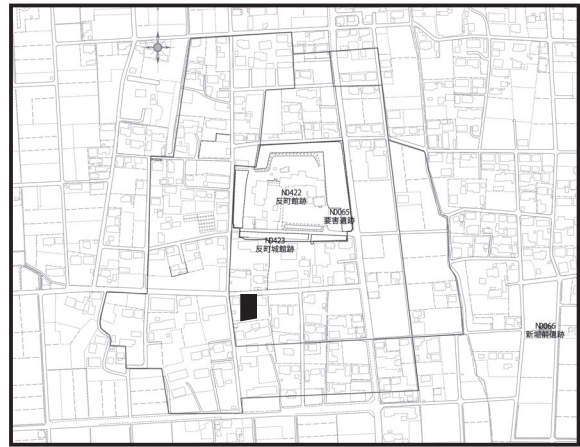


第17図 確認調査平面図・断面図



13 反町城館跡、要害遺跡 (H27No.165)

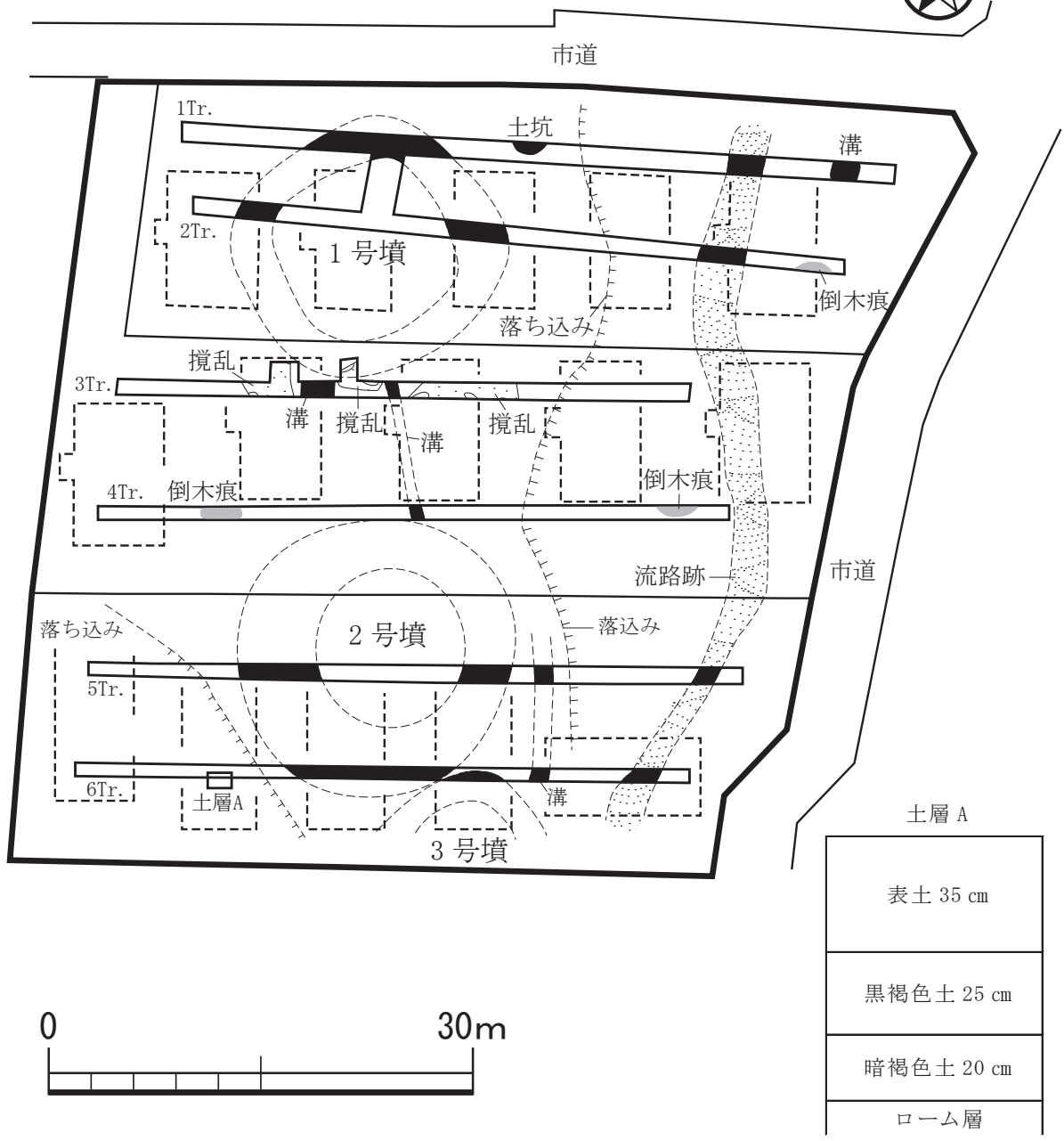
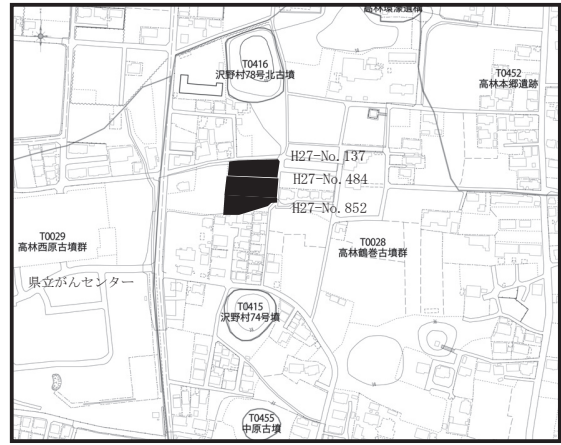
- ① 所在地 太田市新田反町町584-1、-4
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 堀1条、溝2条、土坑2基、ピット3基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第18図 確認調査平面図・断面図

14・15・16 高林鶴巻古墳群

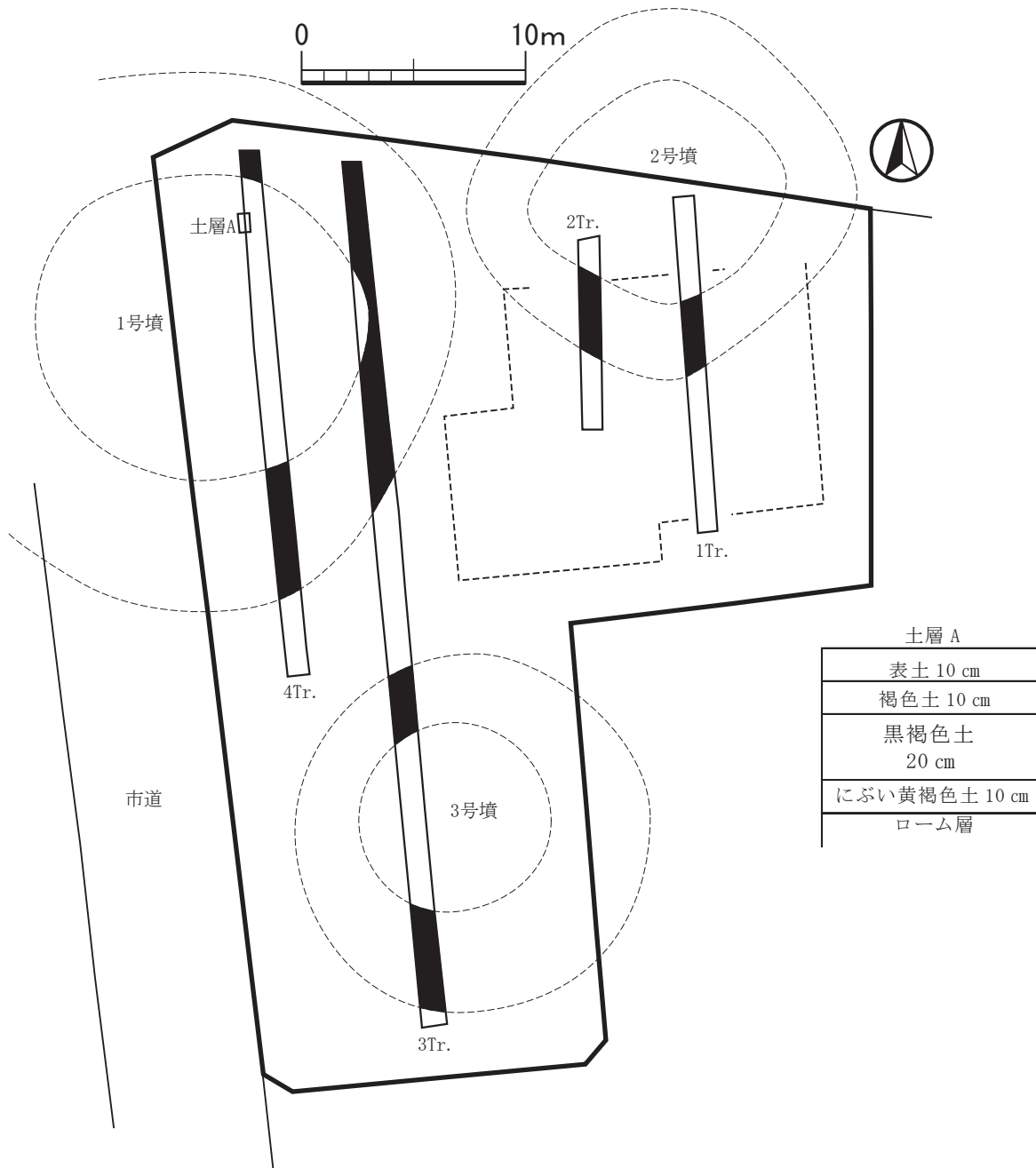
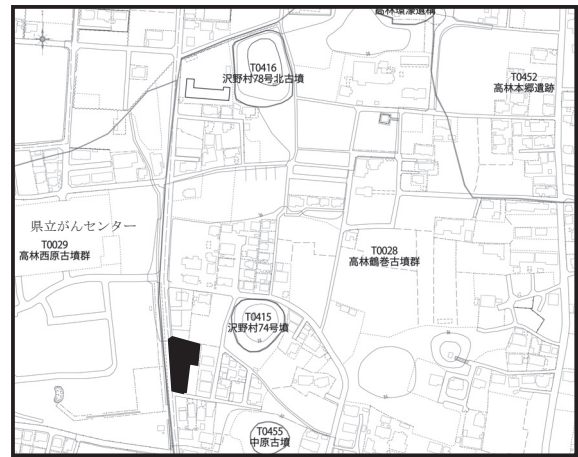
- ① 所在地 14 (H27No.852) 太田市高林南町613-1  
 15 (H27No.137) 太田市高林南町613-3  
 16 (H27No.484) 太田市高林南町613-4
- ② 調査原因 賃貸住宅の建設
- ③ 調査方法 3回の調査で、合計6本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 3基の古墳の周堀、溝4条、土坑1基が確認され、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第19図 確認調査平面図・断面図

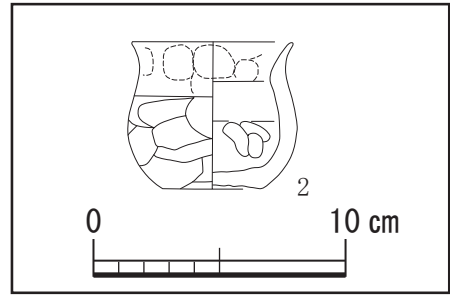
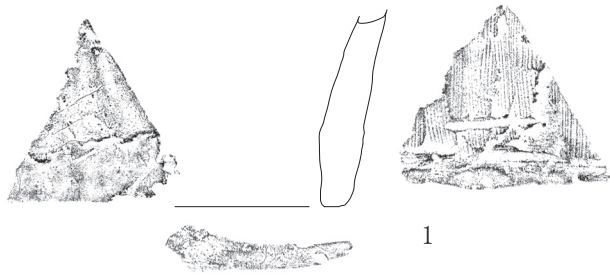
17 高林鶴巻古墳群 (H27No.695)

- ① 所在地 太田市高林南町619-52他
- ② 調査原因 診療所兼住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 古墳の周堀3箇所が確認され、古墳時代の土器片、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

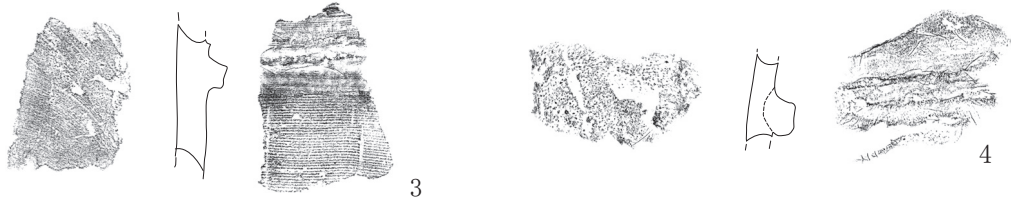


第20図 確認調査平面図・断面図

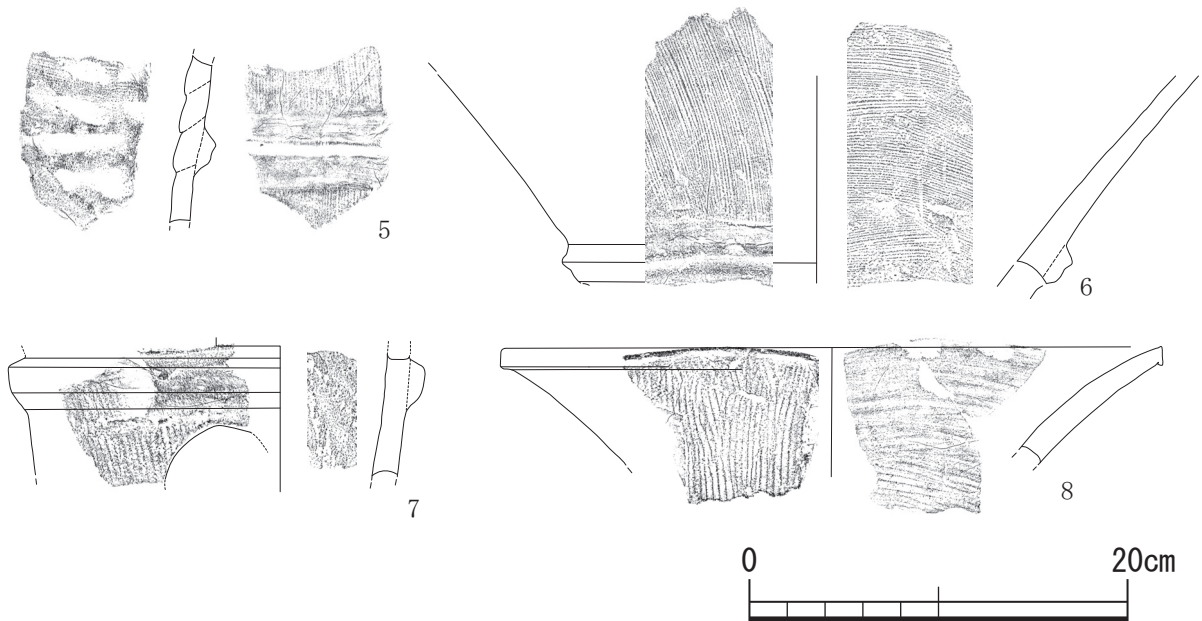
出土遺物 (1号墳)



出土遺物 (2号墳)



出土遺物 (3号墳)

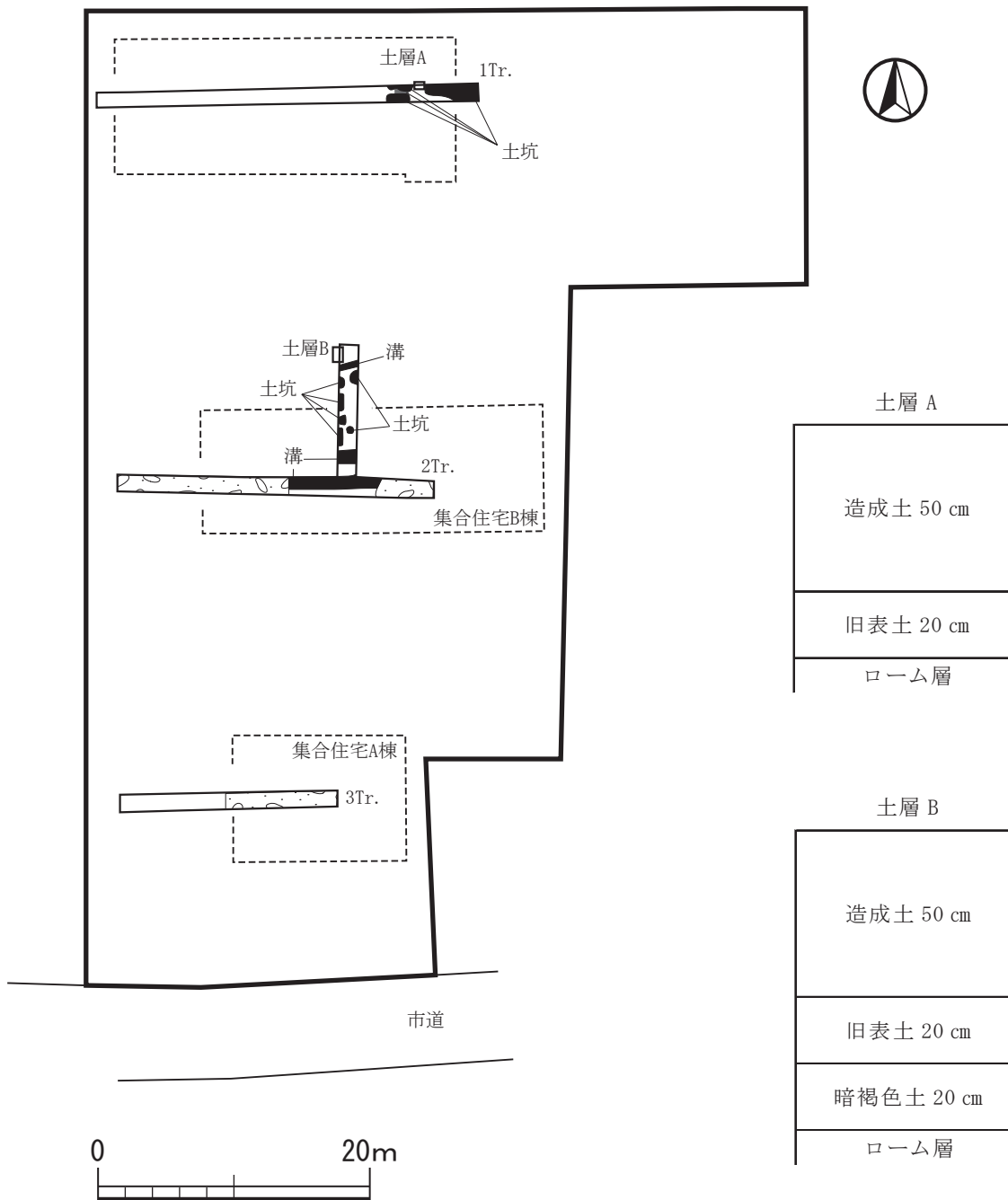
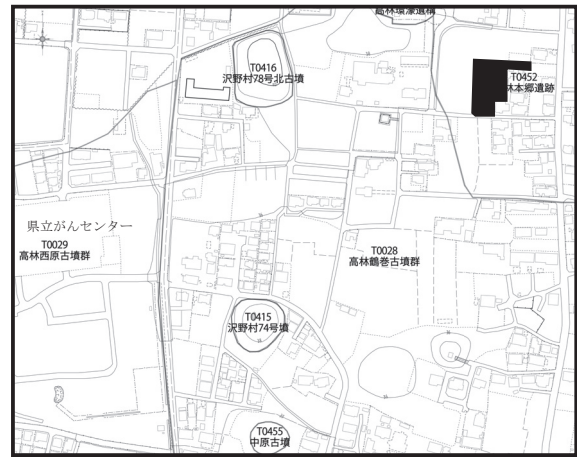


第21図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	埴輪	底部破片	— ・ 24.0 ・ —	やや粗	普通	淡橙色	外面、縦方向ハケナデ。内面、ヘラナデ。
2	土師器・小甕	1 / 3	(6.4) ・ — ・ 5.9	やや粗	やや軟	外 暗茶褐色 内 淡茶褐色	口縁部～頸部、雑な指押さえ整形。手捏ね土器。
3	埴輪	破片	— ・ — ・ —	やや細	やや良	淡橙色	外面、横方向ハケナデ。(B種ヨコハケ)
4	埴輪	破片	— ・ — ・ —	普通	普通	橙色	外面、横方向ハケナデ。(B種ヨコハケ)
5	埴輪	破片	— ・ — ・ —	やや細	普通	淡褐色	外面、縦方向ハケナデ。内面、ナデ。
6	朝顔形埴輪	破片	— ・ — ・ —	普通	普通	淡橙色	外面、縦ハケナデ。内面、横方向ハケナデ。
7	埴輪	破片	— ・ — ・ —	普通	普通	淡橙色	外面、縦方向ハケナデ。内面、ヘラナデ。
8	朝顔形埴輪	口縁破片	35.0 ・ — ・ —	やや細	やや良	淡橙色	外面、縦方向のハケナデ。内面、横方向のハケナデ。

18 高林本郷遺跡 (H27No.623)

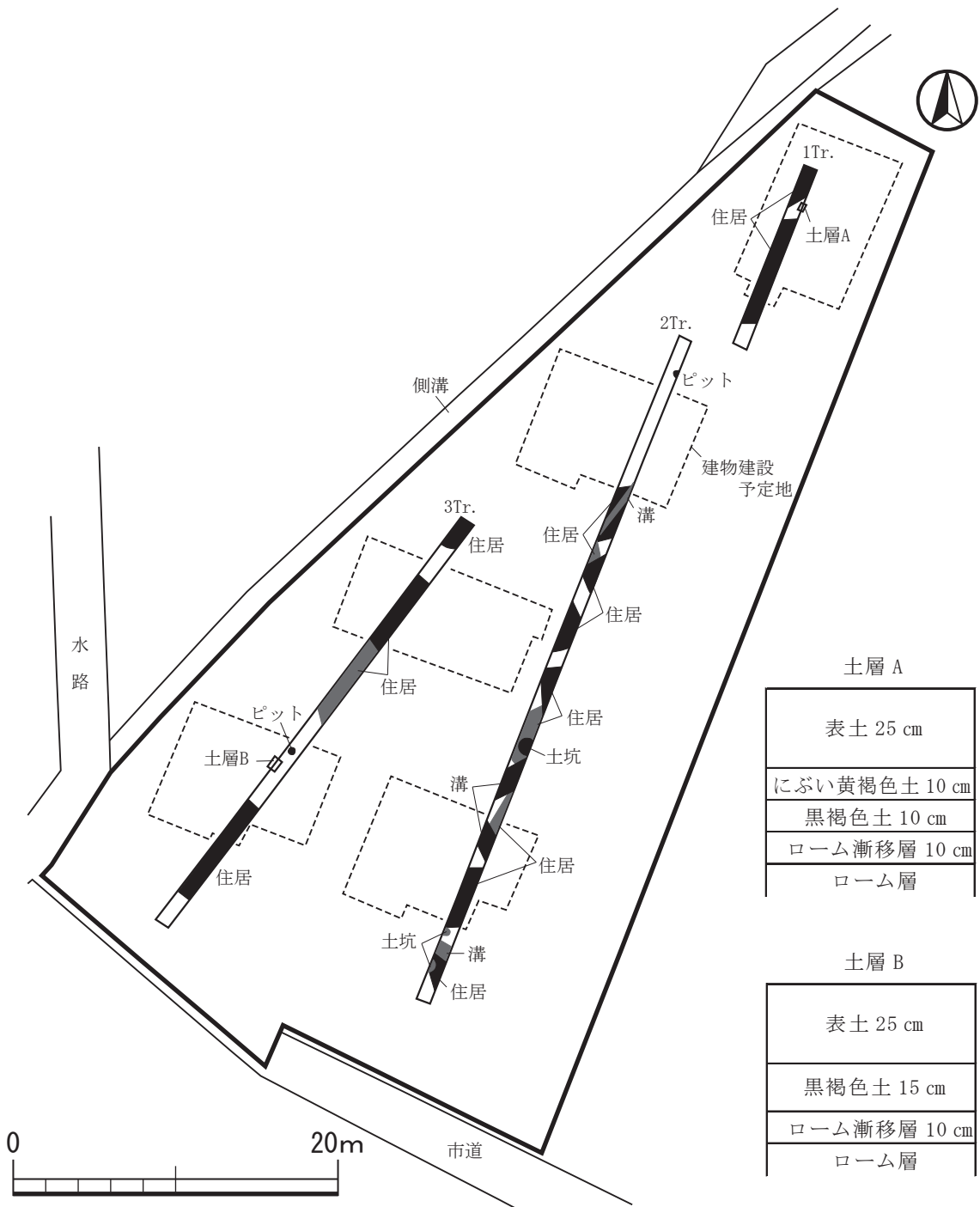
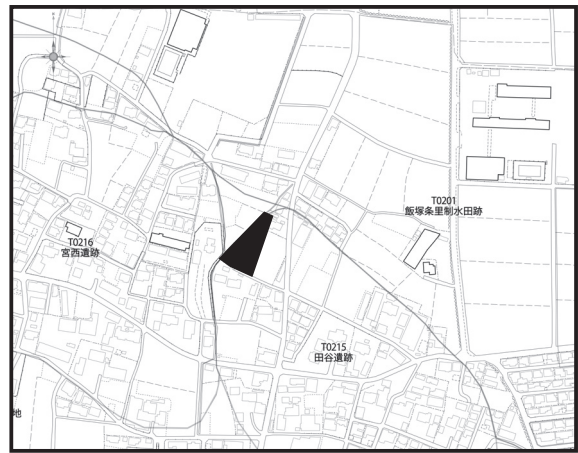
- ① 所在地 太田市高林南町806-1 他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝3条、土坑10基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第22図 確認調査平面図・断面図

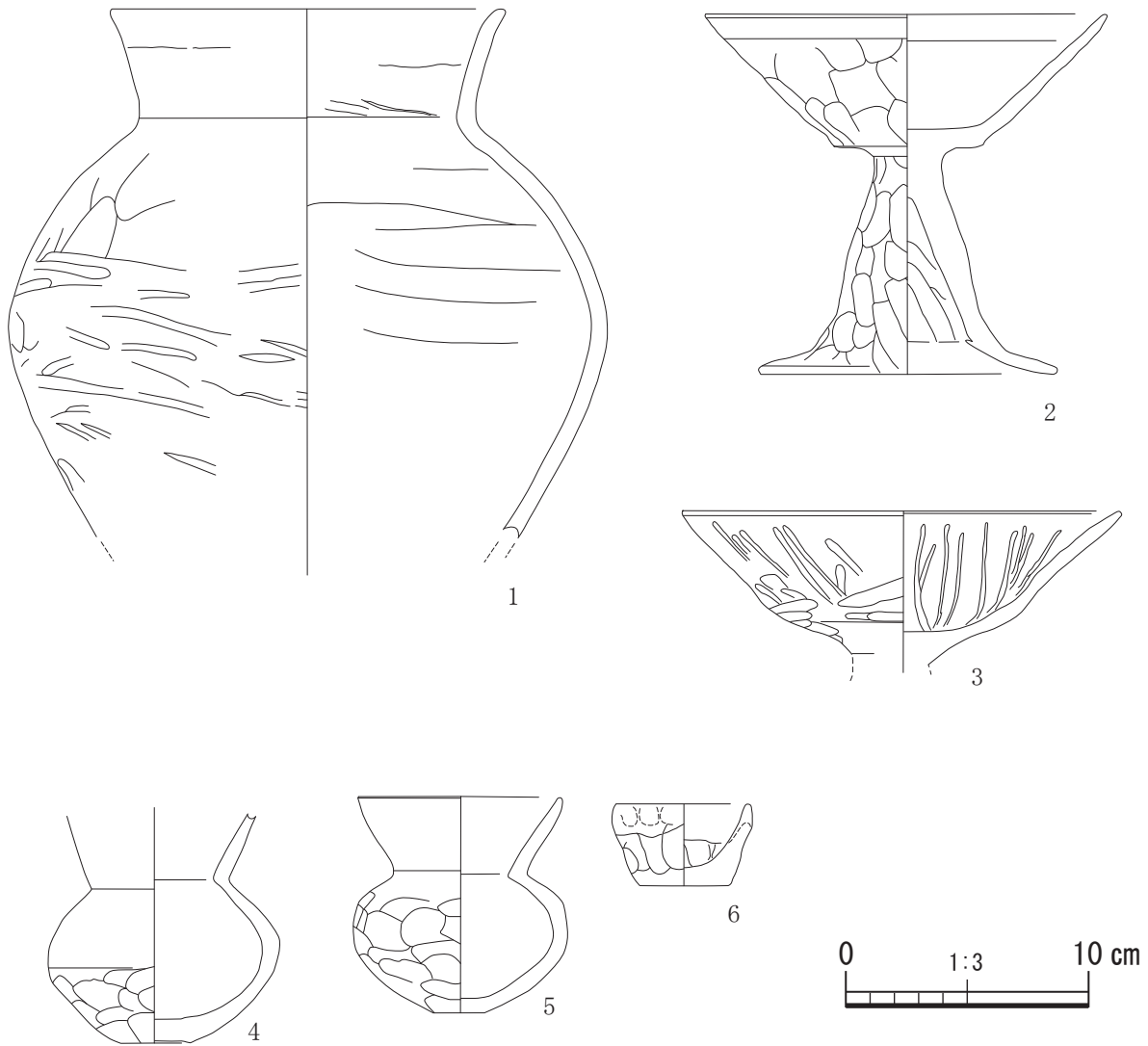
19 田谷遺跡 (H27No.280)

- ① 所在地 太田市東矢島町1132-1
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡15軒、溝4条、土坑3基、ピット2基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第23図 確認調査平面図・断面図

出土遺物 (3Tr.)

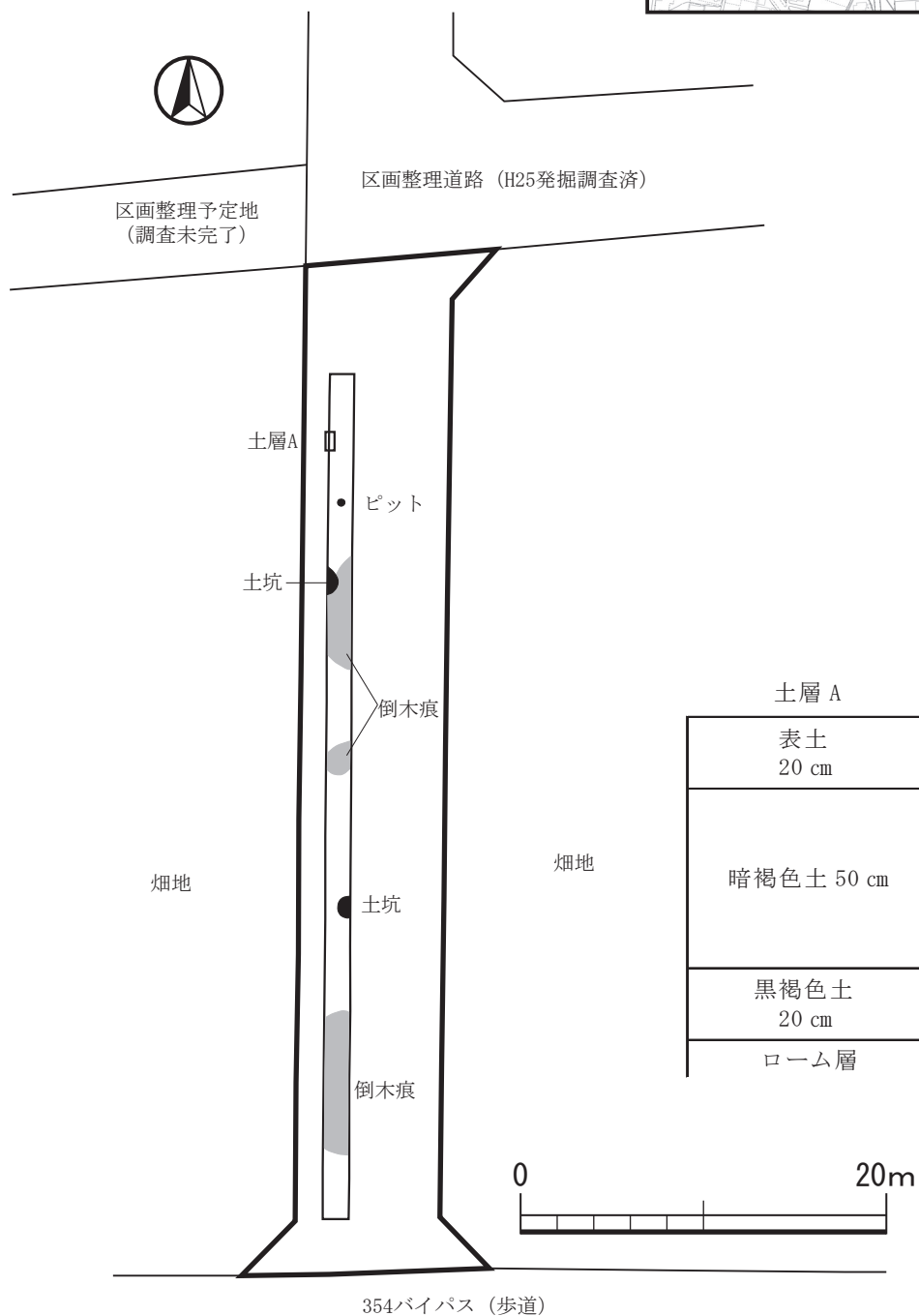
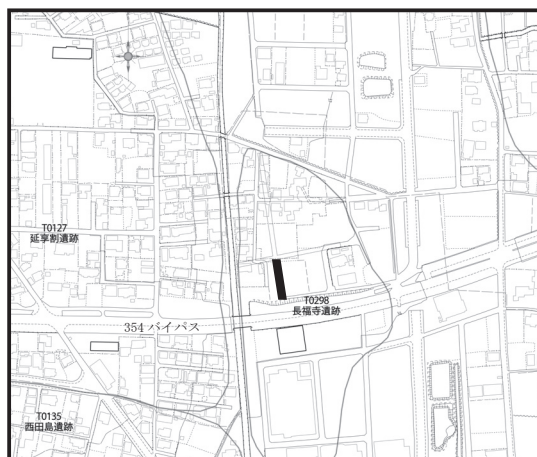


第24図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・甕	2/3	16.5 ・ - ・ -	普通	やや軟	橙色	外面、胴部は横方向へラ磨きで下部は縦方向へラ削り。内面、横及び斜め方向へラナデ。
2	土師器・高坏	2/3	(16.8) ・ 12.2 ・ 15.0	やや細	普通	淡橙色	外面、坏部から脚部はへラ削り状のナデで下部はハケによる縦ナデ。内面脚部下部、ヨコナデ。
3	土師器・高坏	3/4	18.4 ・ - ・ -	緻密	やや良	赤橙色	内外面、ナデ後にへラ磨き。
4	土師器・罎	3/4	- ・ 2.8 ・ -	やや細	普通	淡橙色	外面、へラ削り。底部、へラナデ。外面上下から口縁内側までヨコナデ。
5	土師器・罎	2/3	(8.6) ・ 2.2 ・ 9.0	やや細	普通	淡橙色	外面、胴部はへラ削り。内面、ナデ。底部、へラナデ。
6	土師器・手捏ね	完形	5.8 ・ 3.8 ・ 3.4	やや細	軟	淡褐色	外面、上部は指頭痕を残しながらのナデで下部は指押さえ。内面、ヨコナデ。

20 長福寺遺跡 (H27No.30)

- ① 所在地 太田市下田島町1131-1 他
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地に1本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑2基、ピット1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

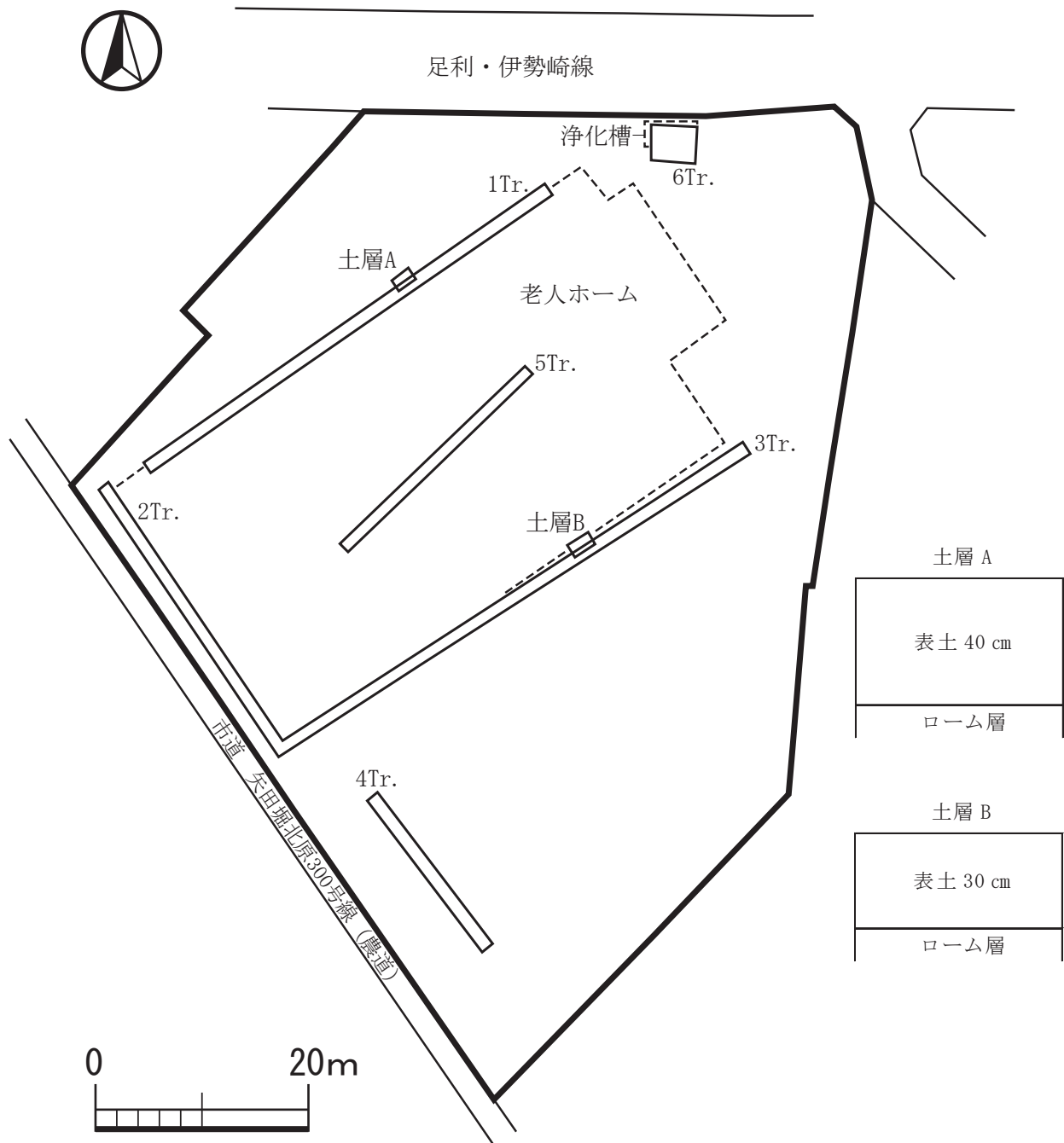
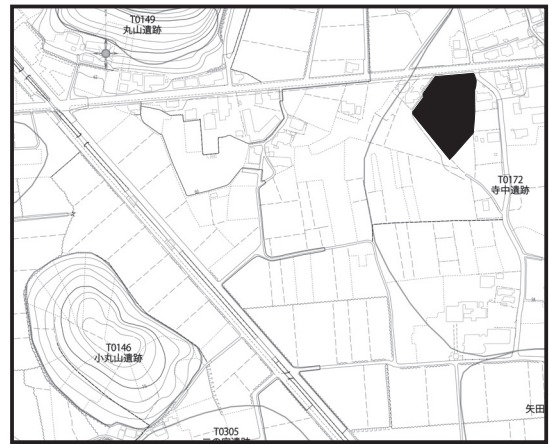


第25図 確認調査平面図・断面図



21 寺中遺跡 (H27No.217)

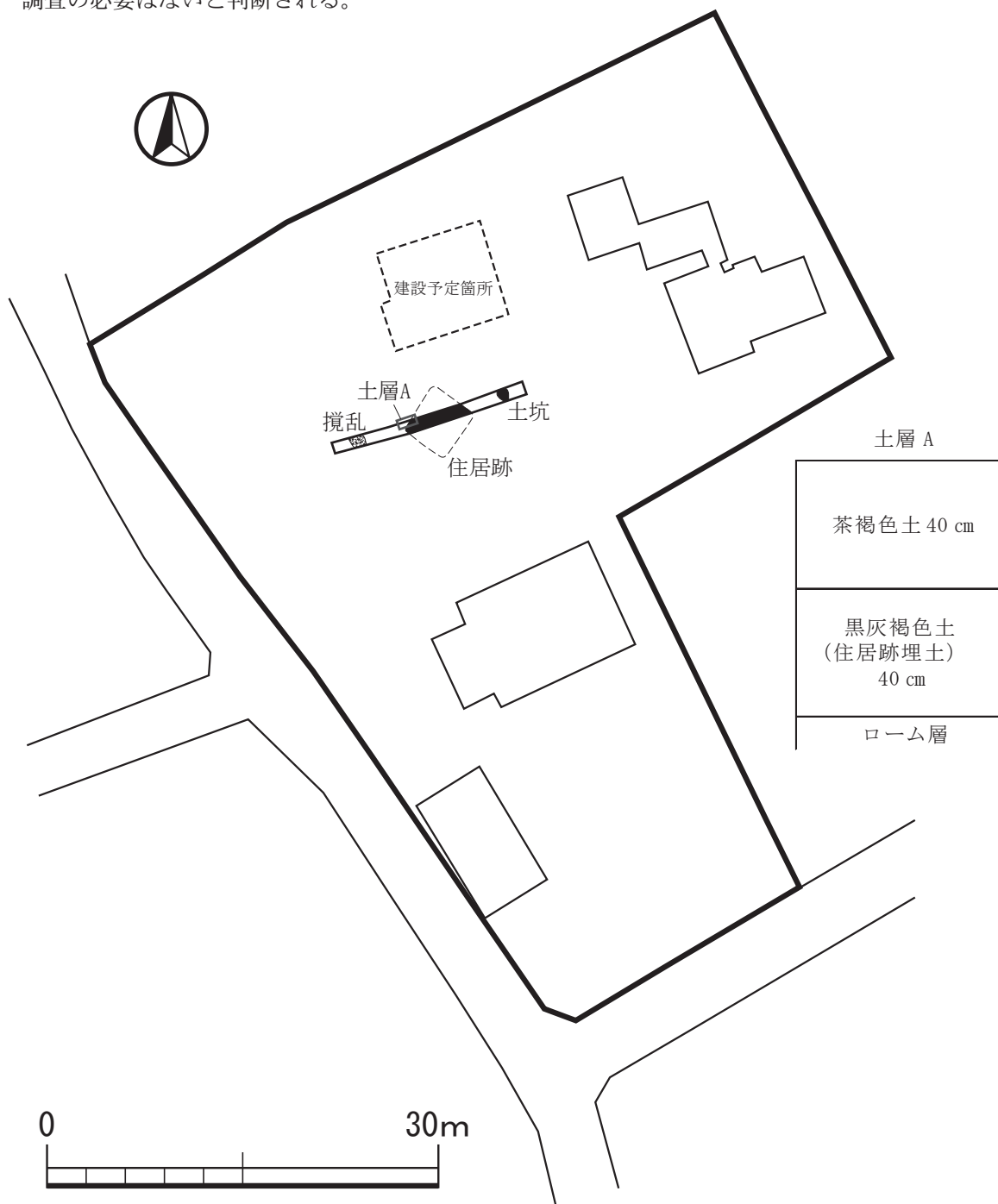
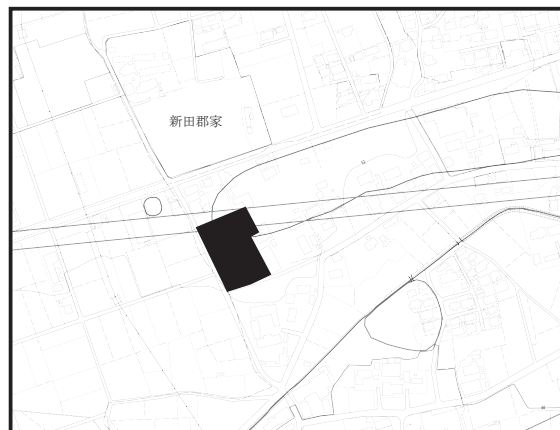
- ① 所在地 太田市矢田堀町361-1 他
- ② 調査原因 福祉施設の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に6本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第26図 確認調査平面図・断面図

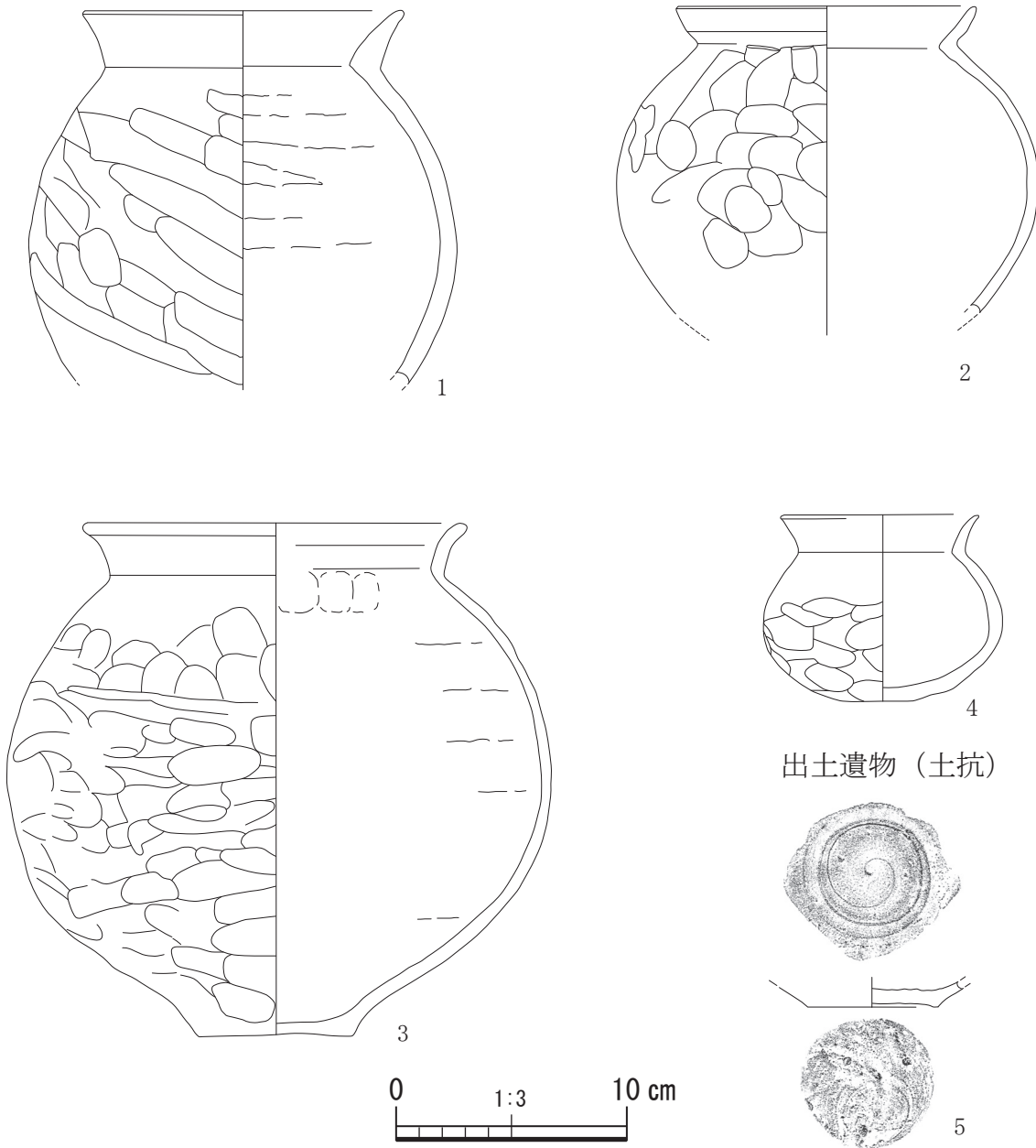
22 天良七堂遺跡 (H27No.241)

- ① 所在地 太田市寺井町674-1
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地の南に1本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡1軒、土坑1基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第27図 確認調査平面図・断面図

出土遺物（住居跡）



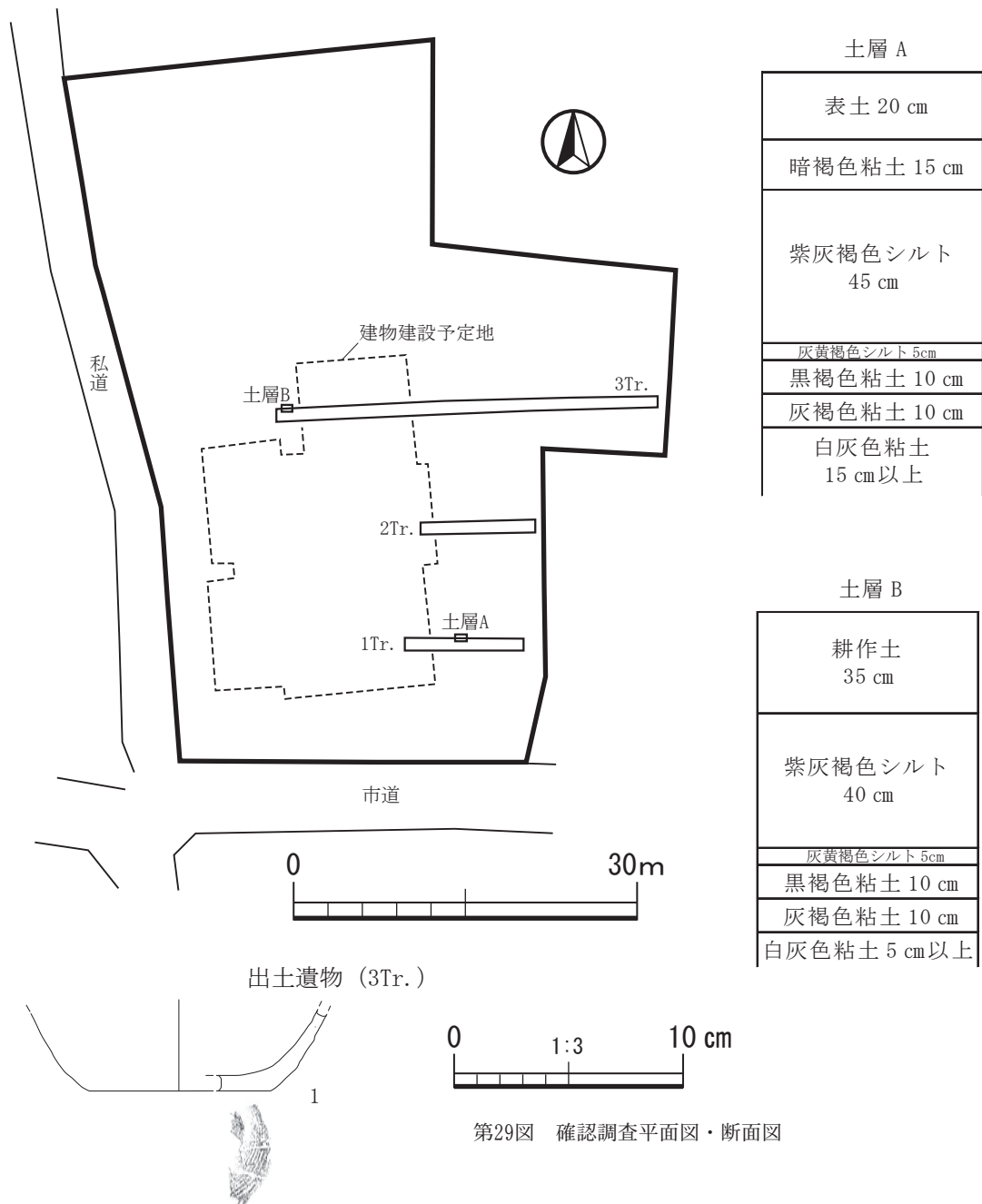
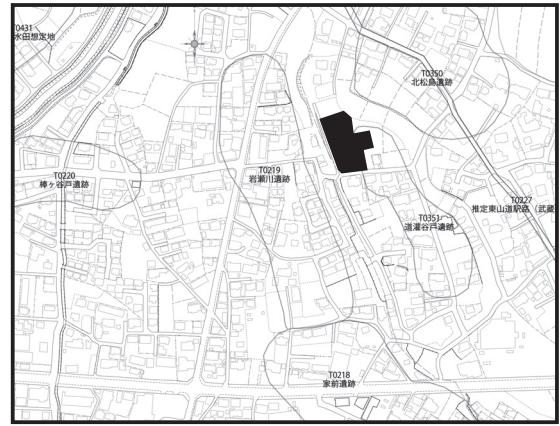
出土遺物（土抗）

第28図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・甕	1/2	14.0 ・ - ・ -	やや細	やや良	明るい橙色	口縁部、ヨコナデ。外面ヘラ削り。内面、弱いヘラナデで粘土輪積み痕が残る。
2	土師器・甕	1/2	13.2 ・ - ・ -	普通	やや軟	くすんだ橙色	内面、幅の狭いヘラ状工具による斜め方向のナデ。体部下半部にスス痕が少量付着。
3	土師器・甕	3/4	16.8 ・ 6.8 ・ 22.5	普通	やや軟	暗赤褐色	横、斜めのヘラ削り。裏面には粘土積み痕が残る。
4	土師器・小甕	ほぼ完形	(8.6) ・ 3.6 ・ 6.1	普通	普通	淡褐色	体部外面下半部、ヘラ削り。
5	カワラケ	底部破片	- ・ 5.8 ・ -	普通	やや軟	橙色	ロクロ左回転整形。底部は回転糸切。

23 道灌谷戸遺跡 (H27No.182)

- ① 所在地 太田市下浜田町983-1
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、地表から約140cm下の白灰色粘土層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構は確認されなかったが、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

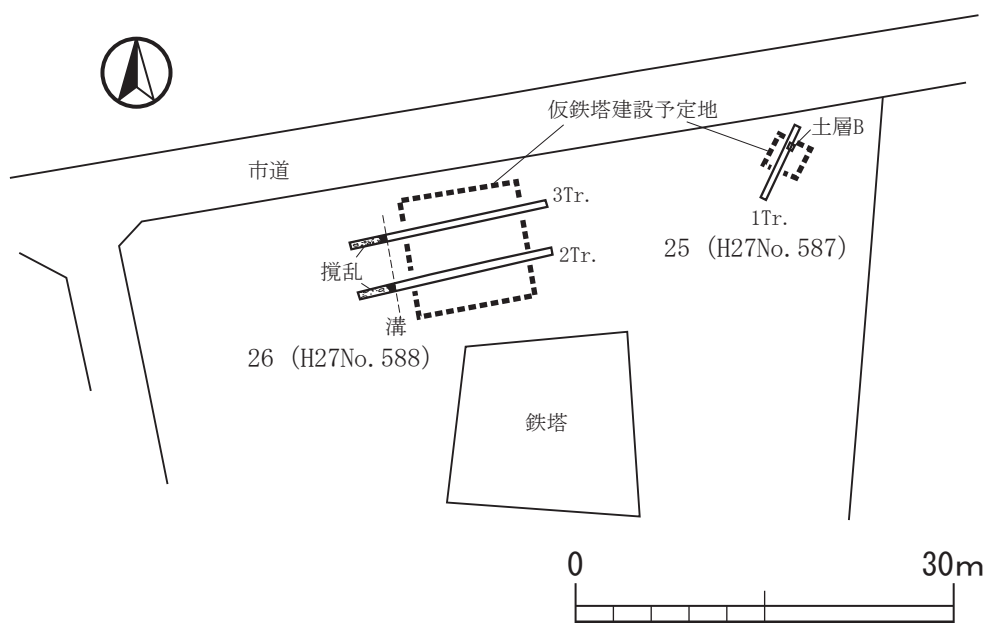
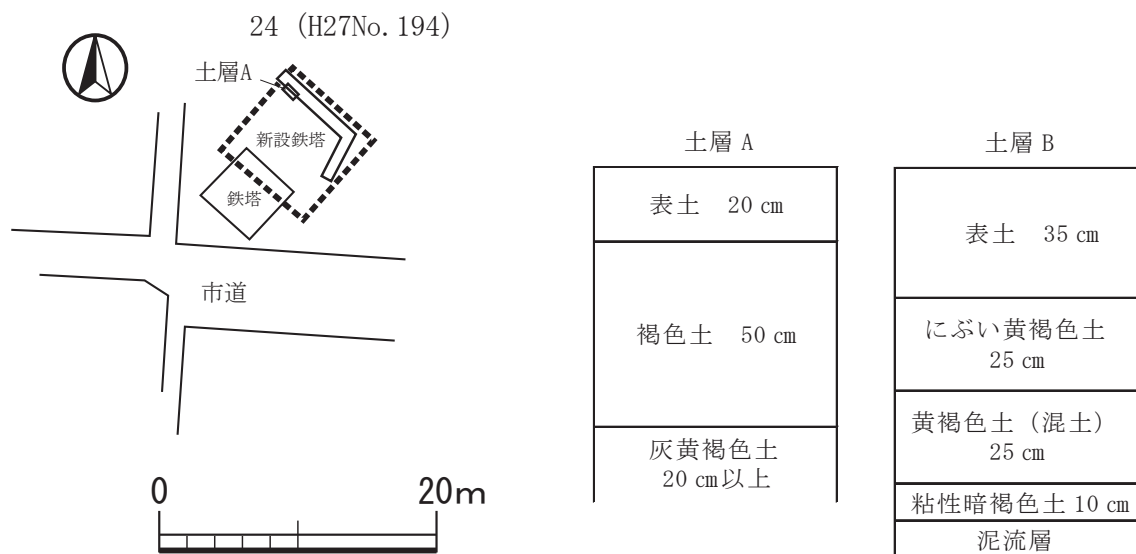
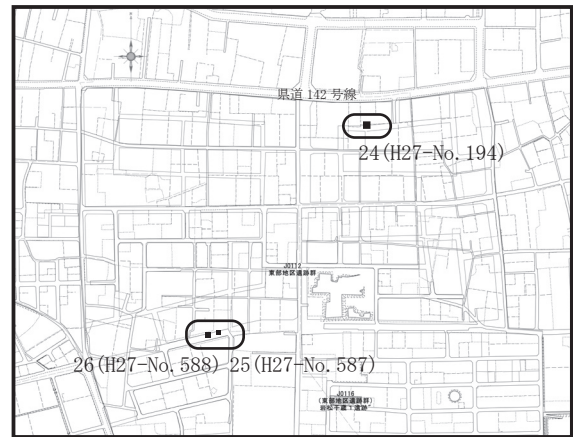


第29図 確認調査平面図・断面図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	須恵器・坏	底部破片	— ・ 8.0 ・ —	緻密	やや良	淡赤茶褐色	体部、内外面、ロクロ回転ヨコナデ。底部、ロクロ回転糸切。

24・25・26 東部地区遺跡群 (H27No.587)

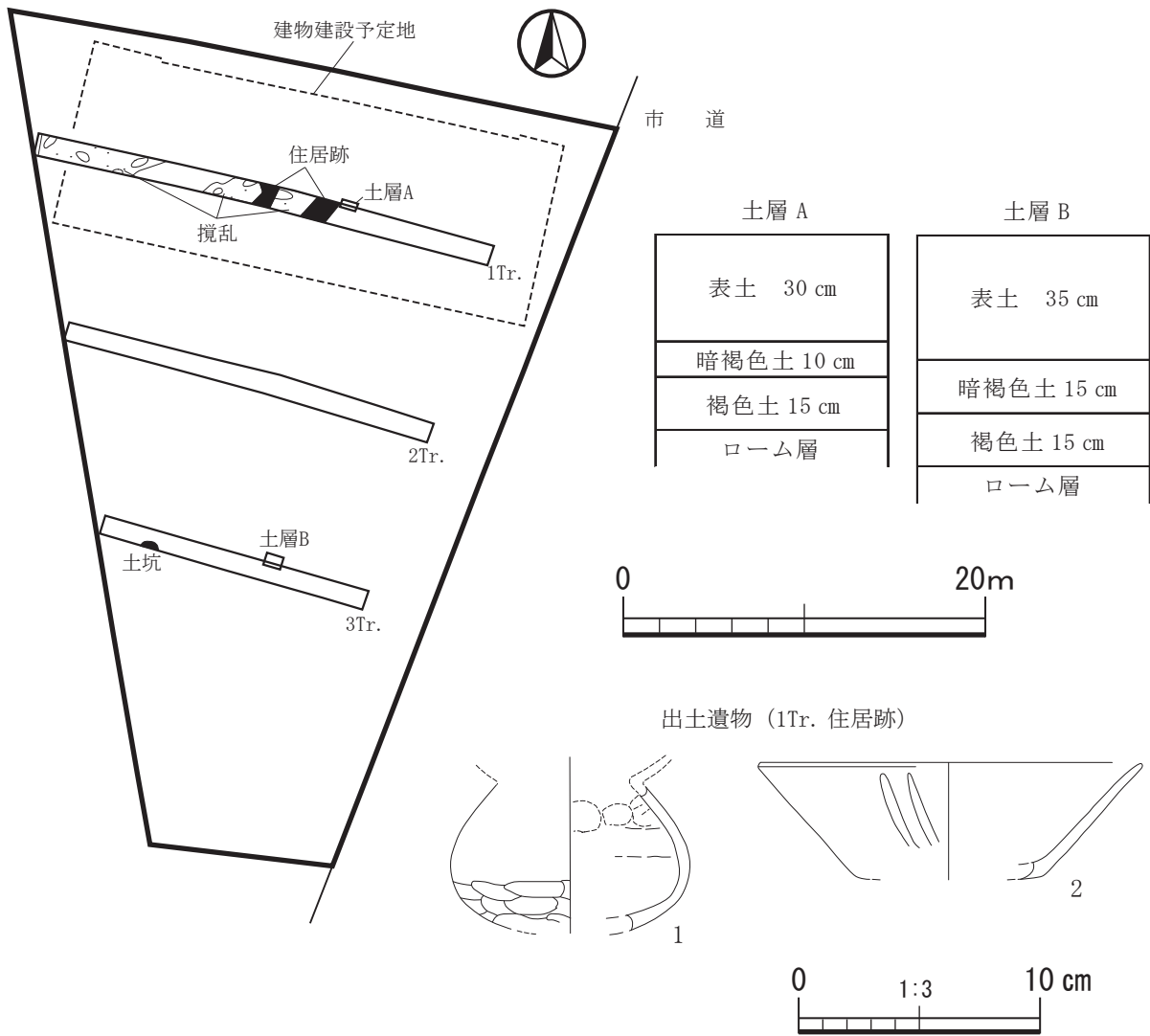
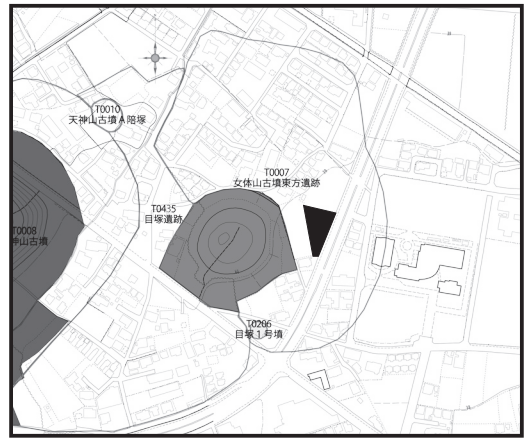
- ① 所在地 24 (H27No.194) 太田市阿久津町3-1 他  
25 (H27No.587) 太田市堀口町233-1  
26 (H27No.588) 太田市堀口町159-1 他
- ② 調査原因 鉄塔の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に合計4本のトレンチを設定し、地表から60~70cm下の灰黄褐色土まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条が確認され、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響を及ぼさないため、本調査の必要はないと判断される。



第30図 確認調査平面図・断面図

27 女体山古墳東方遺跡 (H27No.637)

- ① 所在地 太田市内ケ島町1389-3
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、土坑1基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

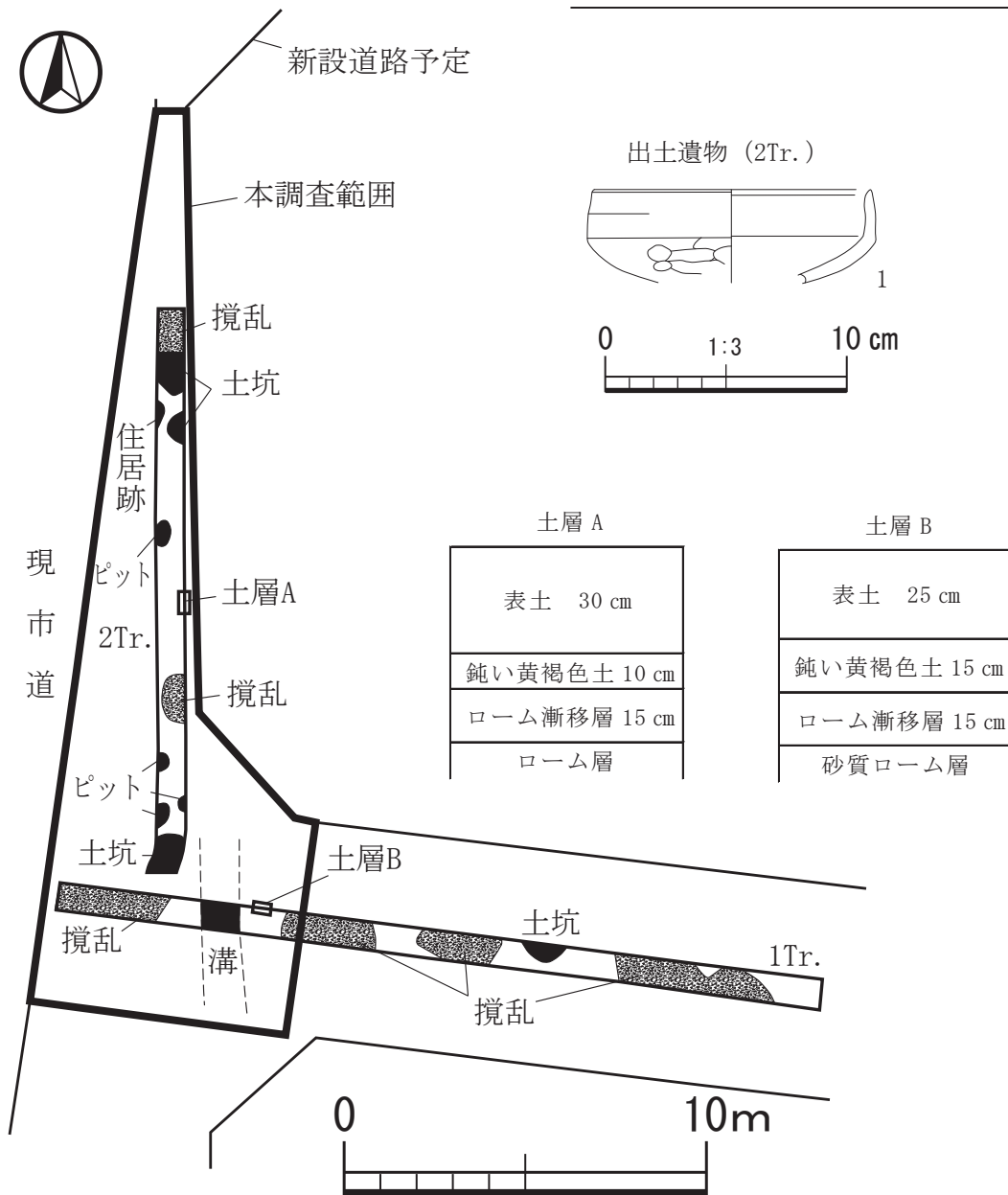
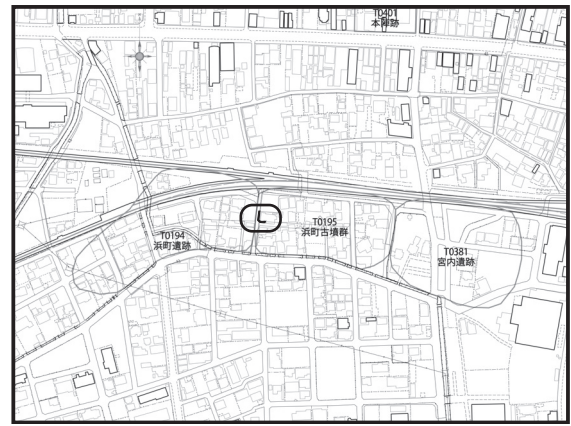


第31図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・埴	胴部1/3	— . . . —	細	やや良	くすんだ明褐色	体部・内外面、ヨコナデのヘラ削り。内面、粘土輪積痕が部分的に残る。
2	土師器・高杯	口縁1/4	(16.0) . . . —	細	普通	橙色	外面、縦方向のヘラ磨き。内面、ヘラ磨きがなされていたと見られるが、痕跡の確認はできない。

28 浜町古墳群 (H27No.32)

- ① 所在地 太田市浜町14-14他
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡1軒、溝1条、土坑4基、ピット4基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本調査を実施した。

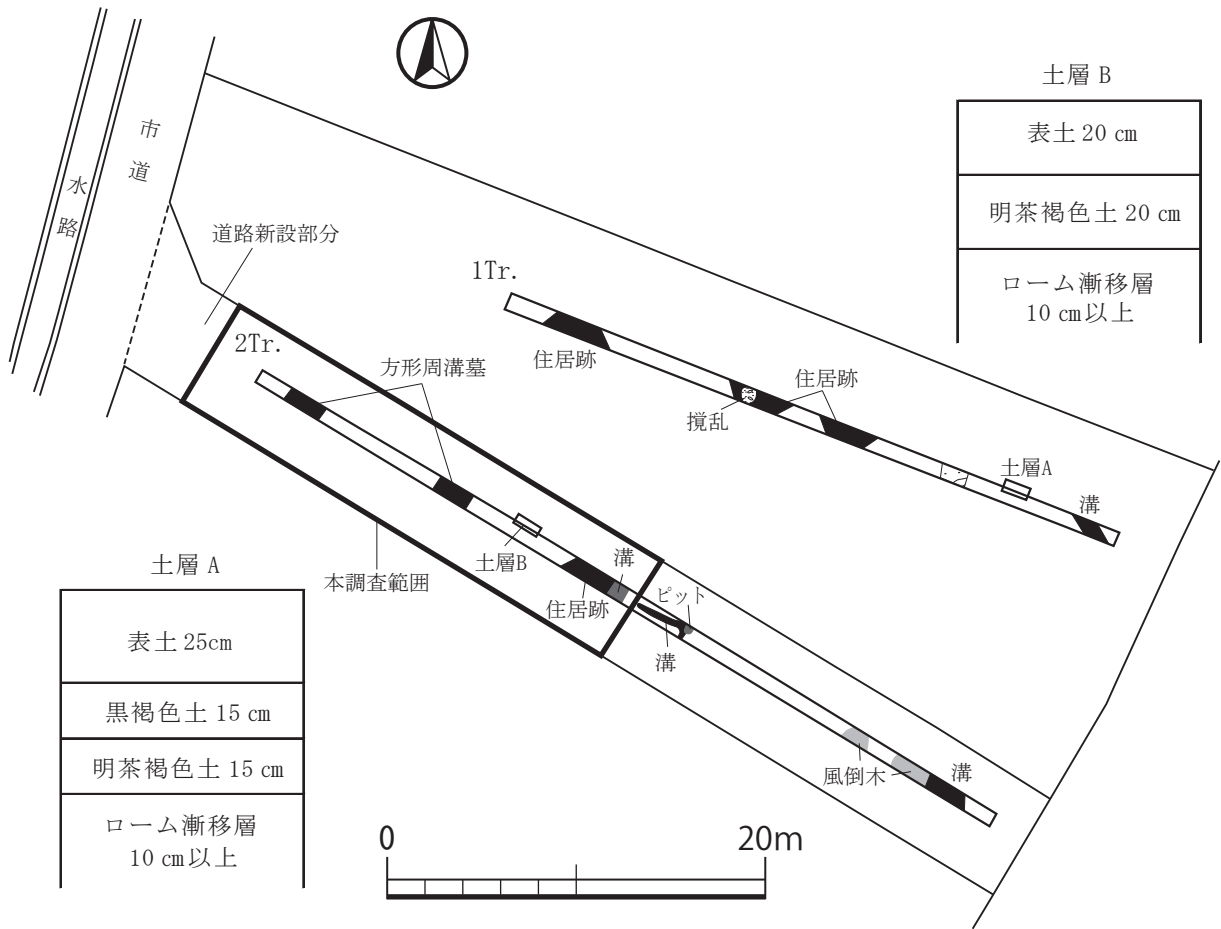
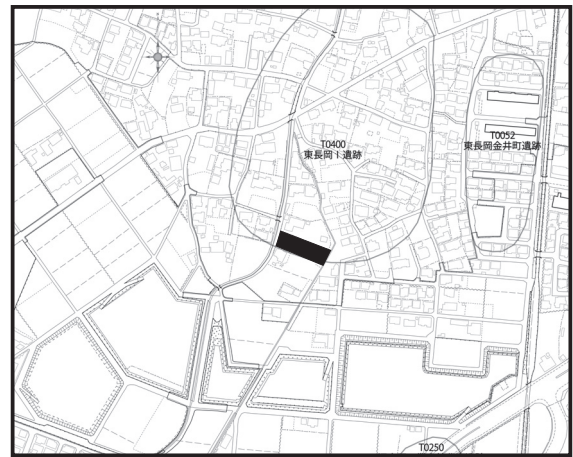


第32図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・坏	口縁破片	11.2 . . . .	細	普通	淡橙色	口縁部ヨコナデ。体部外面ヘラ削り。

29 東長岡 I 遺跡 (H27No.127)

- ① 所在地 太田市東長岡町127-4 他
- ② 調査原因 新設道路の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 方形周溝墓1基、住居跡4軒、溝4条、ピット1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本調査を実施した。



出土遺物 (2Tr.)



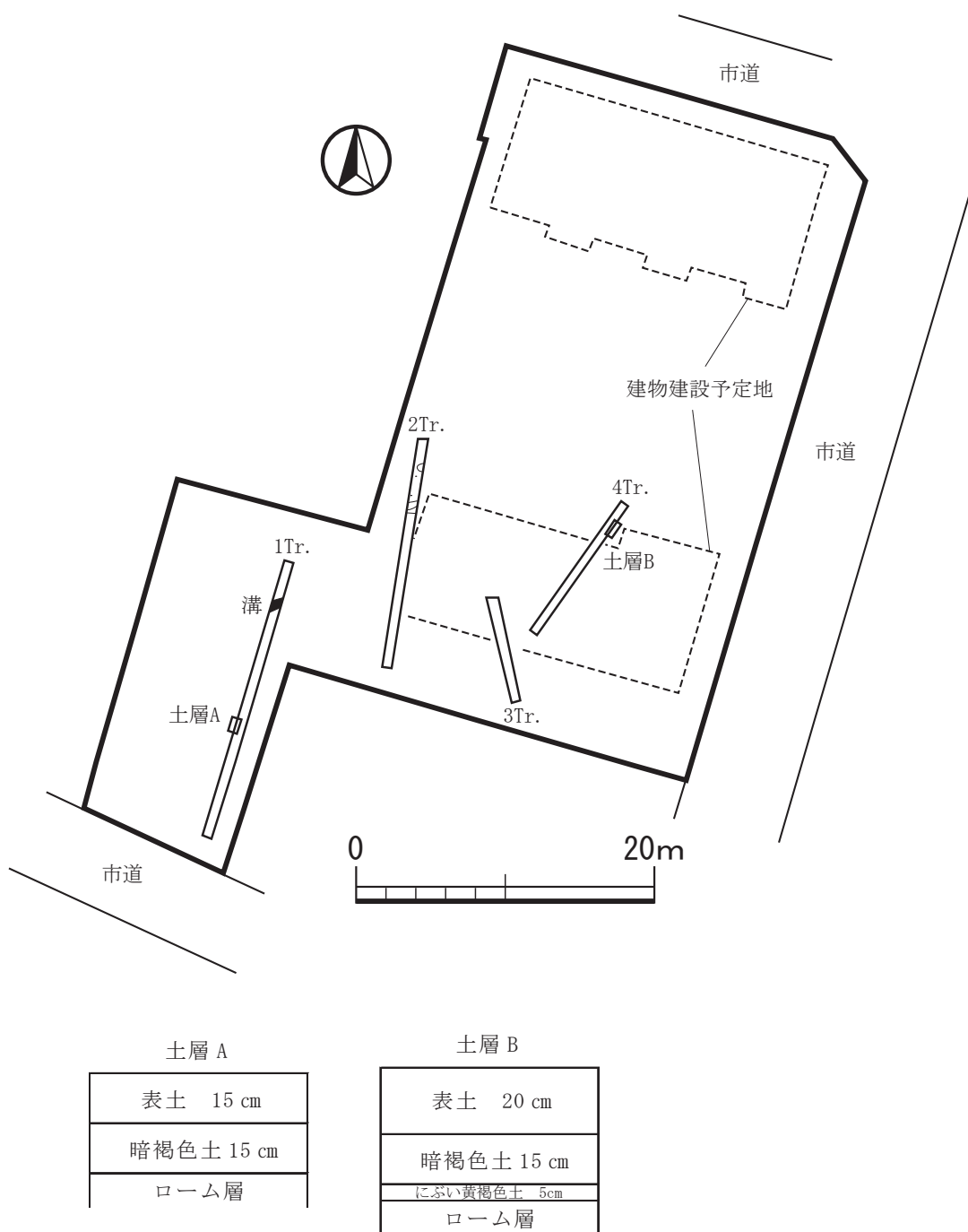
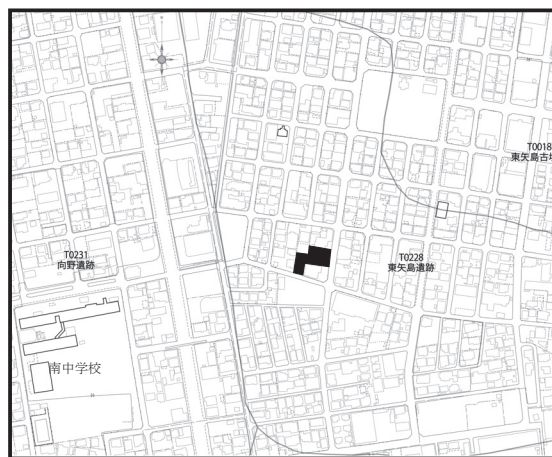
第33図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	縄文土器	破片	- . - . -	粗	やや軟	淡橙色	
2	縄文土器	口縁破片	- . - . -	やや粗	やや軟	暗褐色	



### 30 東矢島遺跡 (H27No.200)

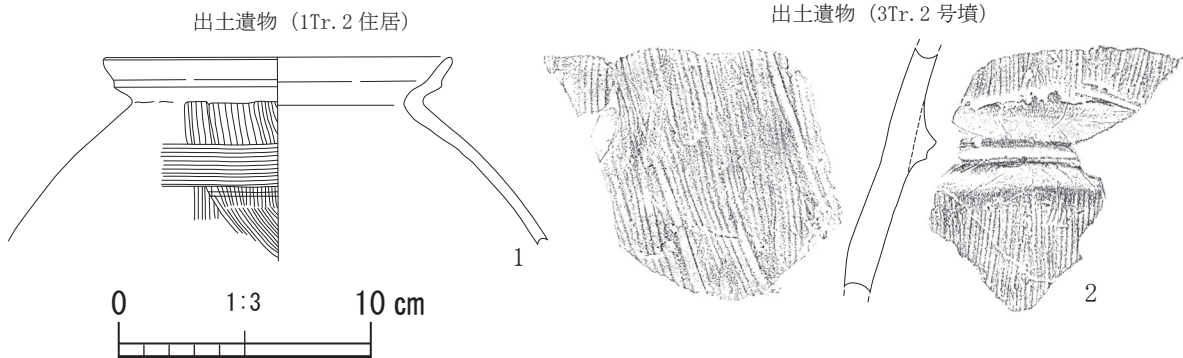
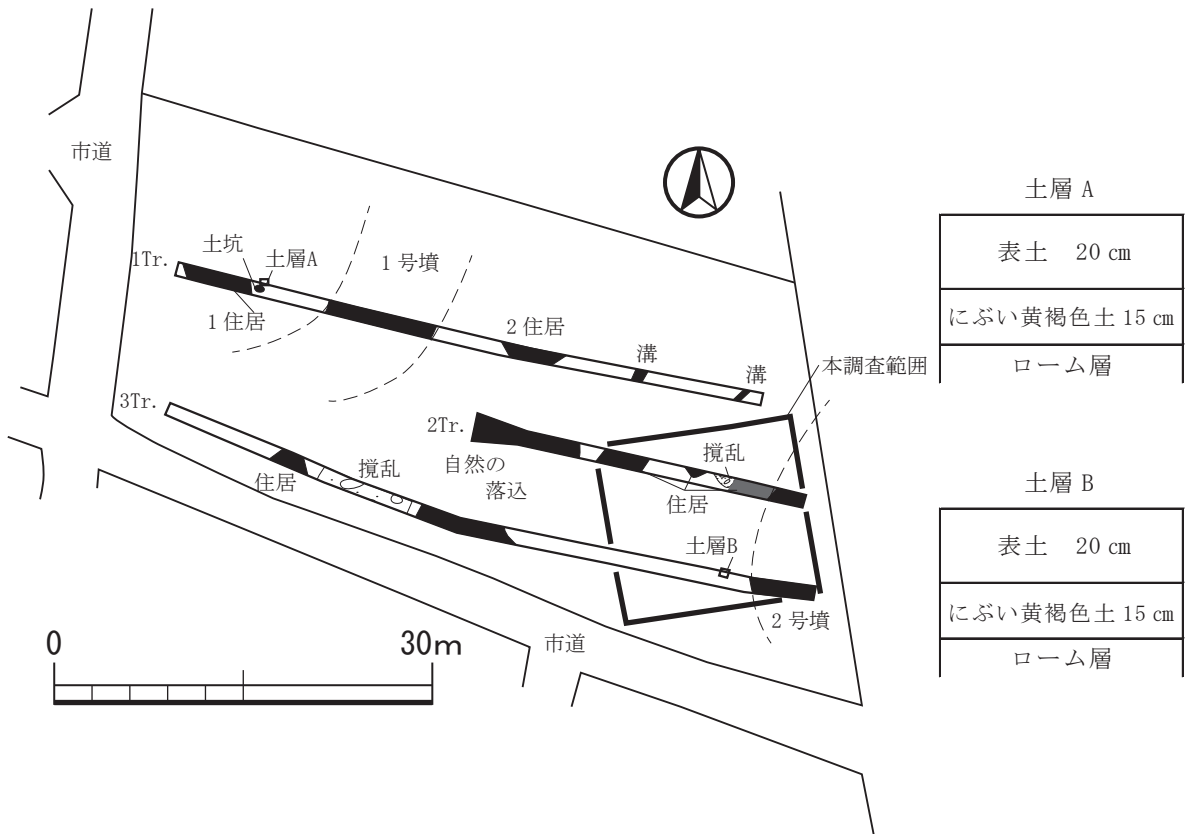
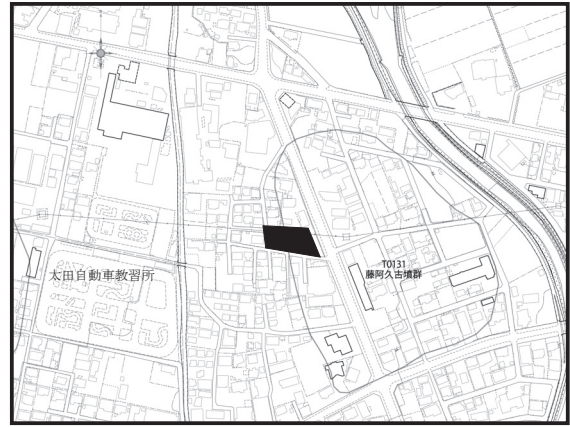
- ① 所在地 太田市未広町561-1 他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響を及ぼさないため、本調査の必要はないと判断される。



第34図 確認調査平面図・断面図

31 藤阿久古墳群 (H27No.112)

- ① 所在地 太田市藤阿久町926-3 他
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮かけを行った。
- ④ 調査結果 2基の古墳の周堀、住居跡7軒、溝2条が確認され、古墳時代の土器片や埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本調査を実施した。

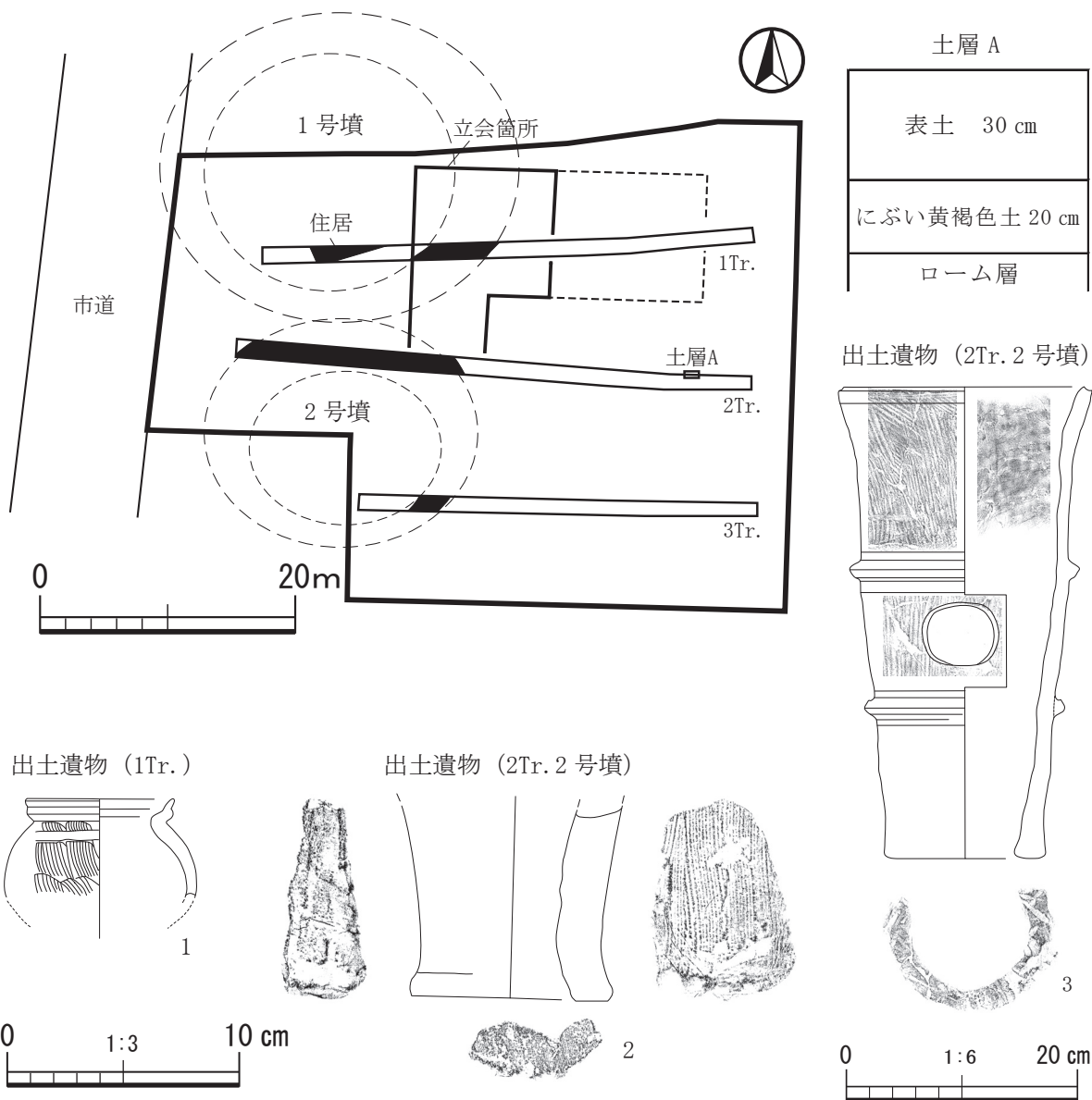
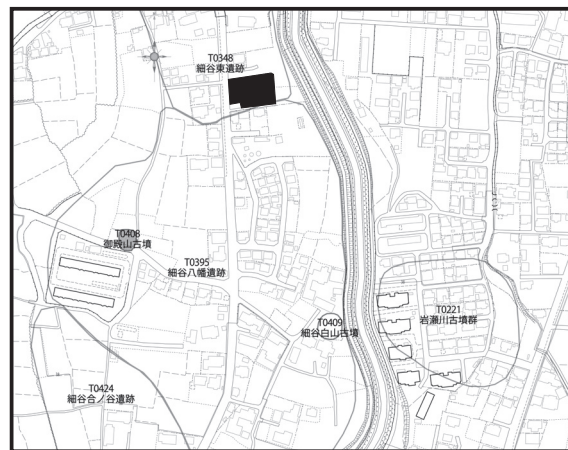


第35図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・台付甕	口縁破片	(14.0)・—・—	やや細	やや良好	外内 暗褐色 褐色	口縁部ヨコナデ。体部外面、ハケナデ。肩部に横線あり。
2	埴輪	破片	—・—・—	やや粗	普通	橙色	外面 縦方向ハケナデ。内面は縦方向ヘラナデ。

32 細谷東遺跡、細谷八幡遺跡 (H27No.454)

- ① 所在地 太田市細谷町165-1
- ② 調査原因 診療所の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 2基の古墳の周堀、住居跡1軒が確認され、古墳時代の土器片、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のある箇所は、立会調査で記録保存した。

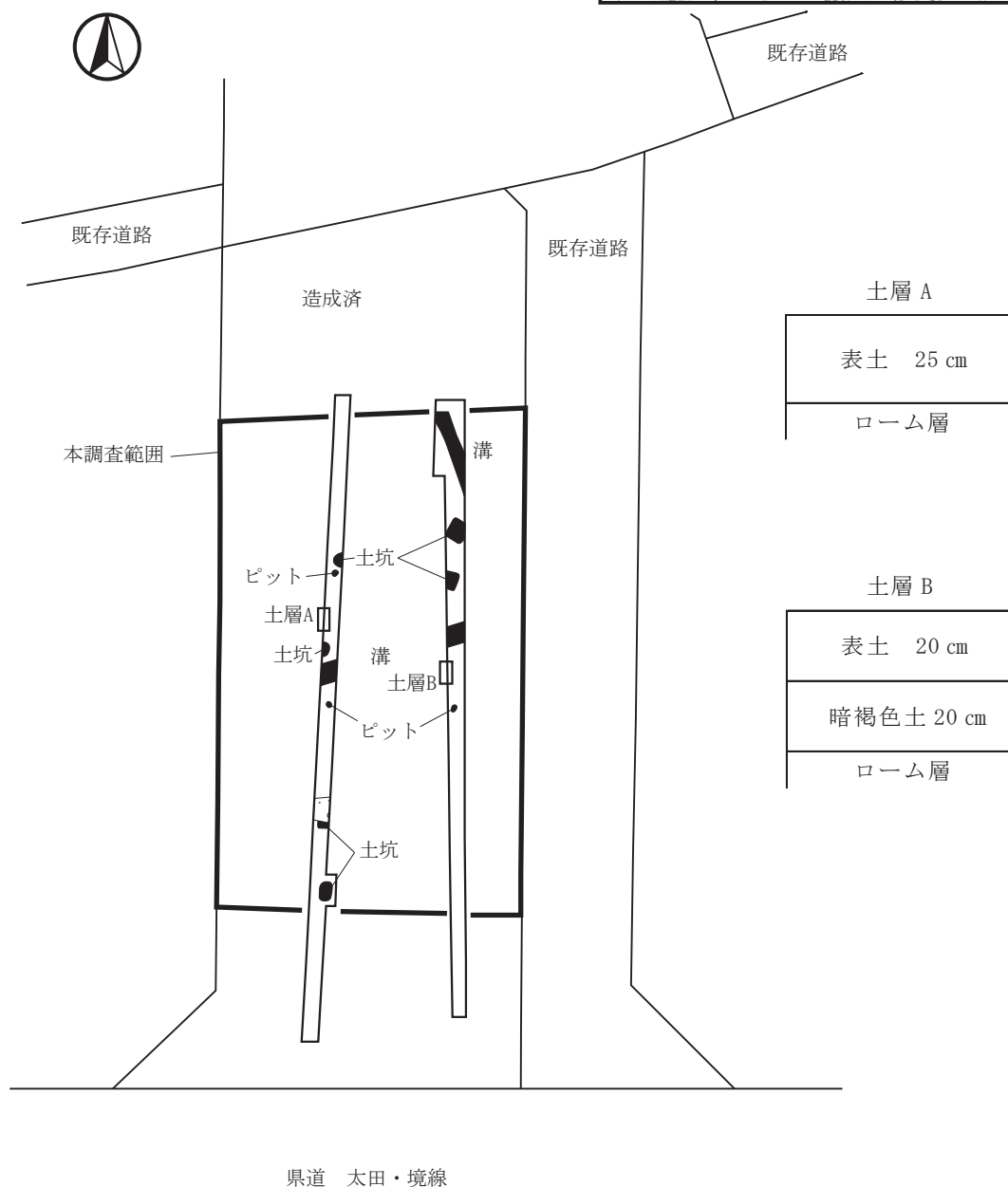
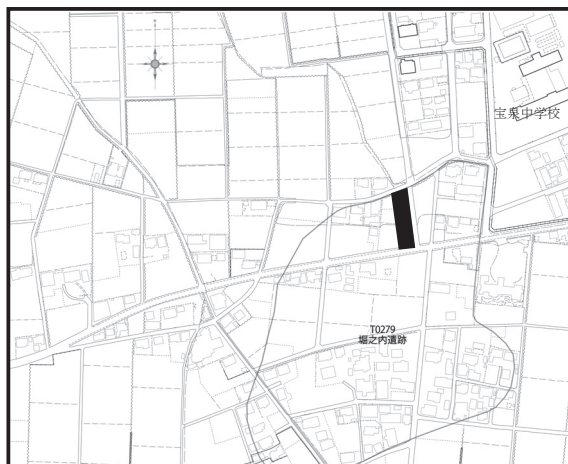


第36図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・小甕	破片	(6.2) ・ - ・ -	細	やや軟	淡褐色	体部外面、ハケナデ
2	埴輪(馬の脚部か)	底部破片	- ・ (9.0) ・ -	普通	普通	淡褐色	外面、縦方向ハケナデとヘラ調整。内面、縦方向ナデ。
3	円筒埴輪	1/2	20.8 ・ 12.6 ・ 40.8	やや粗	やや軟	淡橙色	外面、縦方向ハケナデ。

### 33 堀之内遺跡 (H27No.545)

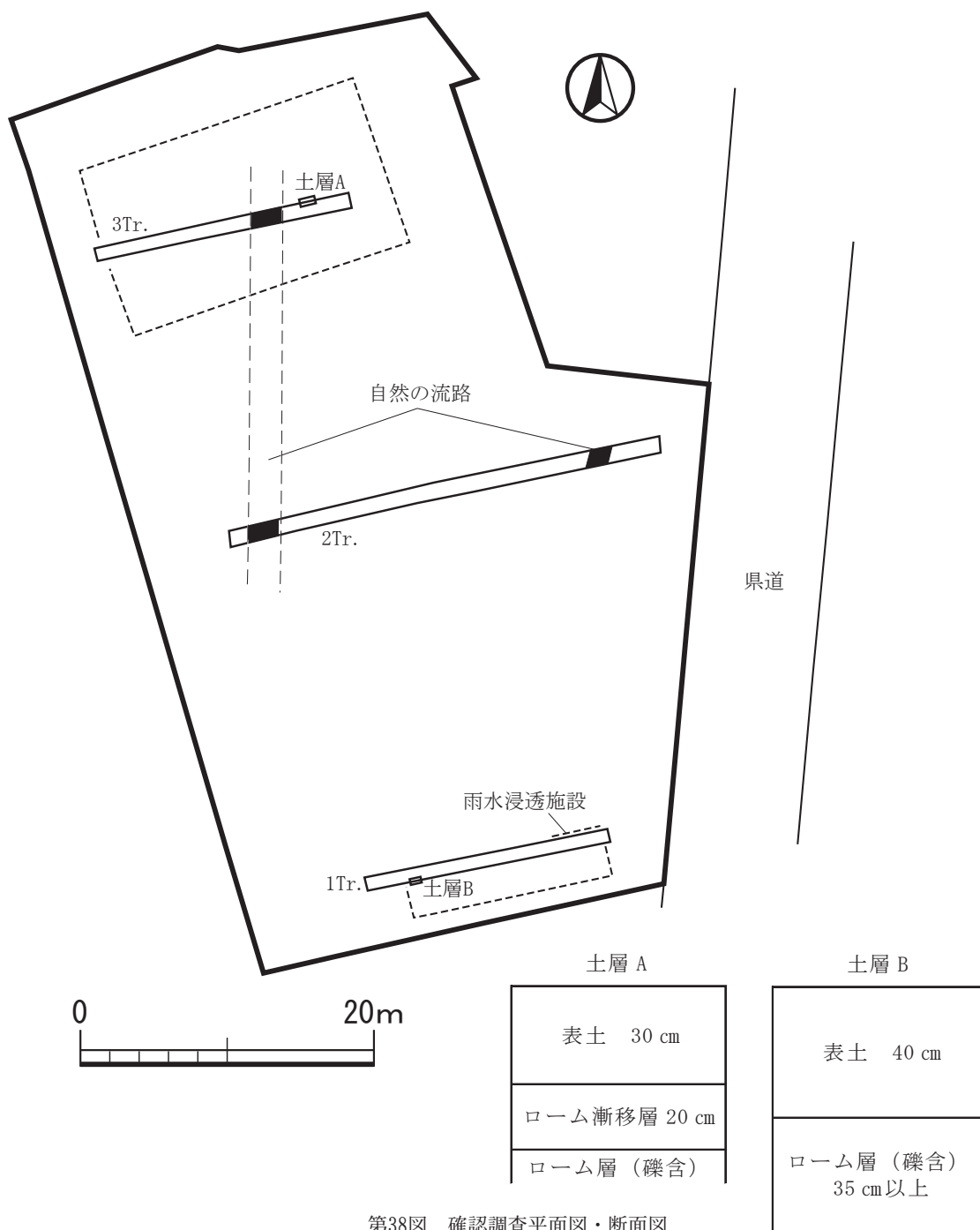
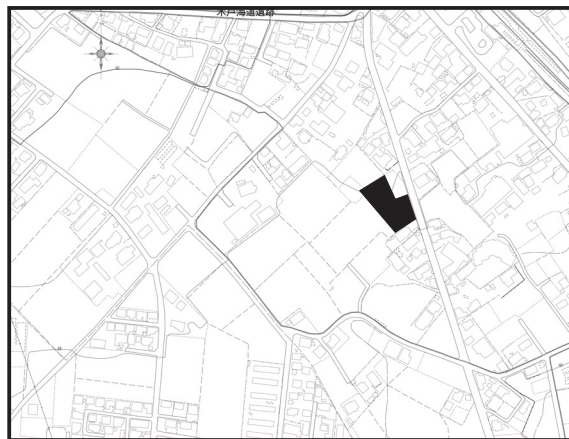
- ① 所在地 太田市西野谷町129-6 付近
- ② 調査原因 道路の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑6基、ピット3基が確認され、奈良時代から平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、平成28年度に本調査を実施した。



第37図 確認調査平面図・断面図

34 三島遺跡 (H27No.697)

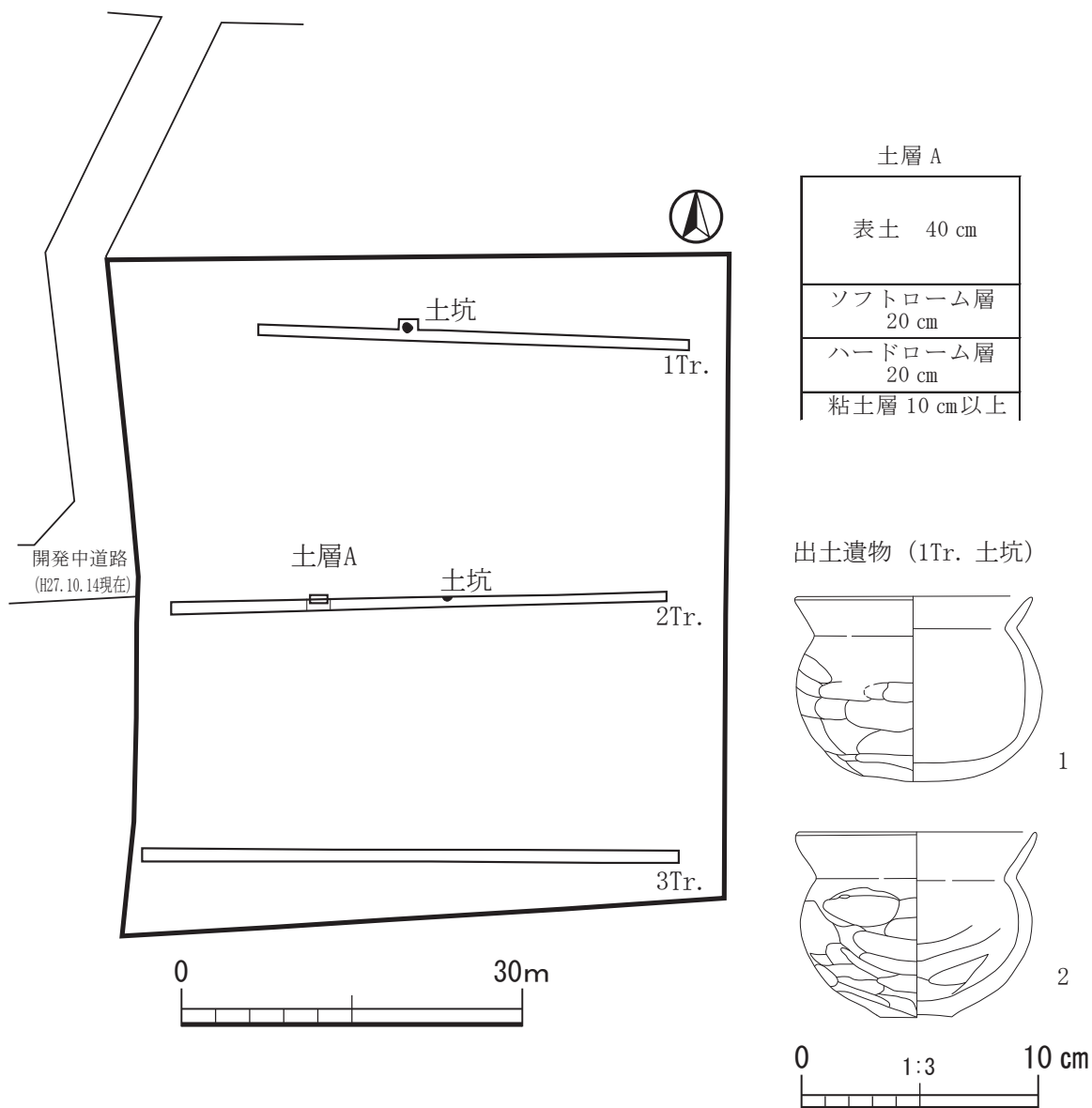
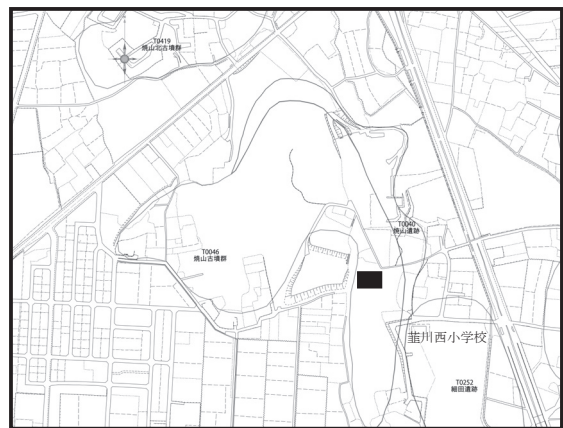
- ① 所在地 太田市藪塚町1438他
- ② 調査原因 貸車庫、駐車場の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第38図 確認調査平面図・断面図

35 焼山古墳群 (H27No.427)

- ① 所在地 太田市東長岡町1385-1 他
- ② 調査原因 駐車場の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑2基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構密度が非常に低いため、本調査の必要はないと判断される。

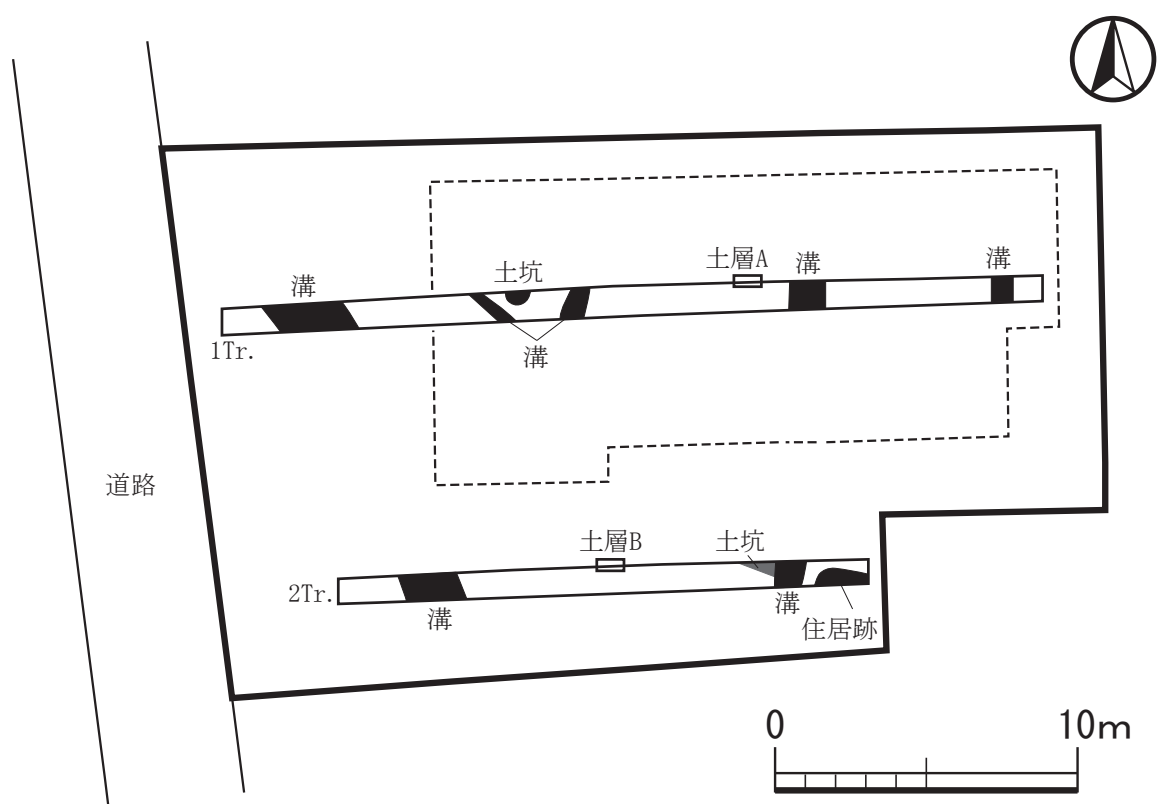
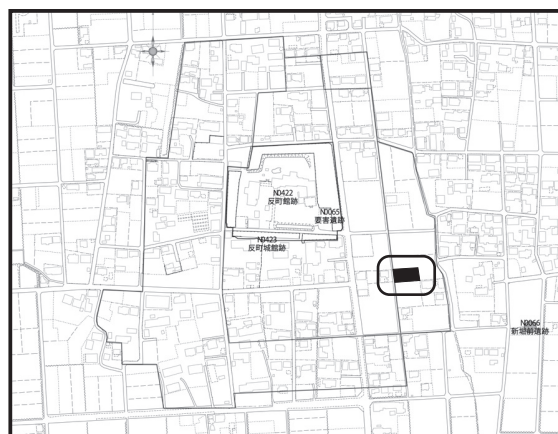


第39図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・小甕	1/2	(10.1)・—・7.9	普通	普通	淡橙色	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラ削り。
2	土師器・小甕	胴部 4/5 口縁 1/4	(10.4)・3.0・7.9	やや細	普通	明橙色	胴部外面は、細かいヘラ削り。内面は、指頭によるナデ。

36 要害遺跡 (H27No.113)

- ① 所在地 太田市新田反町町488-2
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡1軒、溝5条、土坑2基が確認されたが、遺物は出土されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

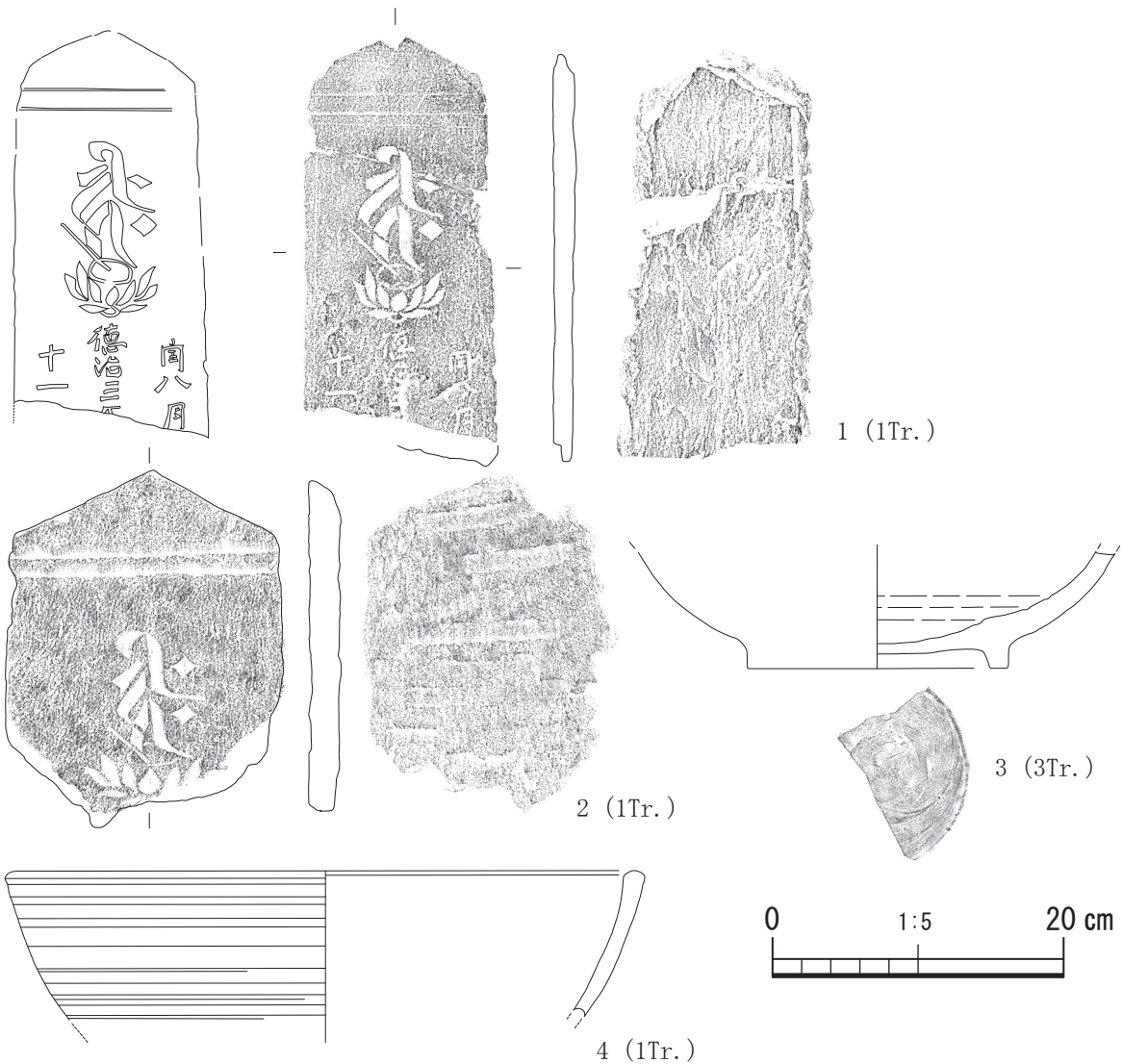
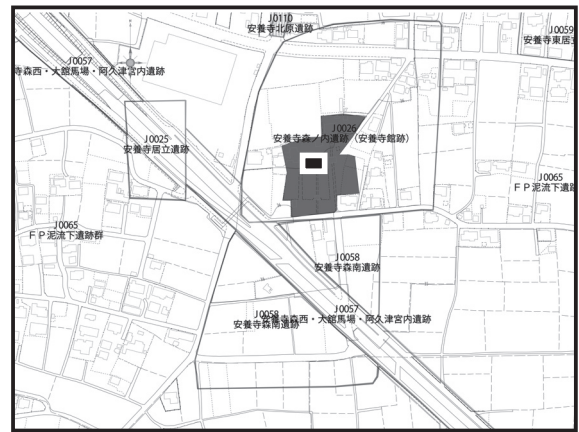


土層 A		土層 B	
碎石	15cm	耕作土	20cm
耕作土	25cm	黒褐色土	20cm
明茶褐色土	20cm	ローム層	10cm以上
ローム層	5cm以上		

第40図 確認調査平面図・断面図

37 安養寺森ノ内遺跡 (H27No.936)

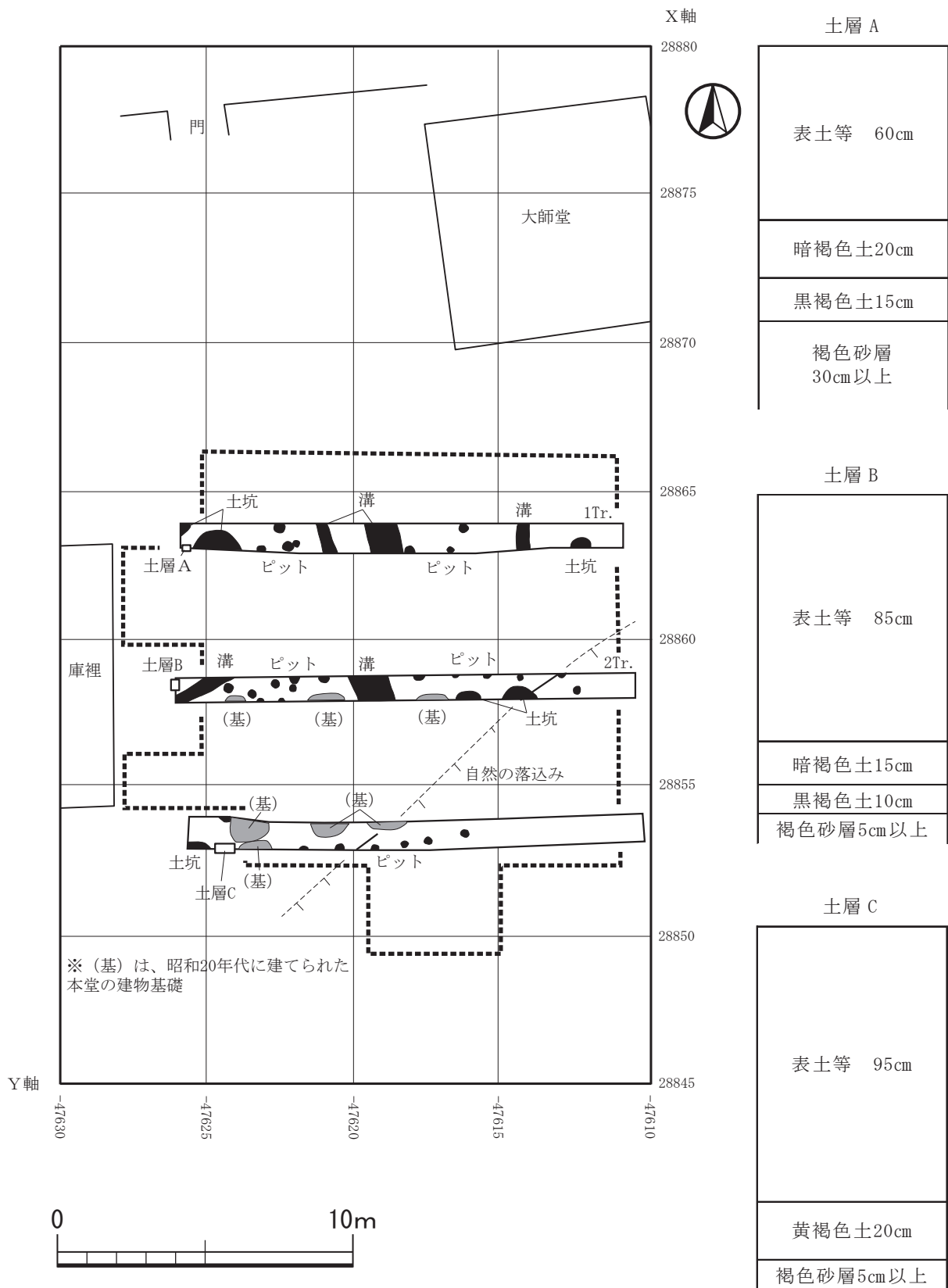
- ② 所在地 太田市安養寺200-1
- ② 調査原因 明王院本堂の建替え
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、地表から約100cm下の褐色砂層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝5条、土坑7基、ピット27基が確認され、中世の板碑、瓦片等が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第41図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	板碑	3/4	- . - . -	緑泥片岩。残存長23cm。		種子はキリク(阿弥陀如来) 年号は「徳治三年閏八月十一・・・」	
2	板碑	1/3	- . - . -	緑泥片岩。残存長27cm。		種子はキリク(阿弥陀如来)	
3	陶器・盤	底部破片	- . (18.0) . -	緻密	堅い	外 暗茶褐色 内 淡原色	内外面、ロクロ回転ヘラナデ。
4	軟質陶器・鉢	口縁破片	(44.0) . - . -	やや細	やや軟	黒色	外面、ロクロ右回転でヨコナデ整形。内面、暗銀色の光沢あり、使用による器面磨耗あり。

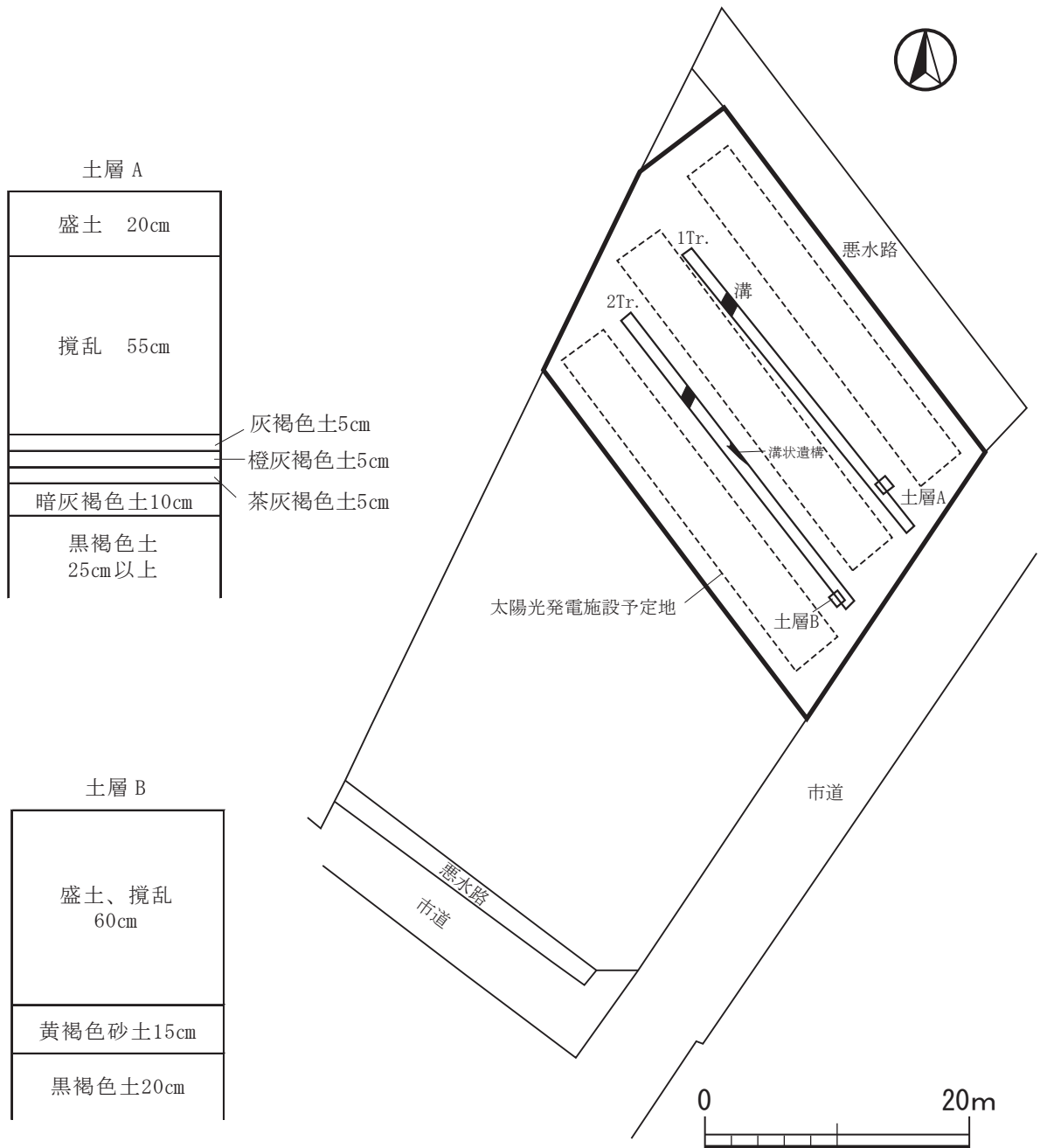
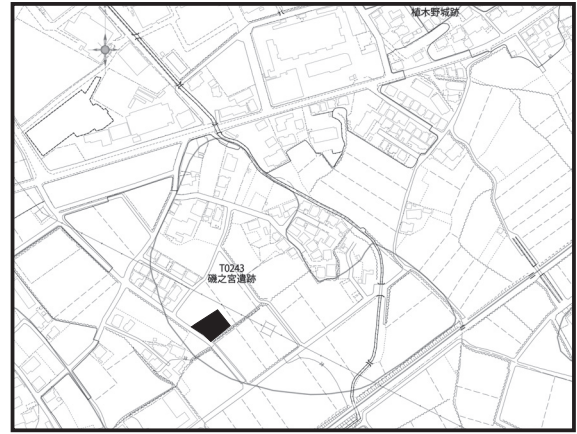




第42図 確認調査平面図・断面図

38 磯之宮遺跡 (H27No.716)

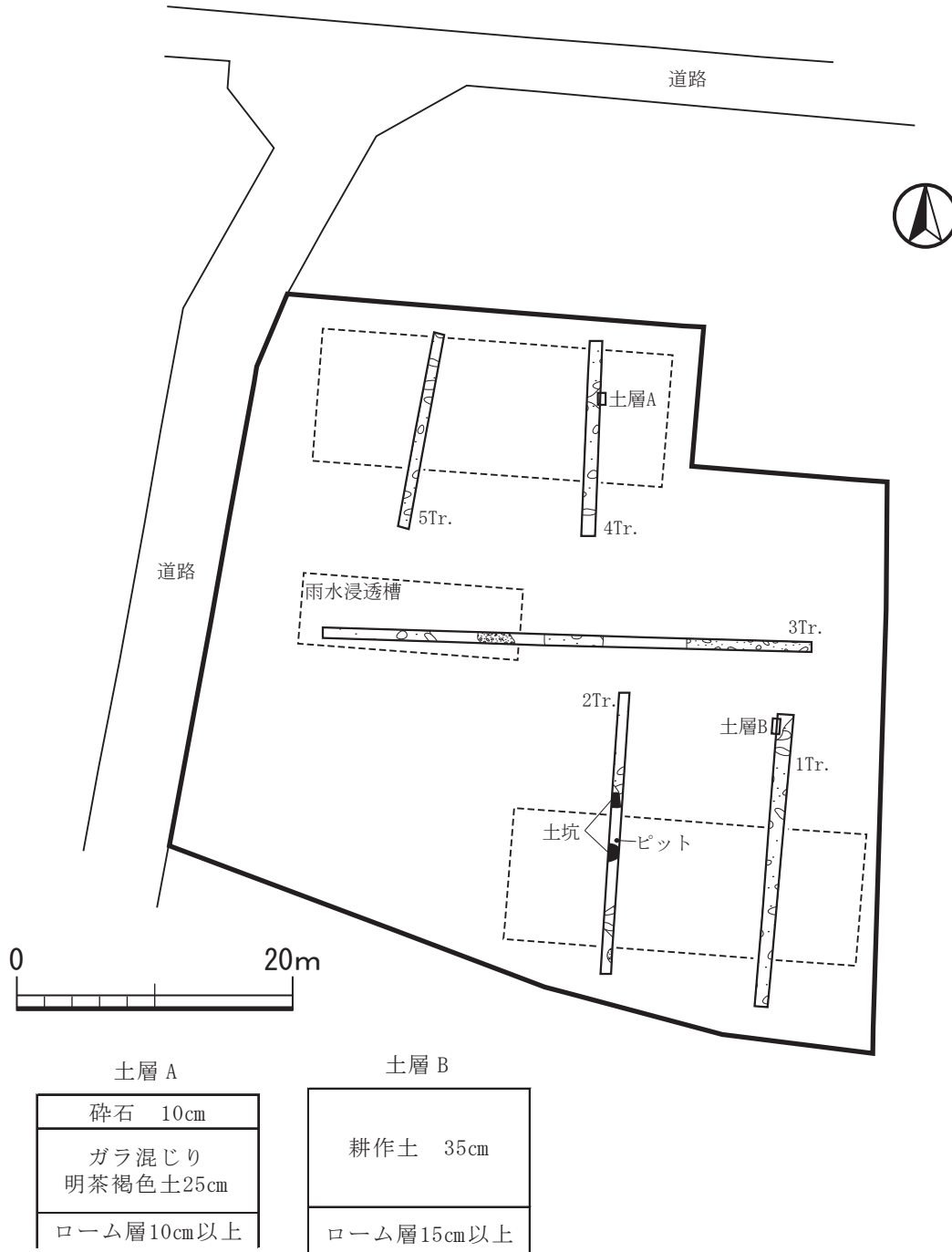
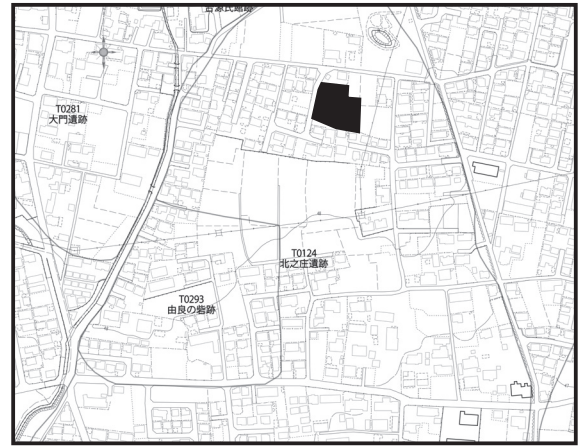
- ① 所在地 太田市上小林町15-1
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、地表から80~100cm下の黒褐色土まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条が確認され、古墳時代の土器片等が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第43図 確認調査平面図・断面図

39 北之庄遺跡 (H27No.1014)

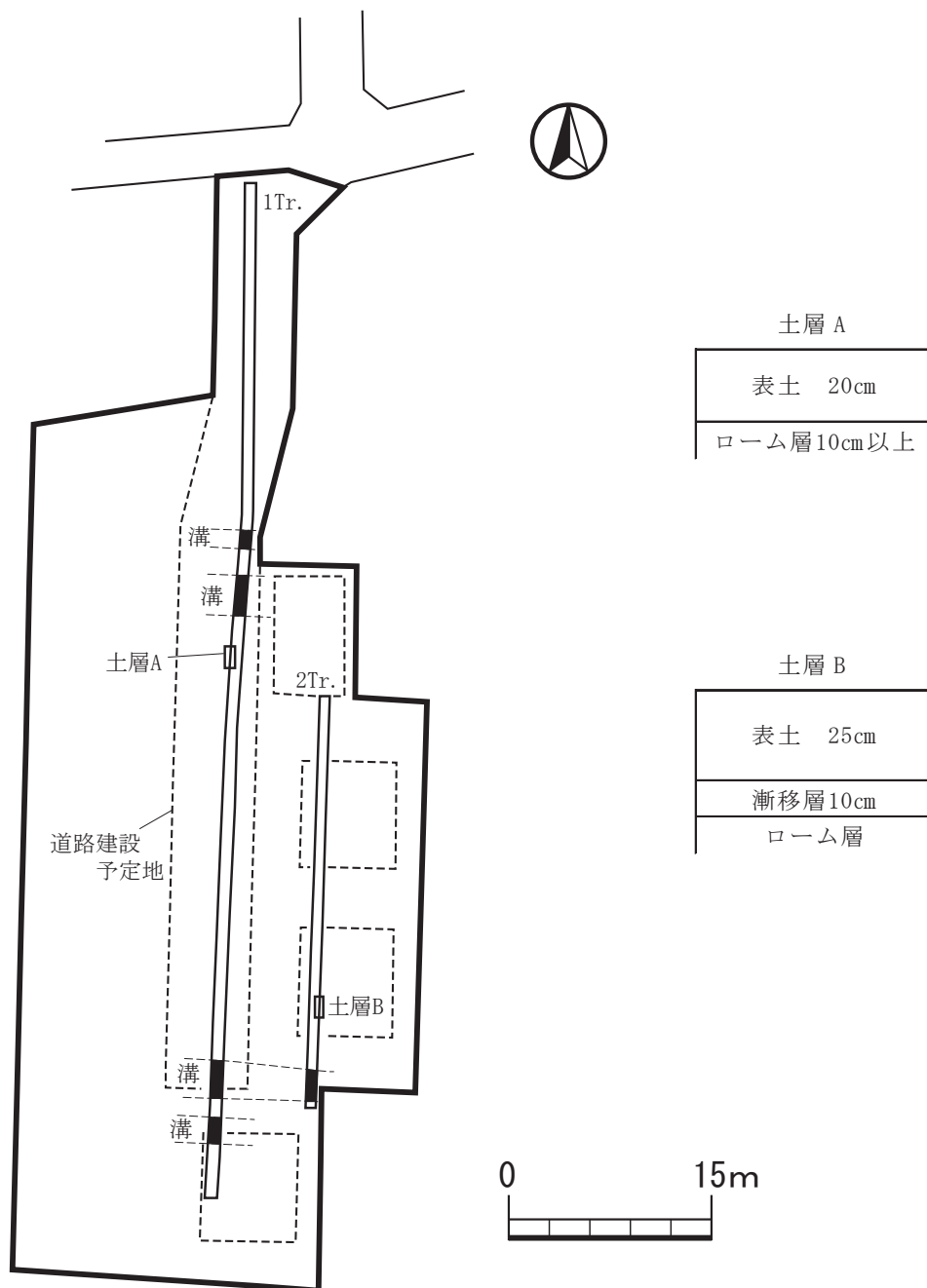
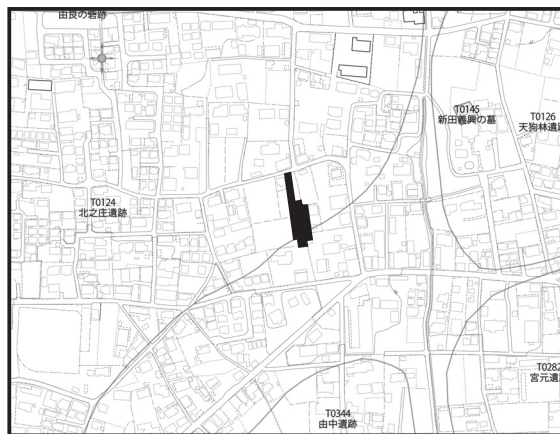
- ① 所在地 太田市由良町1586-1
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に5本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑2基、ピット1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 ほとんどが攪乱の影響を受けているため、本調査の必要はないと判断される。



第44図 確認調査平面図・断面図

40 北之庄遺跡 (H27No.766)

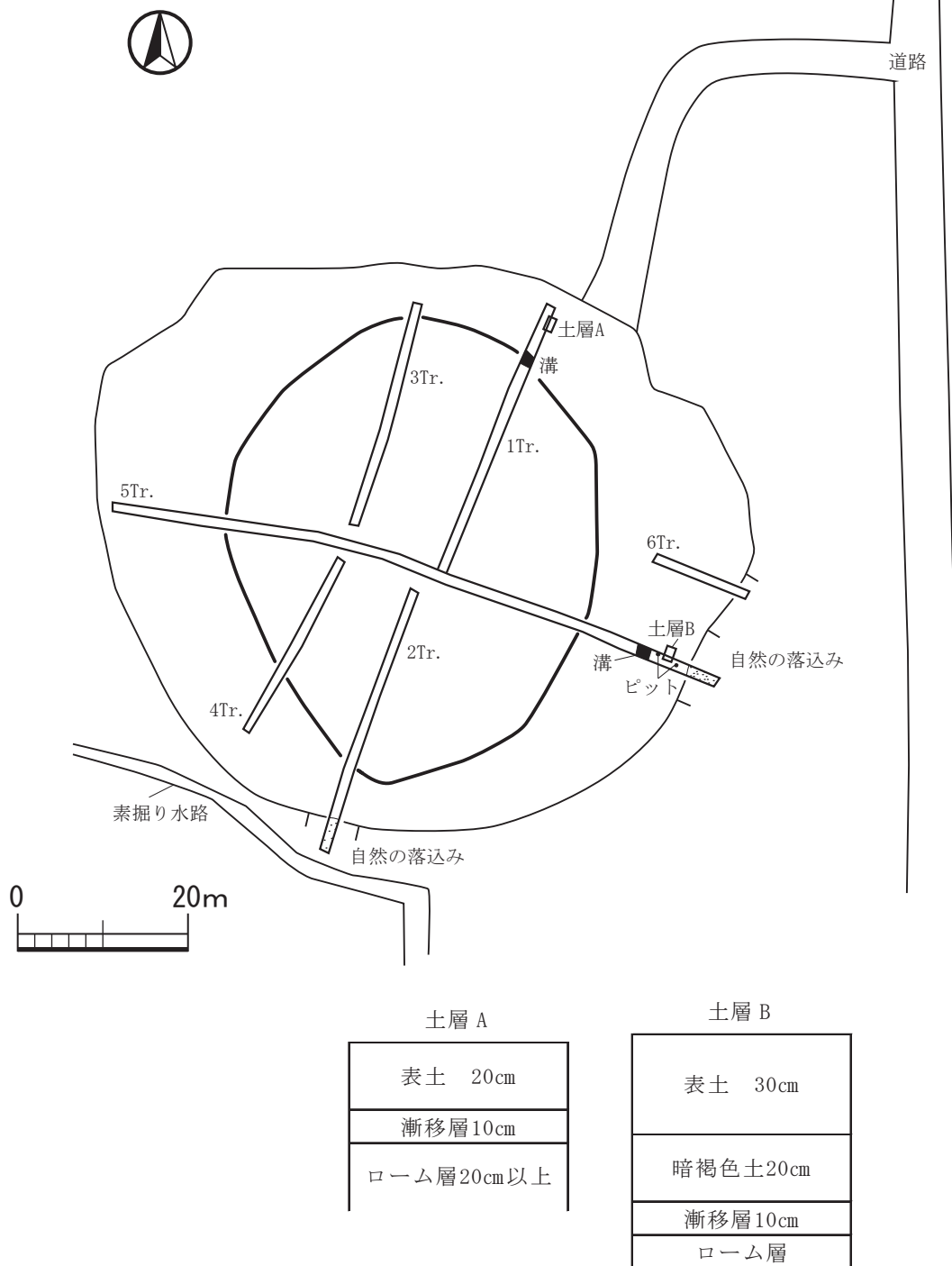
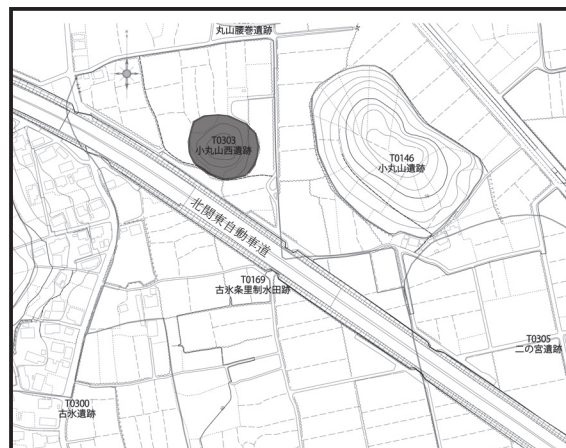
- ① 所在地 太田市由良町1690-1、2
- ② 調査原因 貸家住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝4条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の溝と推定されるため、本調査の必要はないと判断される。



第45図 確認調査平面図・断面図

41 小丸山西遺跡 (H27No.907)

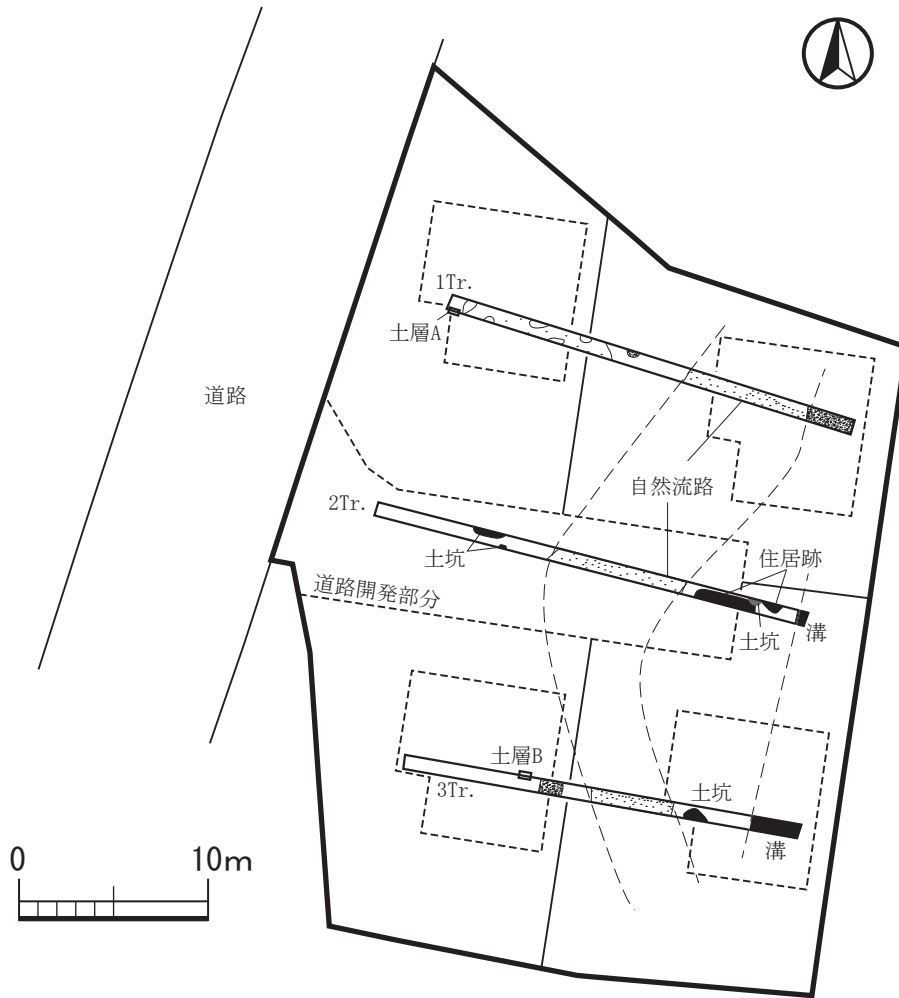
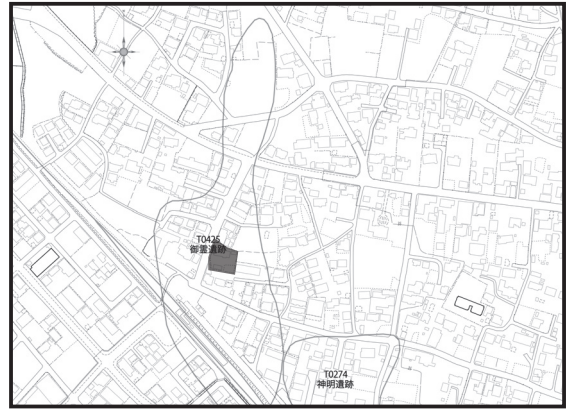
- ① 所在地 太田市緑町441他
- ② 調査原因 農業基盤整備事業
- ③ 調査方法 開発予定地に6本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、ピット2基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構がほとんど確認されなかったため、本調査の必要はないと判断される。



第46図 確認調査平面図・断面図

42 御霊遺跡 (H27No.800)

- ① 所在地 太田市竜舞町2054-1 他
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、溝1条、土坑4基が確認され、縄文時代から中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

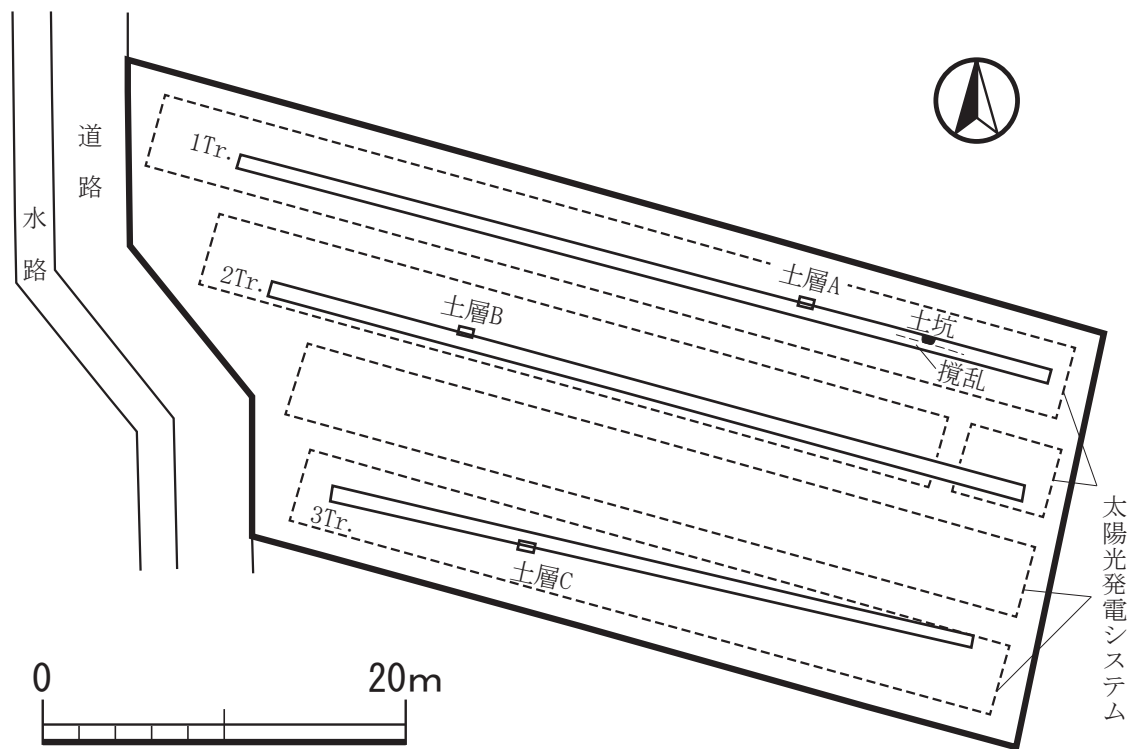
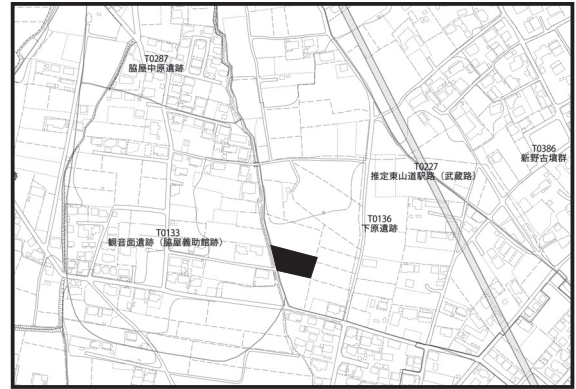


土層 A	土層 B
客土 30cm	客土 10cm
旧表土 20cm	旧表土10cm
ローム層5cm以上	ローム層15cm以上

第47図 確認調査平面図・断面図

43 下原遺跡 (H27No.918)

- ① 所在地 太田市脇屋町121-9
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

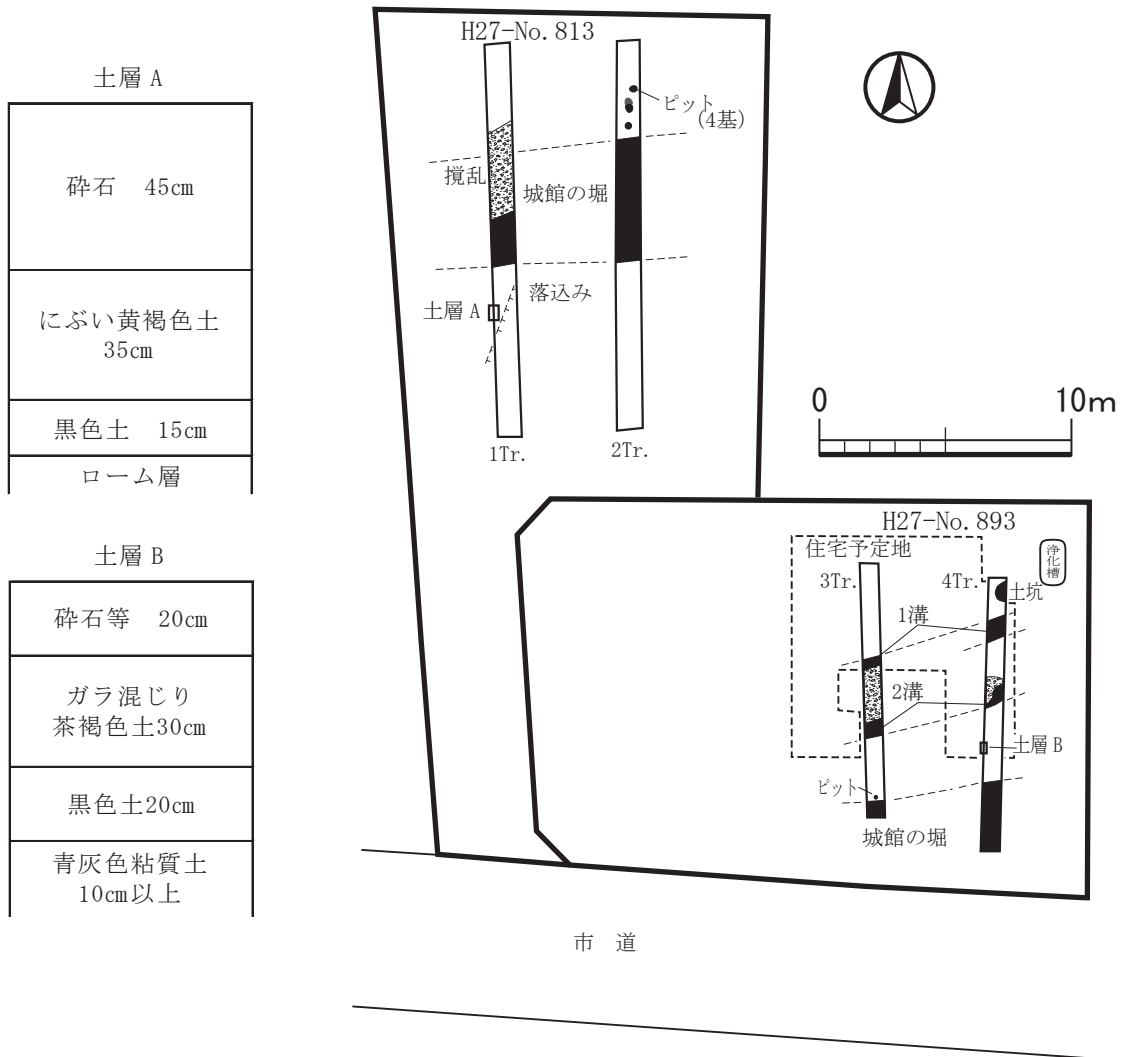
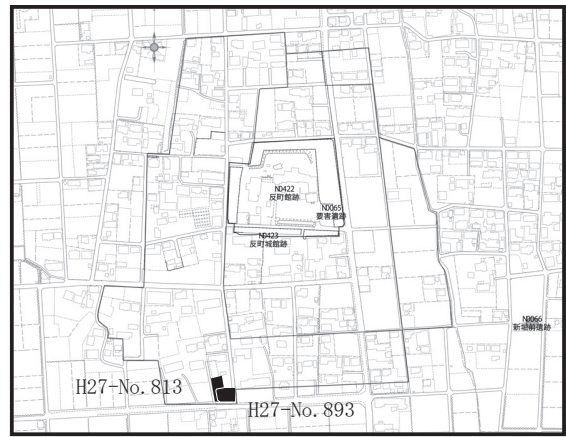


土層 A	土層 B	土層 C
耕作土15cm	耕作土20cm	耕作土25cm
茶褐色土25cm	茶褐色土20cm	茶褐色土15cm
ローム層5cm以上	ローム層5cm以上	ローム層10cm以上

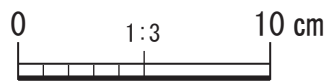
第48図 確認調査平面図・断面図

44・45 反町城館跡

- ① 所在地 44 (H28- No.813)太田市新田反町町592-4  
45 (H28- No.893)太田市新田反町町592-5
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 2回の調査で合計4本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ③ 調査結果 堀2条、溝2条、土坑1基、ピット5基が確認され、中世から近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



出土遺物 (4Tr. 2溝)



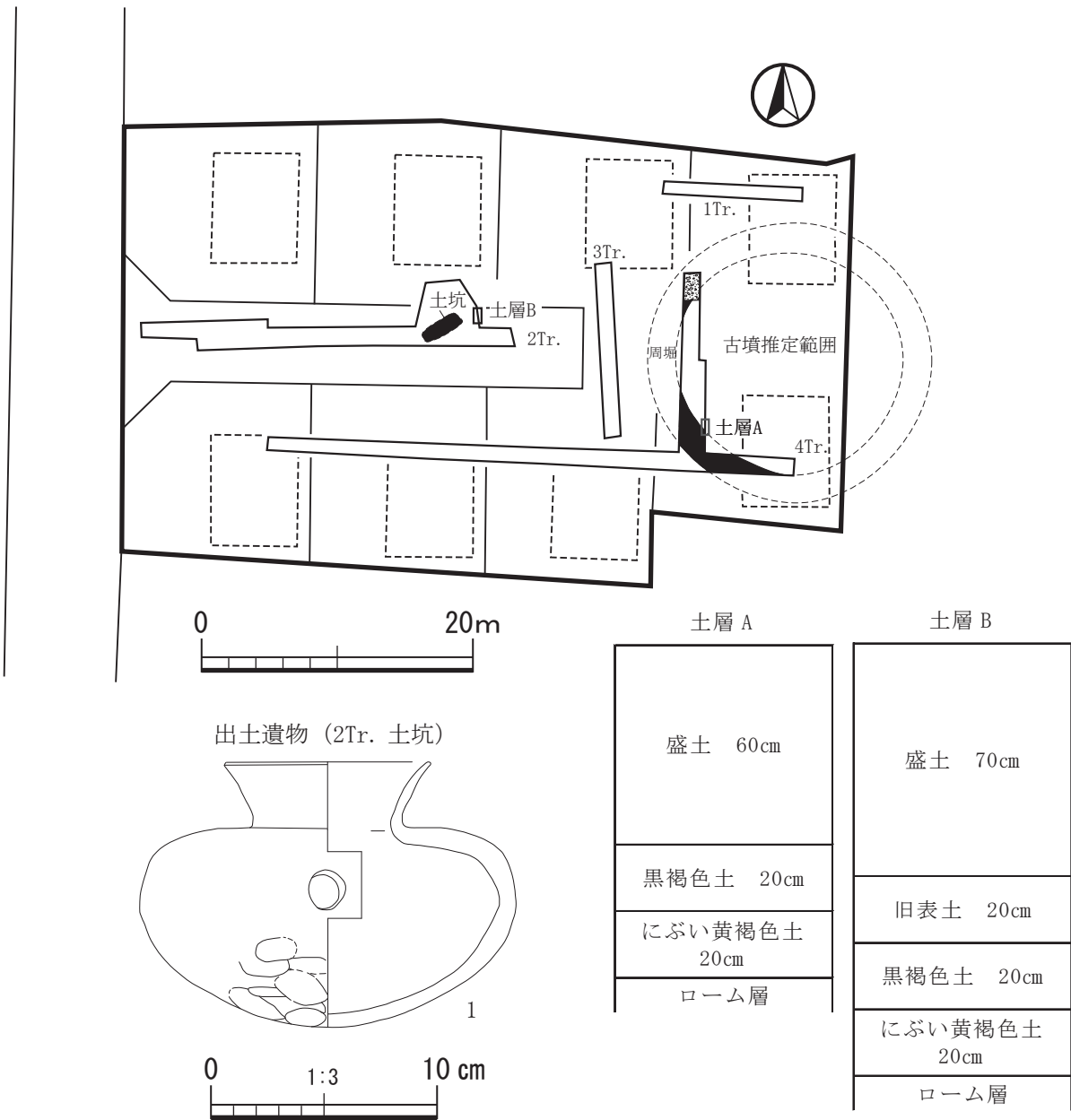
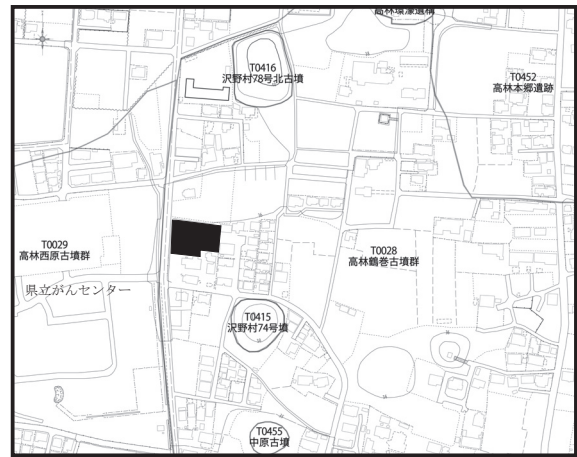
第49図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	カワラケ	破片	- . - . (5.2)	やや細	やや良	橙色	底部、回転糸切り。外面に「宴」か「安」の墨書



46 高林鶴巻古墳群 (H27No.969)

- ① 所在地 太田市高林南町601-6 他
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 古墳の周堀1箇所、土坑1基が確認され、古墳時代の土器片、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 古墳の周堀は現状保存されるため、本調査の必要はないと判断される。

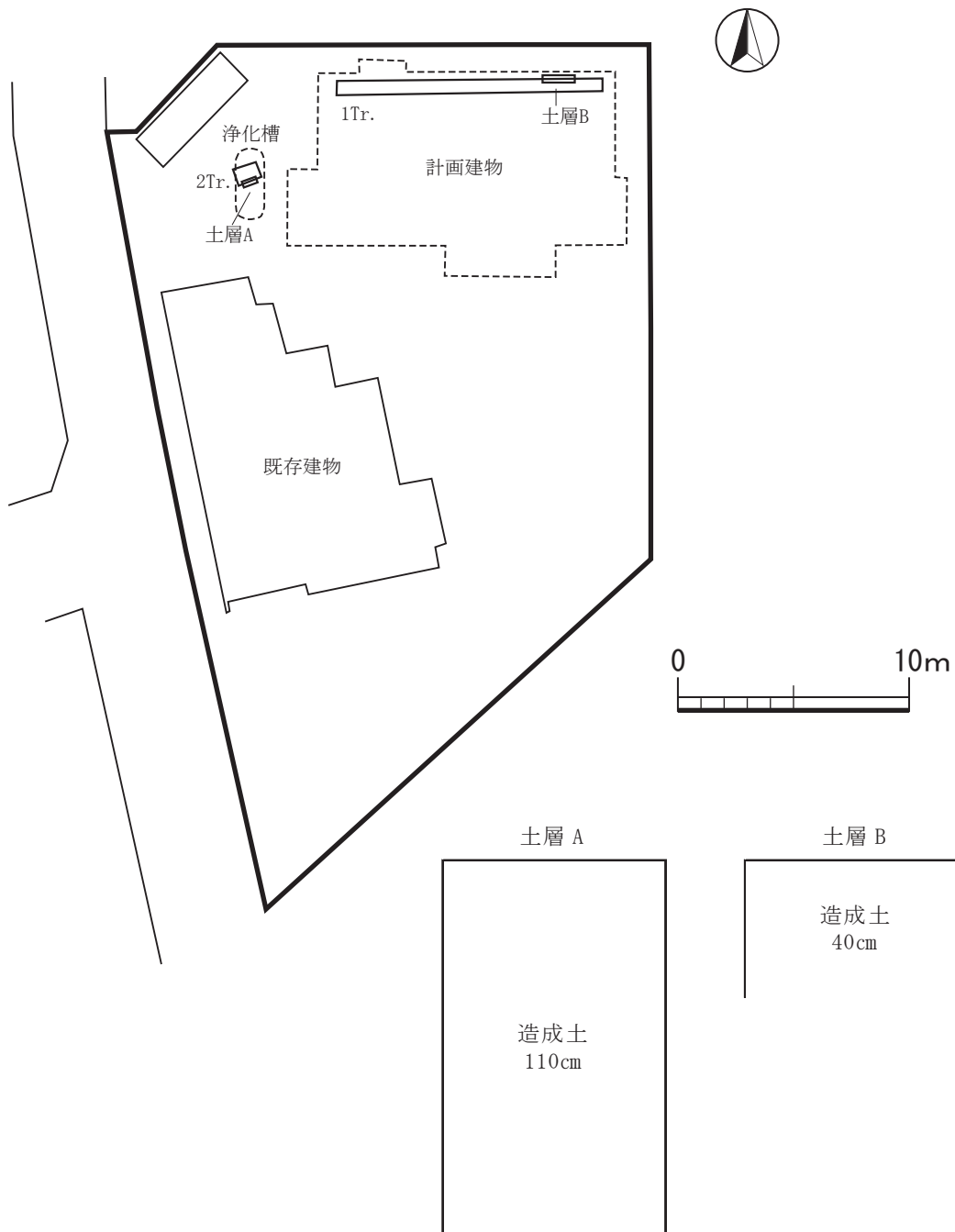
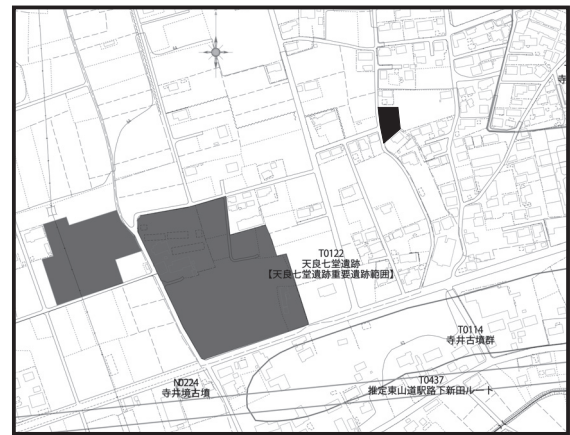


第50図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	土師器・甕形小壺	1/2	(9.4) ・ - ・ 11.9	緻密	良好	くすんだ明橙	胴部外面、ヘラ磨き状のナデ。孔は 焼成前の穿孔。

47 天良七堂遺跡 (H27No.935)

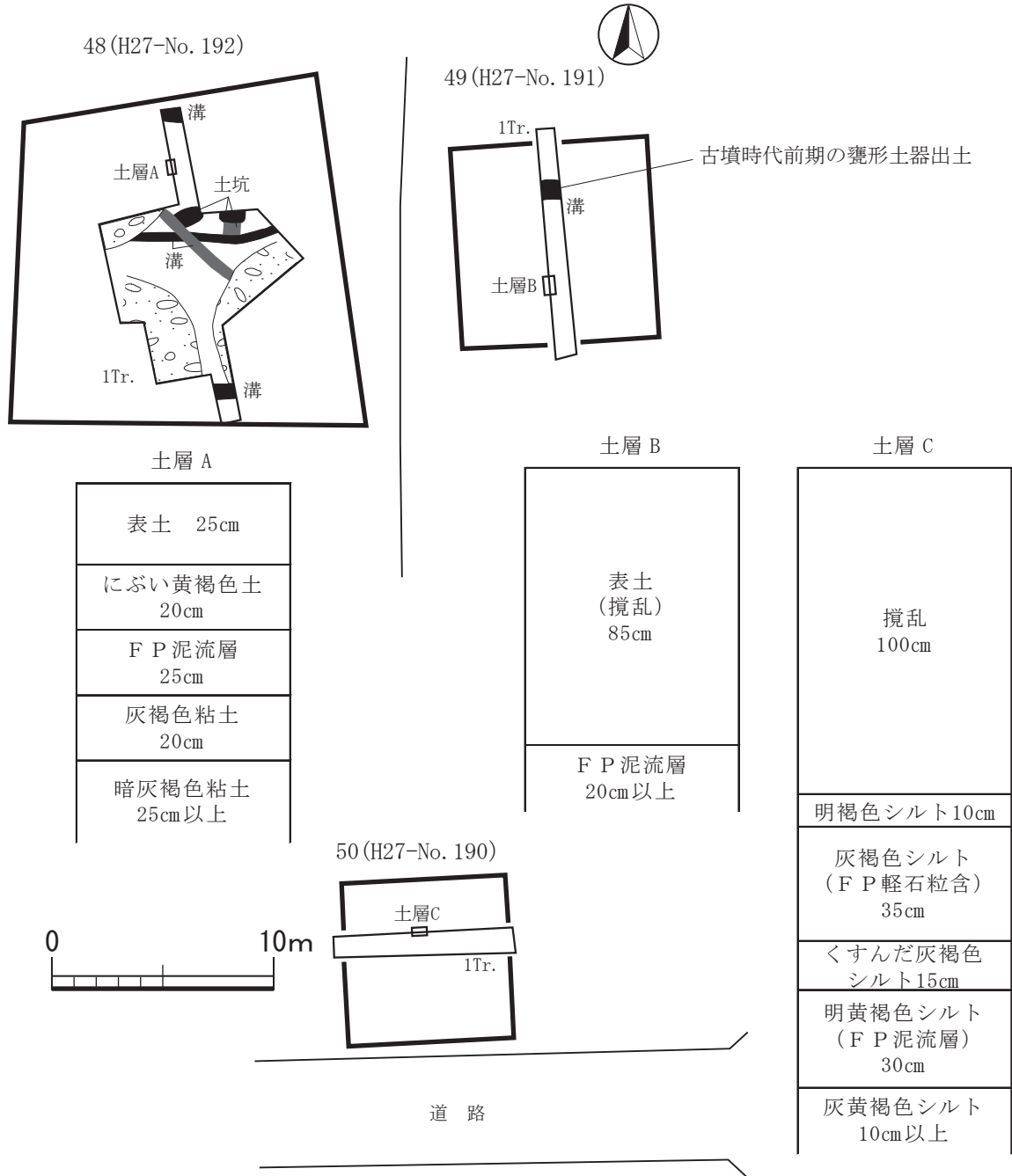
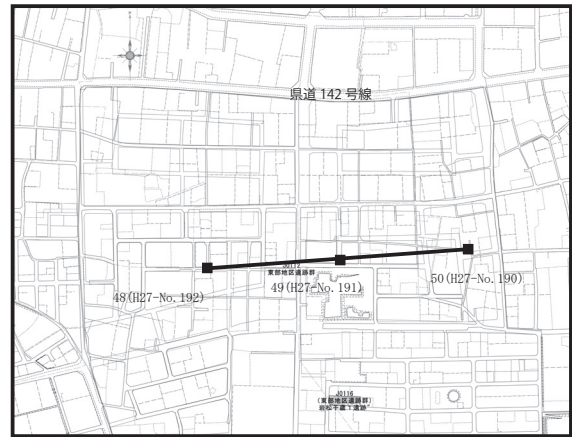
- ① 所在地 太田市寺井町901-1
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、地表から40~110cm掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第51図 確認調査平面図・断面図

48・49・50 東部地区遺跡群

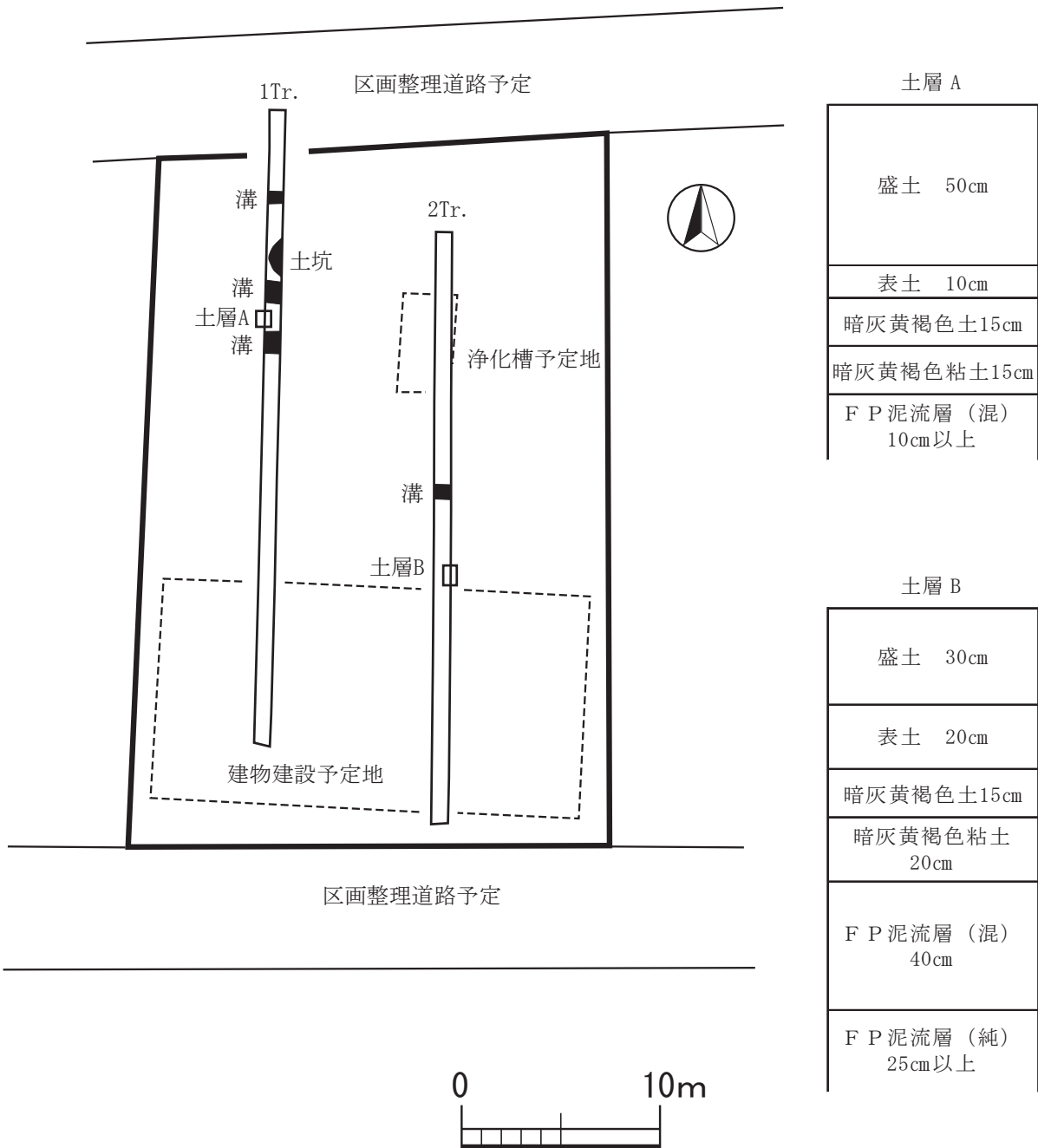
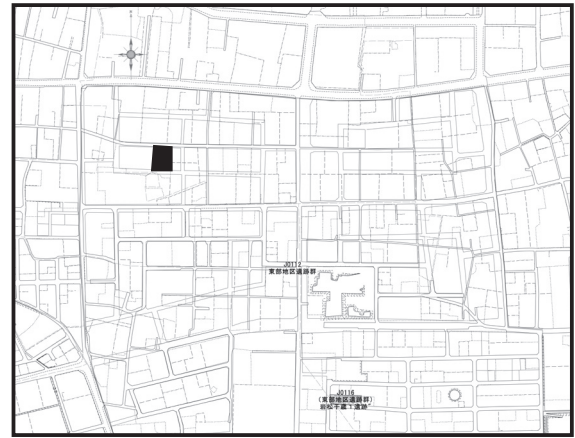
- ① 所在地 48 (H27-No.192) 太田市堀口町233-2  
49 (H27-No.191) 太田市堀口町152-3  
50 (H27-No.190) 太田市岩松町120-2
- ② 調査原因 鉄塔の建設
- ③ 調査方法 3回の調査で合計3本のトレンチを設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝5条、土坑3基が確認され、古墳時代から平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の溝・土坑と推定されるため、本調査の必要はないと判断される。



第52図 確認調査平面図・断面図

51 東部地区遺跡群 (H27No.375)

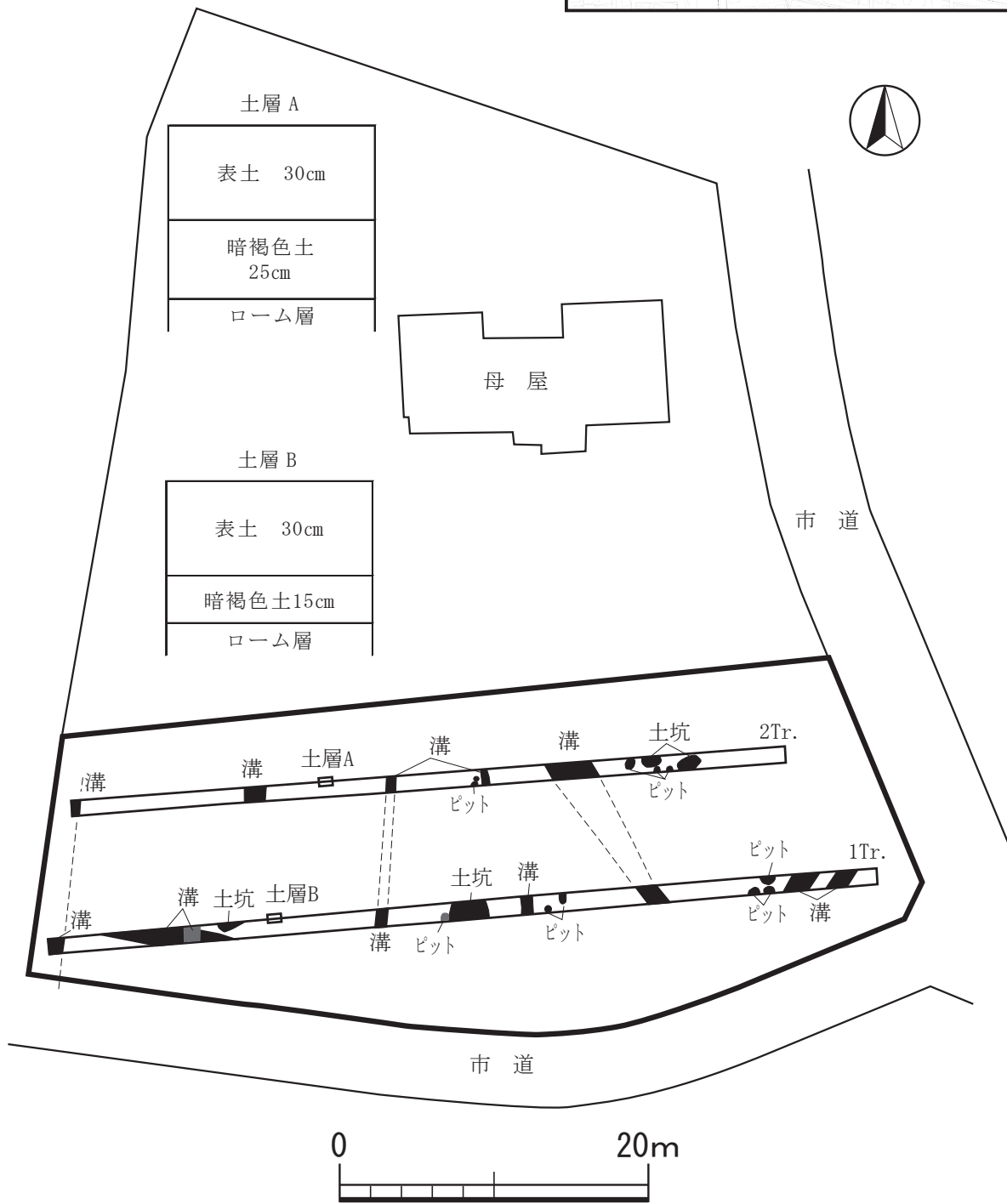
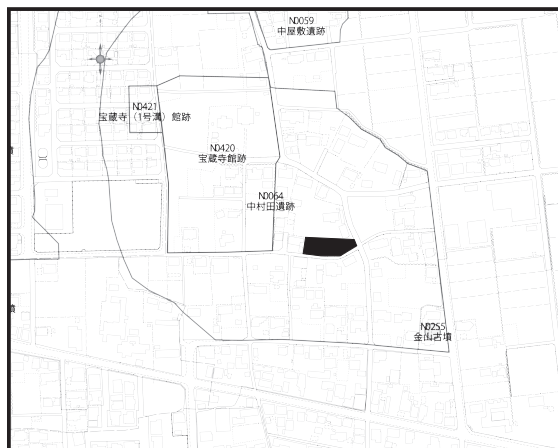
- ① 所在地 太田市阿久津町166-1の一部
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝4条、土坑1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響を及ぼさないため、本調査の必要はないと判断される。



第53図 確認調査平面図・断面図

52 中村田遺跡 (H27No.933)

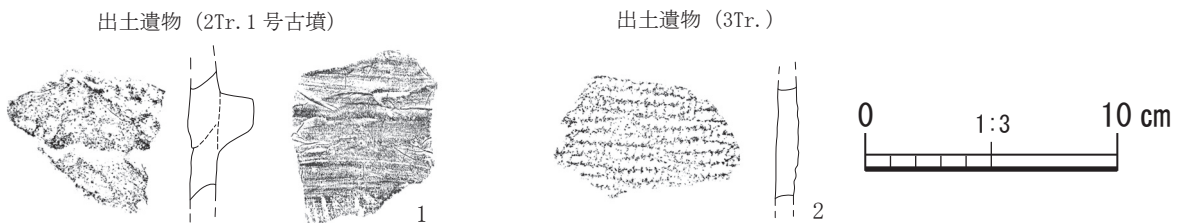
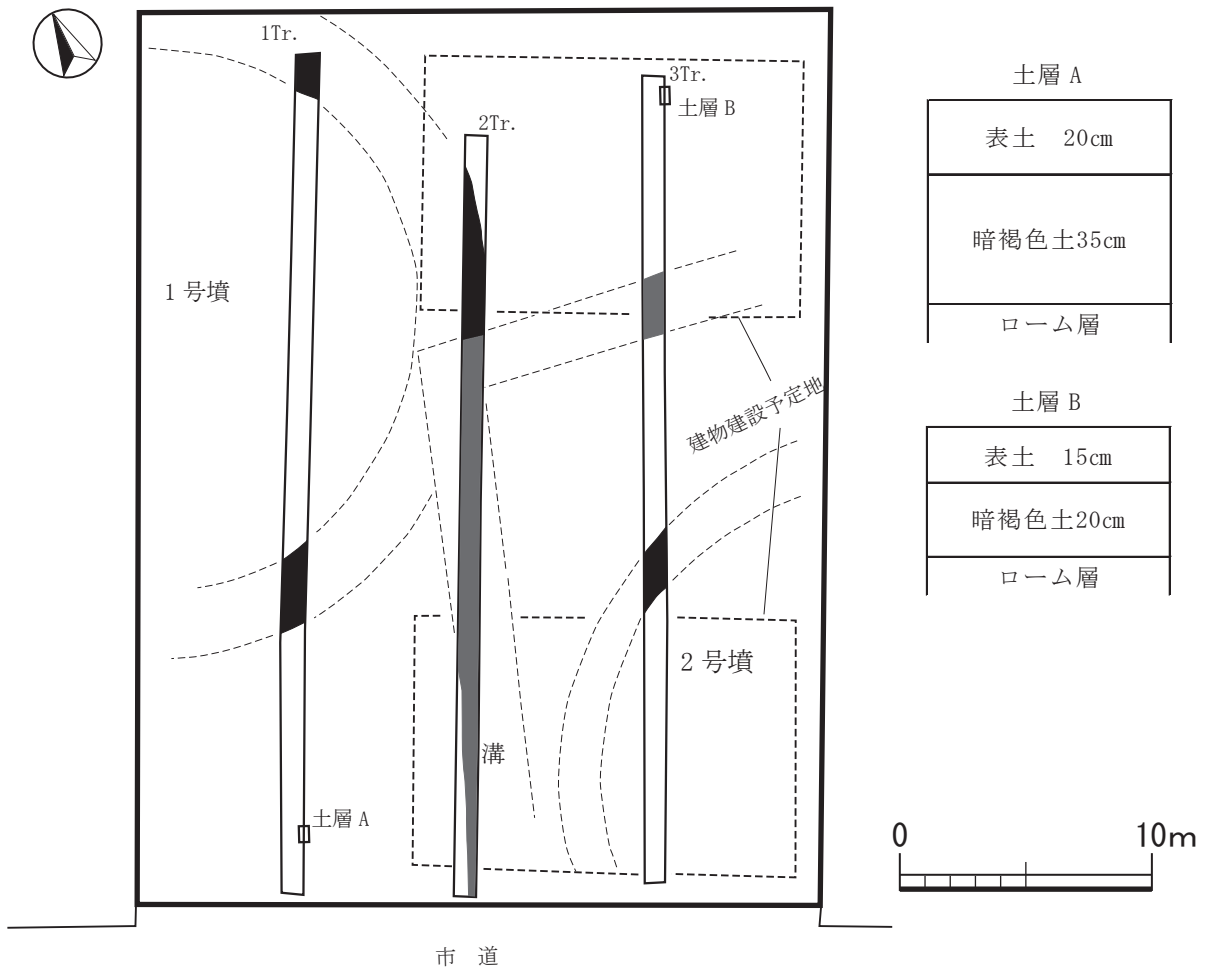
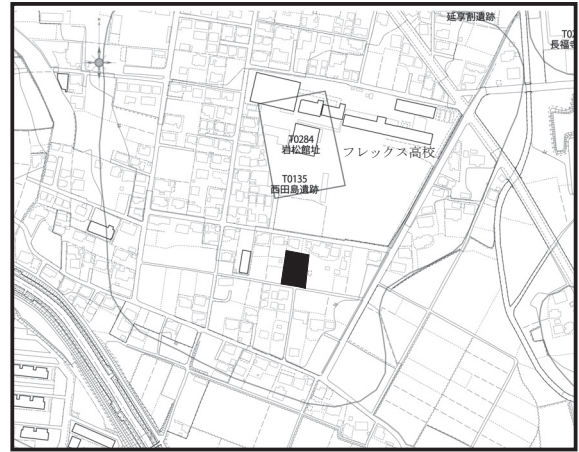
- ① 所在地 太田市新田村田町587-1 他
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝10条、土坑4基、ピット11基が確認され、近世以降の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第54図 確認調査平面図・断面図

53 西田島遺跡 (H27No.734)

- ① 所在地 太田市下田島町1243-19
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に3本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 2基の古墳の周堀、溝1条が確認され、埴輪片、縄文時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

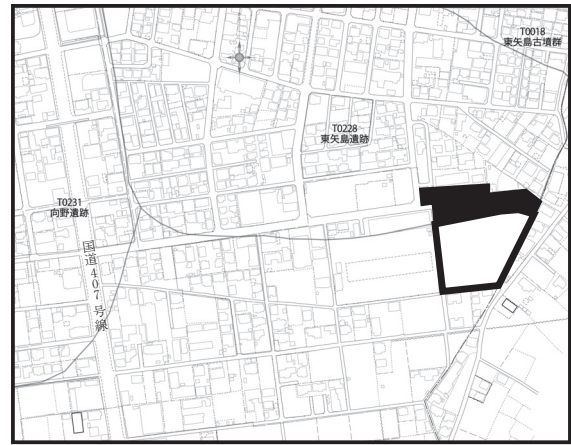


第55図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

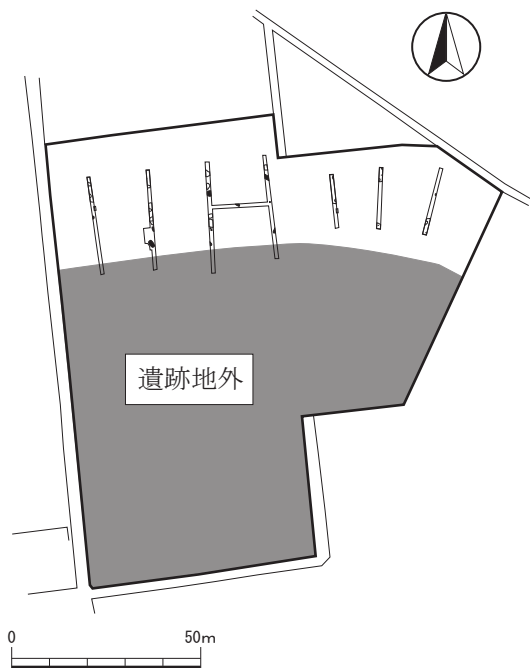
番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	埴輪	破片	- . - . -	やや粗	普通	淡橙色	外面、縦方向ハケナダ。
2	縄文土器	破片	- . - . -	やや粗	軟	淡橙褐色	

54 東矢島遺跡 (H27No.148)

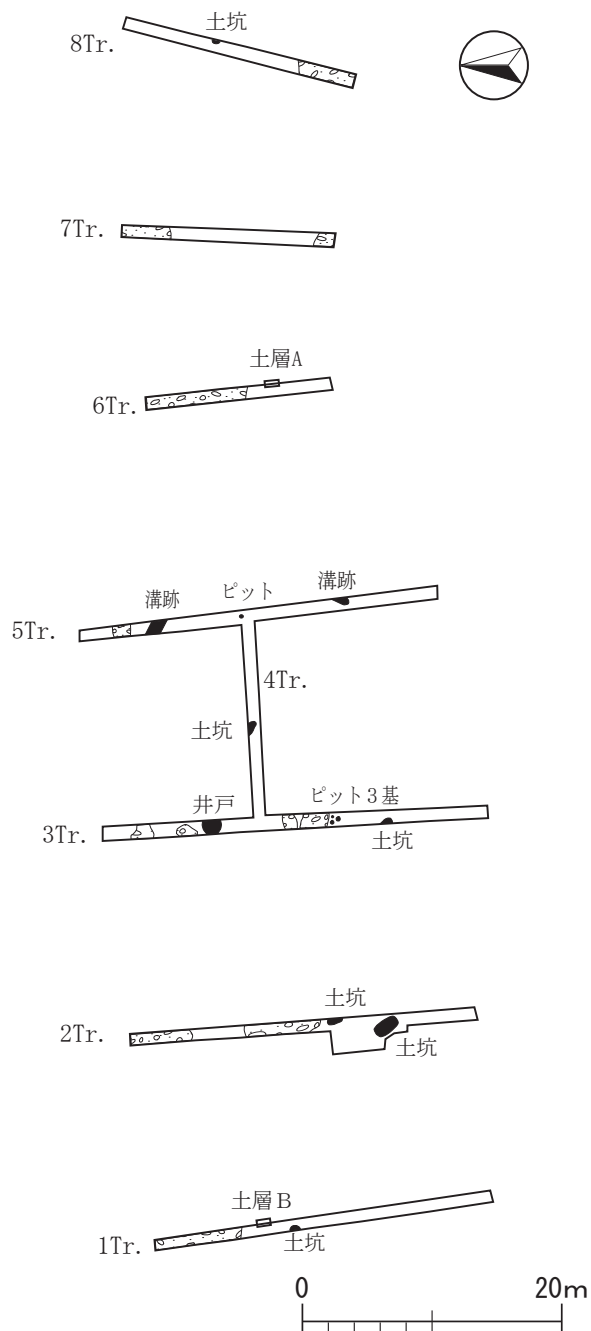
- ① 所在地 太田市古戸町1244-23他
- ② 調査原因 倉庫建築
- ③ 調査方法 開発予定地に8本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑6基、井戸1基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



開発地全体図



トレンチ拡大図

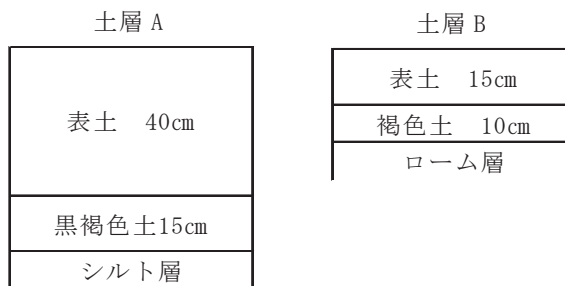
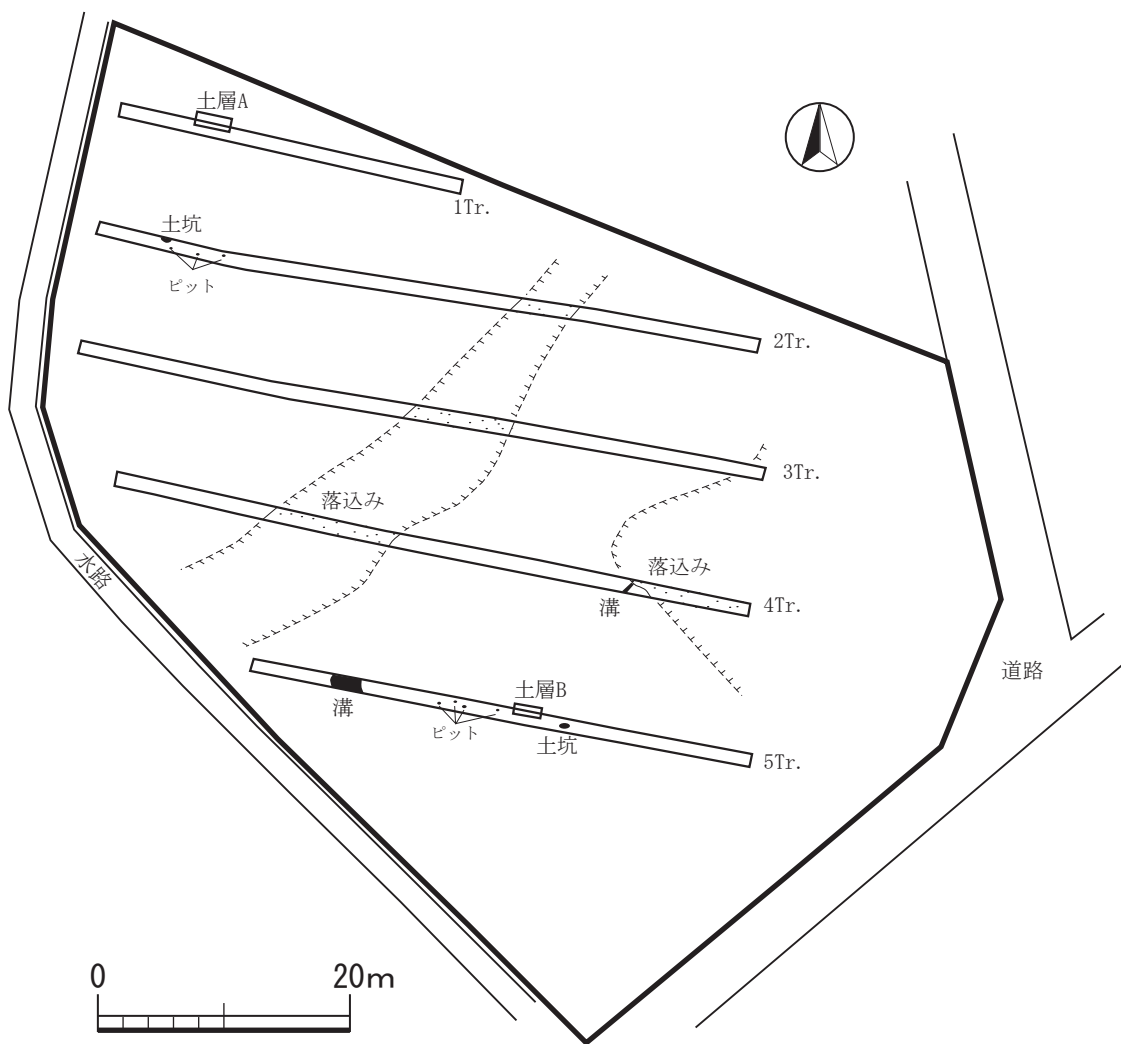
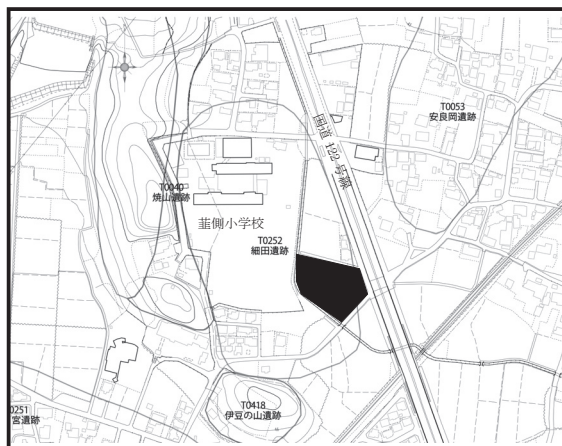


土層 A	土層 B
耕作土60cm	砕石等 45cm
暗茶褐色土10cm	黒褐色土20cm
茶褐色土25cm	茶褐色砂質土 25cm
粘性ローム5cm以上	暗灰褐色土25cm
	粘性ローム5cm以上

第56図 確認調査平面図・断面図

55 細田遺跡 (H27No.773)

- ① 所在地 太田市安良岡町259-1
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地に5本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑2基、ピット7基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

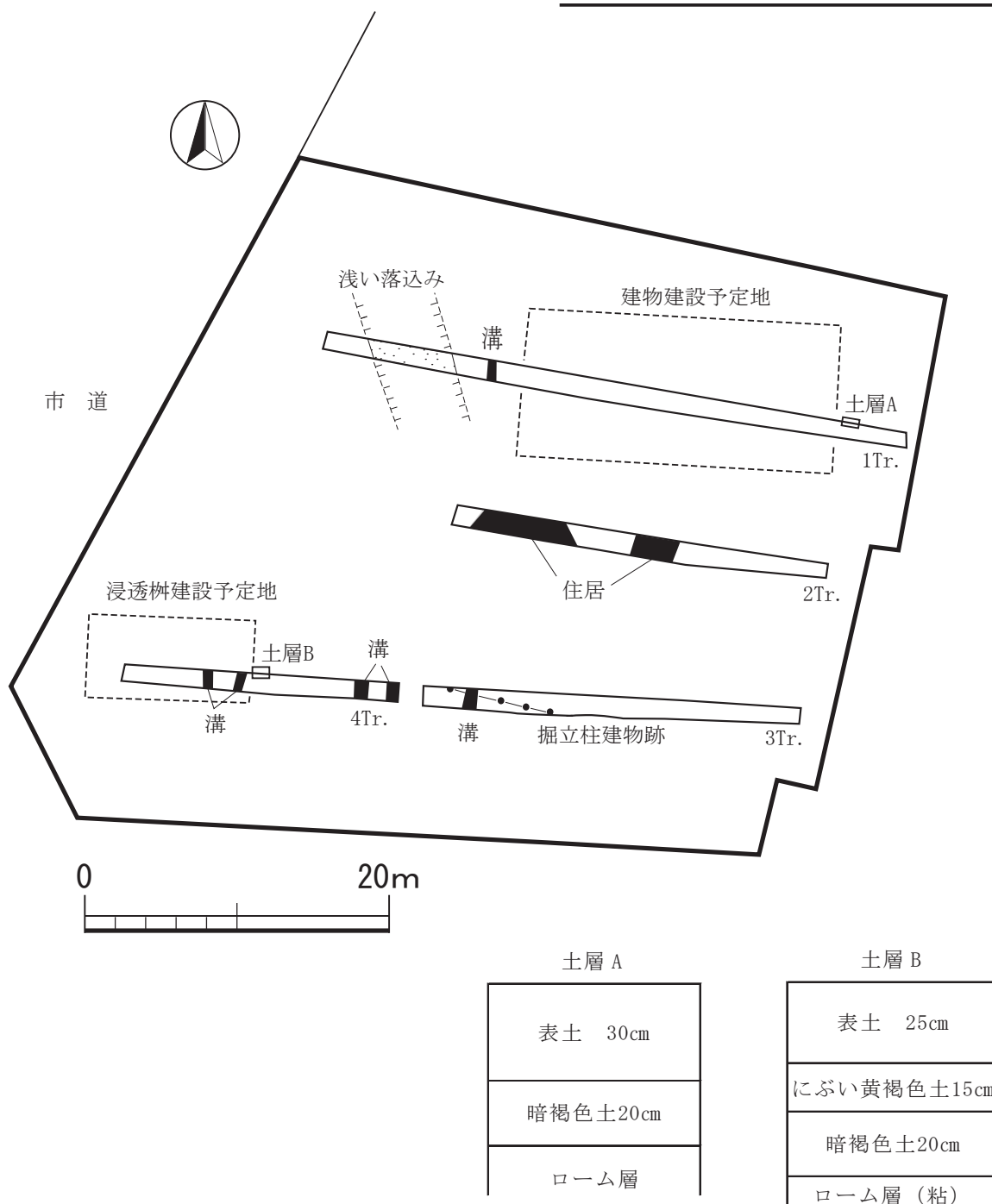
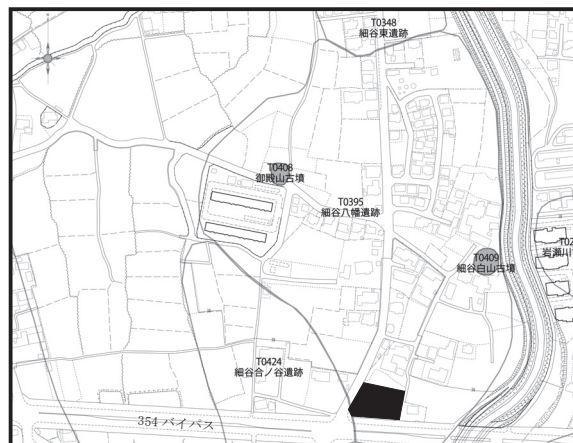


第57図 確認調査平面図・断面図



56 細谷八幡遺跡、細谷合ノ谷遺跡(H27No.801)

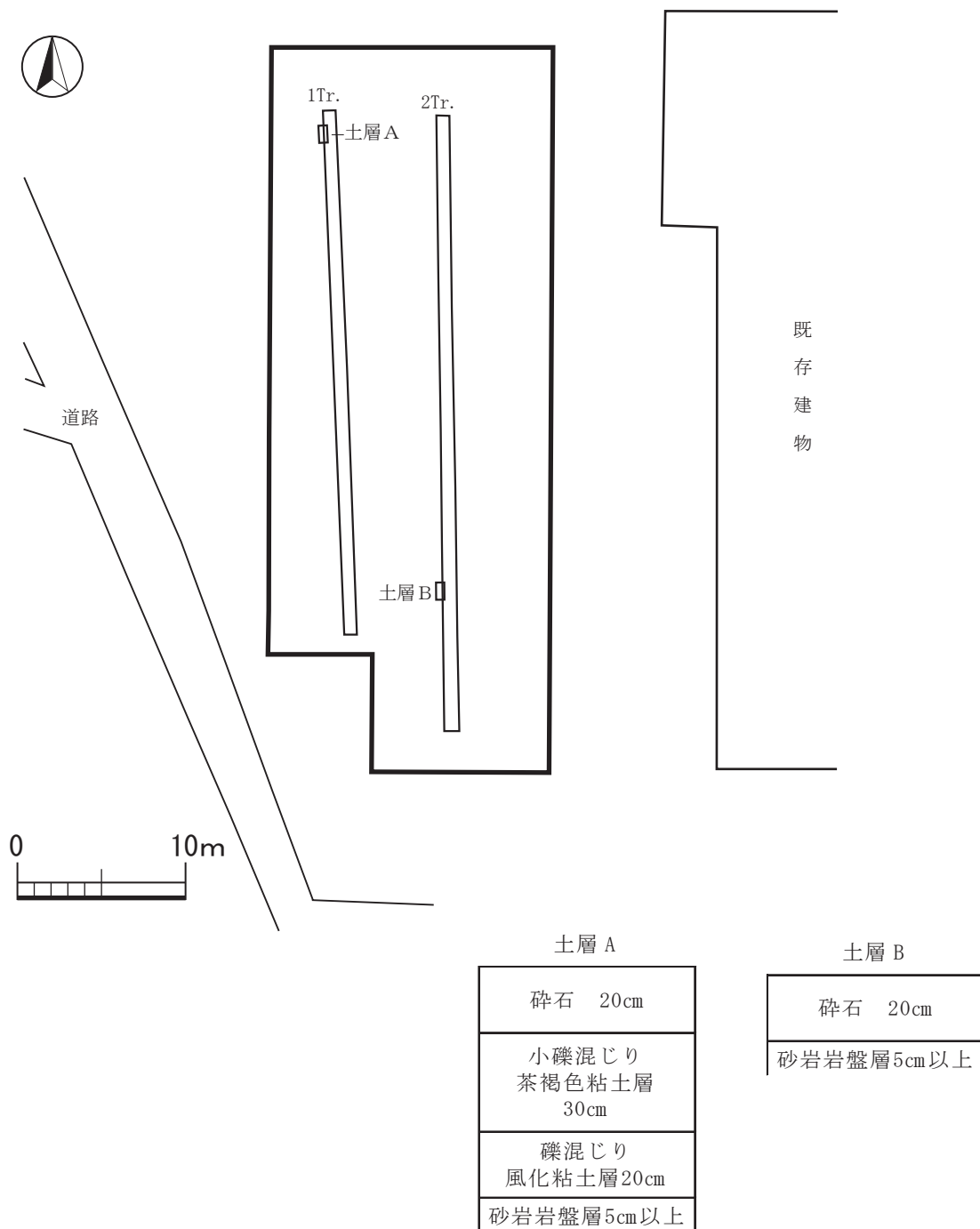
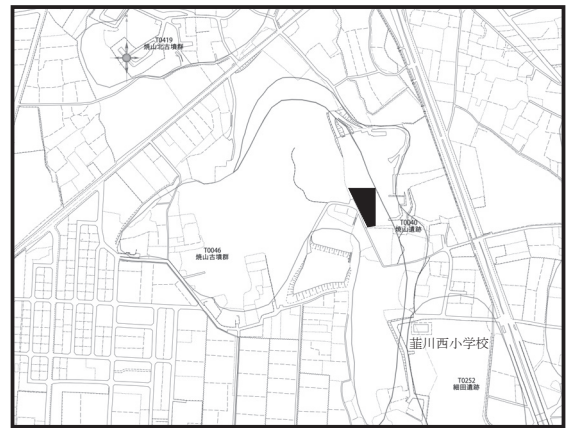
- ① 所在地 太田市細谷町96他
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に4本のトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、掘立柱建物跡1棟、溝6条が確認された。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第58図 確認調査平面図・断面図

57 焼山古墳群 (H27No.912)

- ① 所在地 太田市東長岡町1377
- ② 調査原因 学校校舎の建設
- ③ 調査方法 開発予定地に2本のトレンチを設定し、砂岩岩盤層まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物とも確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



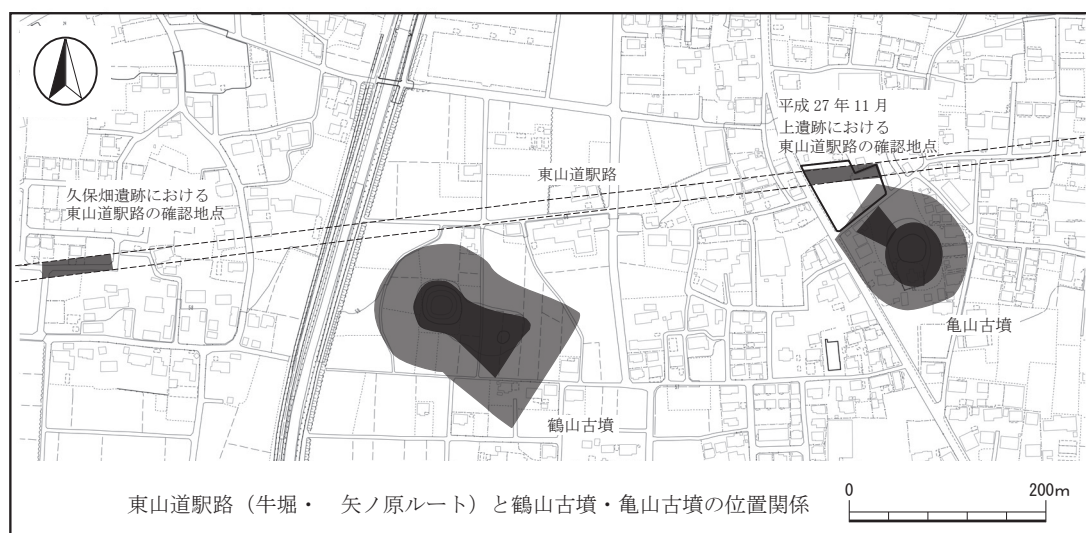
第59図 確認調査平面図・断面図

## 第5章 まとめ

平成27年度における市内遺跡の確認調査事業は57箇所であった。45箇所では遺構が確認され、このうち8箇所については本発掘調査が実施され、1箇所の立会調査を行った。残りの36箇所については、現状保存により保護されるか、近世以降の遺構であるために本発掘調査には至らなかった。以下、本年度の調査の中から特徴的な事例を紹介したい。

9下田島遺跡、14～17高林鶴巻古墳群、31藤阿久古墳群、32細谷東遺跡ではそれぞれ古墳が確認された。その大部分は、墳丘が平夷されており、古墳の周堀のみが見つかる形のものであった。未周知の古墳が確認されたわけであるが、市内の古墳の多さを再認識させられると共に、市内の古墳の全体像の解明に向けて一段の進展が図られたものと思われた。

上鳥山地区における7上遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルートでの調査では、亀山古墳の周堀の一部が姿を現し、古墳の北側を東山道駅路が東西に通過していたことが確認された。駅路は、側溝の芯々幅が14m、走行は座標北から84度ほど東へ振れるものであった。側溝からは、7世紀末葉から8世紀前半の土器



が出土し駅路の年代幅の一端が確認された。

中世の遺構に関わる調査も数件行われた。大島城跡、反町城館跡、明王院安養寺などである。

11城内遺跡は、大島城の本丸の調査であった。調査では、本丸を南北に分ける東西方向の堀がみつき、多量のカワラケなどが出土した。掘立柱建物の柱穴とみられる多くのピットも分布していた（この地点は、確認調査の後、本調査が実施され、主殿風の掘立柱建物などが確認された。また、ある時期に火災にあっていったことなどが判明した）。

44、45反町城館跡の調査では、反町城の外堀が確認されている。戦国期の城の解明が一步進められた。

37安養寺森ノ内遺跡は、「史跡新田荘遺跡明王院境内」の調査であった。調査では、整地層とその上から切り込まれた溝や土坑、ピットなどが確認された。掘立柱建物の存在は確実視されたが、トレンチ調査ということもあって、全容の確認までは至らなかった。出土遺物の中に、徳治三年（1308）の年号が刻まれた板碑があった。明王院における数多くの板碑の中で、最も古いものであり、安養寺が鎌倉後期には存在していたことを傍証する資料と思われた。

以上、平成27年度においては、60件近い確認調査が行われ、8件の本調査が行われた。遺構・遺物の質や量に差はあるが、当市の歴史や文化財に関わるかけがえのない資料になると思われる。

\*参考文献 「市内遺跡11」 太田市教育委員会 2016

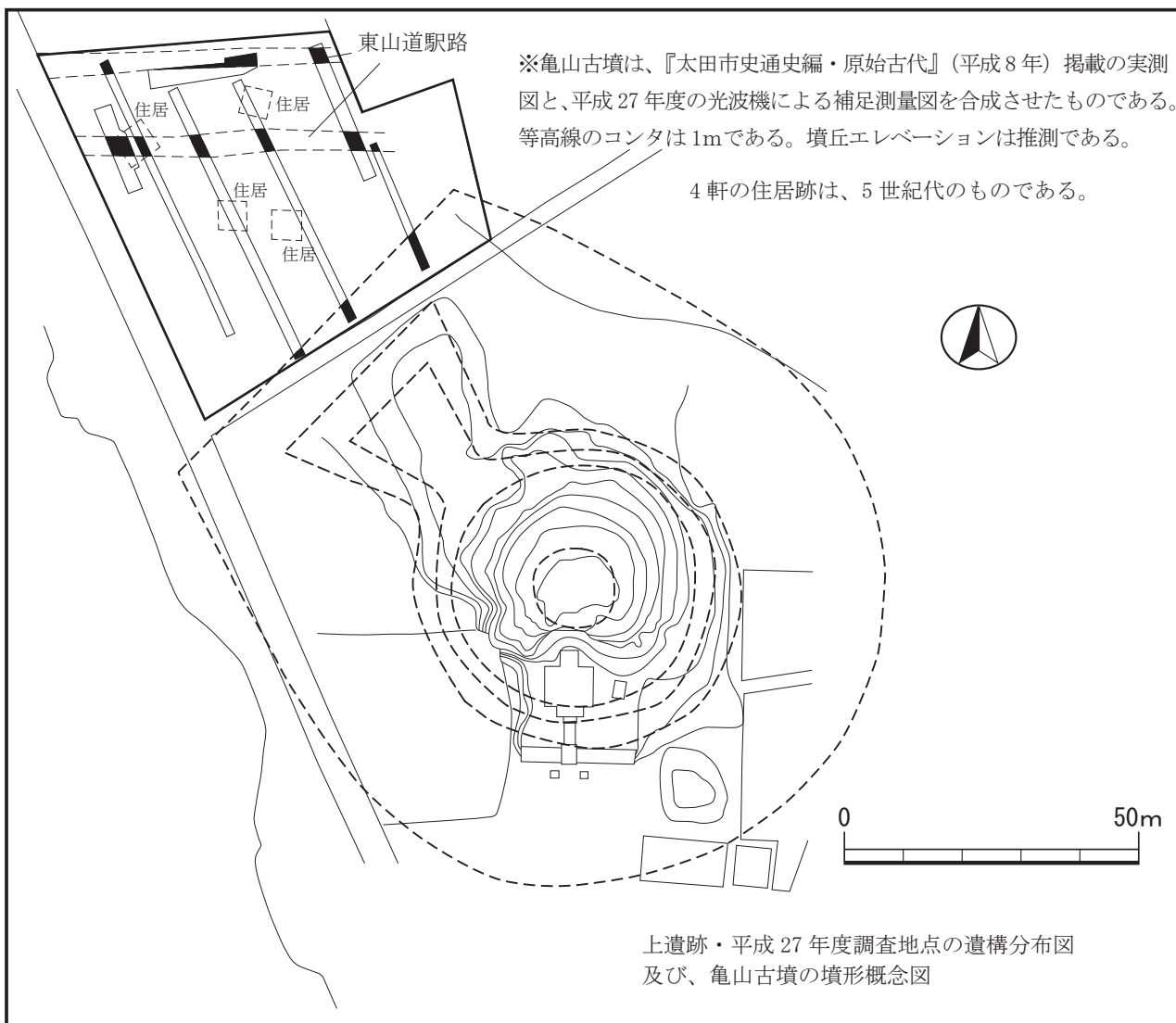
## 亀山古墳について

亀山古墳は、これまで、円墳、帆立貝形古墳、前方後円墳の3つの見解がだされてきた。

『太田市文化財』(平成7年)では、前方後円墳であり、全長は58m。後円部は径31m、高さ9mの二段築造。前方部は高さ3mで幅の狭い台形状であり、盾形の周堀が考えられる。『太田市史』(通史編・原始古代 平成8年)では、円墳の可能性を想定し、径35m、高さ8.5mとし、墳丘は二段築成としている。

平成27年度の調査では、亀山古墳の北側の部分で、周堀ラインが直線状をなしていることが分かり、前方後円墳か帆立貝形古墳である確証が得られた。光波測量機を用いて墳丘の再測量を行い、古墳の概形について検討した。その結果、従来の所見とは異なる事項が確認された。

墳形は、前方後円墳である。後円部は二段築造である。前方部は北西に向き、高さが低く平面形が台形状を呈する。堀は盾形と推測される。以上の所見は、『太田市文化財』の見解、あるいは『上毛古墳総覧』(昭和13年)とほぼ同様である。ただし、規模の数値が修正される。つまり、墳丘全長は80m。後円部は径53m、高さ9m、頂部の径は14m。前方部は長さ25m、幅28m、高さ3mほどとみられた(数値はいずれも、およそのものである)。後円部に比して前方部が著しく小規模で高さも低いことから、帆立貝形古墳の要素も捨てきれない。以上である。なお、この度の調査でもB種ヨコハケの円筒埴輪が出土し、『太田市史』という5世紀第4四半期という年代観は変わらない。



# 確認調査写真



H27- No.151  
1 赤城南遺跡（東から）



H27- No.20  
2 石神遺跡（南から）



H27- No.303  
3 今井地区遺跡群（西から）



H27- No.475  
4 FP 泥流下遺跡群 (東から)



H27- No.532  
5 FP 泥流下遺跡群 (北から)



H27- No.833  
6 金井口埴輪窯跡 (西から)



H27- No.646  
7 上遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原  
ルート（北から）



H27- No.492  
8 清川遺跡（東から）



H27- No.31  
9 下田島遺跡（南から）



H27- No.120  
10 上泉開戸遺跡（東から）



H27- No.261  
11 城ノ内遺跡（西から）



H27- No.424  
12 反町城館跡、要害遺跡（西から）

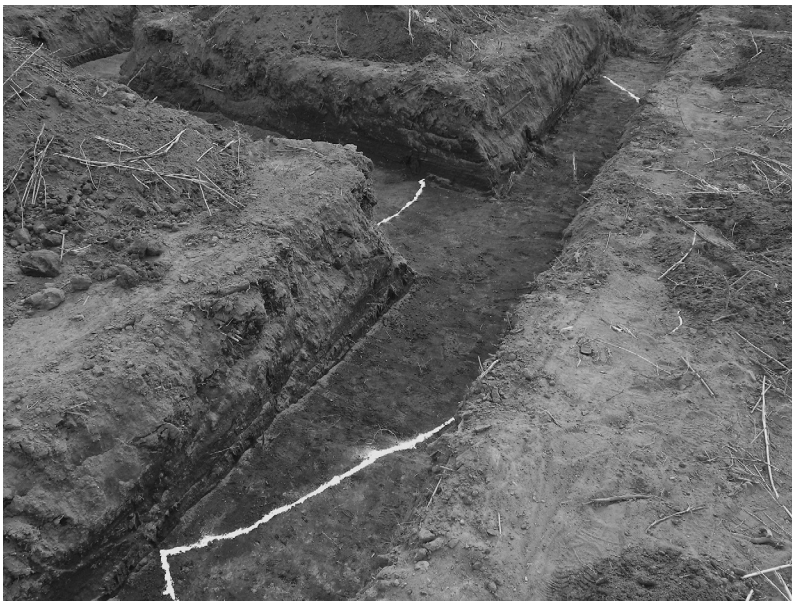




H27- No.165  
13 反町城館跡、要害遺跡（南から）



H27- No.852  
14 高林鶴巻古墳群（東から）



H27- No.137  
15 高林鶴巻古墳群（東から）



H27- No.484  
16 高林鶴巻古墳群（東から）



H27- No.695  
17 高林鶴巻古墳群（南から）



H27- No.623  
18 高林本郷遺跡（北から）



H27- No.280  
19 田谷遺跡（南から）



H27- No.30  
20 長福寺遺跡（北から）



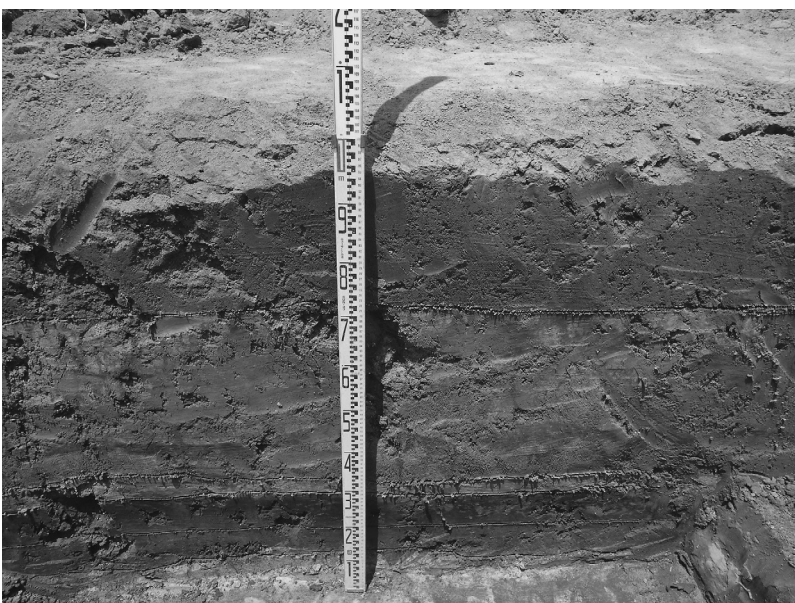
H27- No.217  
21 寺中遺跡（東から）



H27- No.241  
22 天良七堂遺跡（東から）



H27- No.182  
23 道灌谷戸遺跡（西から）



H27- No.182  
23 道灌谷戸遺跡 基本土層



H27- No.194  
24 東部地区遺跡群（南東から）



H27- No.587  
25 東部地区遺跡群（東から）



H27- No.588  
26 東部地区遺跡群（東から）



H27- No.637  
27 女体山古墳東方遺跡（東から）



H27- No.32  
28 浜町古墳群（北から）



H27- No.127  
29 東長岡 I 遺跡（西から）



H27- No.200  
30 東矢島遺跡（南から）



H27- No.112  
31 藤阿久古墳群（東から）



H27- No.454  
32 細谷東遺跡、細谷八幡遺跡（西から）



H27- No.545  
33 堀之内遺跡（北から）



H27- No.697  
34 三島遺跡（東から）



H27- No.427  
35 焼山古墳群（東から）





H27- No.113  
36 要害遺跡（西から）



H27- No.936  
37 安養寺森ノ内遺跡（西から）



- a. 表土
- b. 暗褐色土（整地層）
- c. 土垢
- d. 黒褐色土
- e. 褐色砂層（FP 泥流層）

H27- No.936  
37 安養寺森ノ内遺跡 基本土層



H27- No.716  
38 磯ノ宮遺跡（東から）



H27- No.1014  
39 北之庄遺跡（南から）



H27- No.766  
40 北之庄遺跡（南から）



H27- No.907  
41 小丸山西遺跡（南から）



H27- No.800  
42 御霊遺跡（東から）



H27- No.918  
43 下原遺跡（東から）



H27- No.813  
44 反町城館跡（南から）



H27- No.893  
45 反町城館跡（南から）



H27- No.969  
46 高林鶴巻古墳群（東から）



H27- No.935  
47 天良七堂遺跡（西から）



H27- No.192  
48 東部地区遺跡群（西から）



H27- No.191  
49 東部地区遺跡群（北から）



H27- No.190  
50 東部地区遺跡群（東から）



H27- No.375  
51 東部地区遺跡群（北から）



H27- No.933  
52 中村田遺跡（東から）



H27- No.734  
53 西田島遺跡（北から）



H27- No.148  
54 東矢島遺跡（北から）



H27- No.773  
55 細田遺跡（西から）



H27- No.801  
56 細谷八幡遺跡、細谷合ノ谷遺跡(西から)



H27- No.912  
57 焼山古墳群(北から)



亀山古墳全景(北東から)



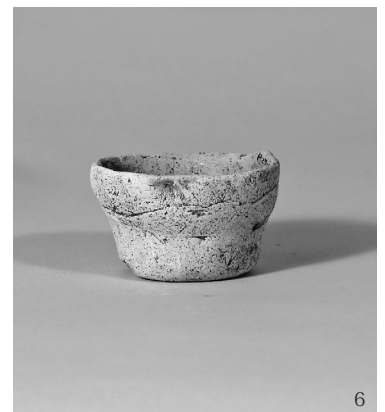
7 上遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート



11 城ノ内遺跡



19 田谷遺跡





35 焼山古墳群



32 細谷八幡遺跡、細谷東遺跡



37 安養寺森ノ内遺跡



46 高林鶴巻古墳群



45 反町城館跡



## 報告書抄録

フリガナ	オオタシナイイセキ12
書名	太田市内遺跡12
副書名	平成27年度調査
巻次	—
シリーズ名	—
シリーズ巻名	市内遺跡
編集著者名	長谷川幸男 山口高志 岩松大輔
編集機関	太田市教育委員会
編集機関所在地	〒370-0495 群馬県太田市粕川町520 TEL. 0276-20-7090
発行年	平成29年3月31日
所収遺跡	太田市内遺跡57箇所。(詳細は調査地一覧表に記載。)

### 太田市内遺跡 12

—平成27年度調査—

平成29年3月28日 印刷  
平成29年3月31日 発行

編集・発行 群馬県太田市教育委員会  
群馬県太田市粕川町520  
電話 0276-20-7090  
印刷 朝日印刷工業株式会社